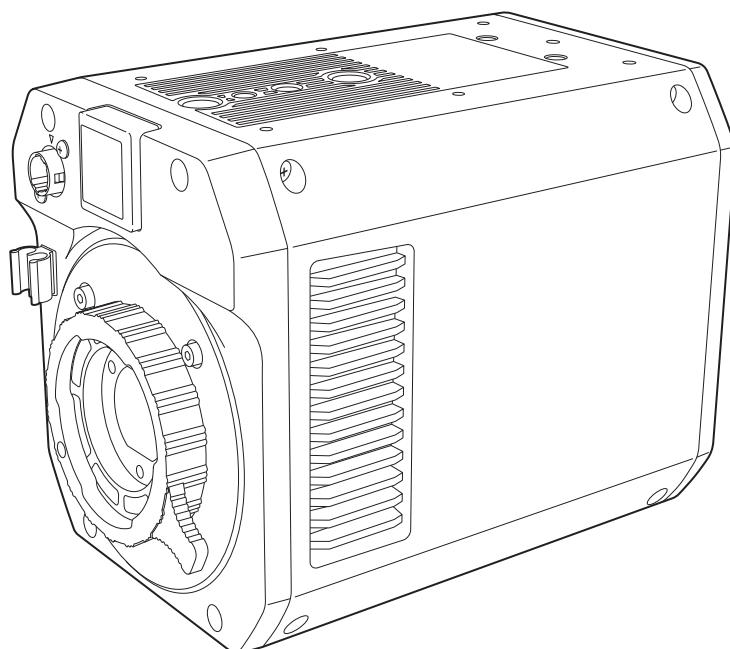


Panasonic®

取扱説明書

4Kマルチパーカスカメラ
品番 AK-UBX100G



HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4 ~ 6 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

-
- Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Windows® 11 および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Apple、Mac、macOS、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
 - Chrome™ ブラウザは Google LLC の商標です。
 - Intel®、Intel® Core™ は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
 - NDI® は 映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
 - 本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

■ 表記について

- [] の語句はビューファインダーやモニターに表示される内容を示しています。
- < > の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを (00 ページ) のように示しています。

■ 用語について

- Windows® Internet Explorer® 11 32/64 ビット日本語版を Internet Explorer と表記しています。
- リモートオペレーションパネルは、「ROP」と記載しています。

もくじ

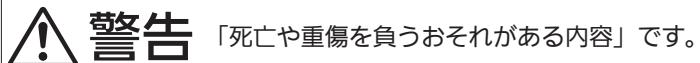
安全上のご注意	4	Web 画面からの操作	74
第 1 章 概要	7	ライブ画面 [Live]	74
ご使用の前に	8	Web 設定画面 [Setup]	78
お知らせ	9	設定状態画面 [Setting status]	80
必要なパソコンコンピューターの環境	9	システム画面 [System]	80
免責について	9	信号設定画面 [Signals]	85
ネットワークに関するお願い	10	カメラ画面 [Image]	86
システムで活用	11	連携機能 [Linkage]	109
基本構成機器	11	ユーザー管理画面 [Access mng.]	111
システムブロック図	11	ネットワーク設定画面 [Network]	114
付属品	12	メンテナンス画面 [Maintenance]	129
第 2 章 各部の名称	13	第 7 章 メンテナンス	133
前面部	14	故障かな？と思ったら	134
左面部	15	操作関係	134
右面部	16	IP 映像関係	135
後面部	17	Web 画面	136
上面部	18	ご使用時間の確認	137
底面部	19	ワーニング表示について	138
第 3 章 操作	20	本機搭載ファームウェアのアップデート	139
モニターのオンスクリーン表示	21	保証とアフターサービス（よくお読みください）	140
データについて	24	修理を依頼されるとき	140
ユーザーファイル	24	第 8 章 仕様	141
撮影のための調整	25	定格	142
ゲンロック調整	25	総合	142
マルチフォーマット	26	カメラ部	142
出力フォーマット一覧（<12G SDI OUT 1>、 <12G SDI OUT 2> 端子）	26	ビデオ入出力部	143
出力フォーマット一覧（<HD SDI OUT> 端子）	26	その他入出力部	143
出力フォーマット一覧（ST2110 MAIN VIDEO TX）	27	コネクター信号の内容	144
出力フォーマット一覧（ST2110 MONI VIDEO TX）	27	さくいん	145
第 4 章 メニュー操作	28		
メニューの操作	29		
基本操作	29		
メニューの構成	30		
[ALL MENU]	30		
メニューの一覧	31		
[BASIC CONFIG]	31		
[NETWORK]	34		
[OUTPUT]	36		
[IP SIGNAL]	37		
[PAINT]	42		
[LENS]	54		
[DISPLAY SETUP]	55		
[TRACKING DATA OUTPUT]	58		
[FILES]	59		
[MAINTENANCE]	60		
第 5 章 外部機器との接続	64		
リモートカメラコントローラー			
(AW-RP60/AW-RP150G) の接続	65		
<LAN> 端子との IP 接続	65		
リモートオペレーションパネル			
(AK-HRP1010/AK-HRP1015G) の接続	66		
<REMOTE> 端子とのシリアル接続	66		
<LAN> 端子との IP 接続	66		
第 6 章 Web 画面	67		
ユーザーアカウントの設定	68		
ソフトウェアについて	68		
ユーザーアカウント設定ソフトウェアを使用して 本機にユーザーアカウントを設定する	68		
ネットワークの設定	69		
ソフトウェアについて	69		
EasyIP Setup Tool Plus を使用して本機の設定をする	69		
Web 画面の表示	71		
Web 画面に関するお知らせ	71		
パソコンコンピューターによる Web 画面の表示	71		
ライブ画面 [Live]/Web 設定画面 [Setup] の切り替え	73		
Web 画面へのログイン	73		

安全上のご注意

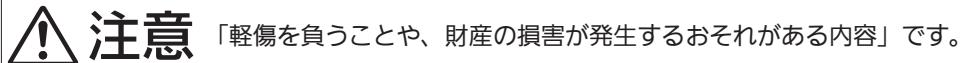
(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

カメラは…



電源プラグ
を抜く

- 異常があったときは、DCコードを抜く
〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき
(そのまま使用すると、火災の原因になります。)
⇒販売店にご相談ください。〕



- ぶら下がらない、足場代わりにしない
(落下などの事故の原因になります。)
- 電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない
(本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。
⇒長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。)



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やDCコードに触れない
(落雷すると、感電につながります。)



分解禁止

- 分解や改造をしない
(火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



水場使用
禁止

- 水場で使用しない
(火災の原因になります。)



- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
(火災の原因になります。)
⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。
- 工事は販売店に依頼する
(工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。)
⇒設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。
- 付属品・オプションは指定の製品を使用する
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。)
- 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください
⇒販売店にご相談ください。

! 警告 (つづき)

DCコードは…

	<p>■ DCコードを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (感電・火災の原因になります。) ⇒コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ DCコードは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。</p>

小さな付属品は…

	<p>■ カメラナンバーシート、取り付けねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
--	---

! 注意

カメラや付属品は…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の放熱を妨げない 〔押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない〕 (内部に熱がこもり、火災の原因になります。) ■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60°C以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ■ろうそく等の炎を機器の近くに置かない (火災の原因になります。) ■油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災の原因になります。) ■DCコードを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。 ■落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。) ■ケーブルなどは引っ張らない (火災の原因になります。) ■三脚を取り付けた状態で、本機を持って運搬しない (三脚の重さで取り付け部が破損し、けがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒点検は販売店にご依頼ください。 ■病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)
 電源プラグ を抜く	<ul style="list-style-type: none"> ■長期間使用しないときや、お手入れのときは、DCコードを抜く (火災の原因になります。)

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検（1年に1回をめやすに）をお願いします。

第1章 概要

ご使用になる前に本章をお読みください。

ご使用の前に

■ 撮影は適正な照明のもとで行ってください

- 美しいカラー映像を得るには適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。
- 明るすぎるところでは ND フィルターをお使いください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切ってください

- ケーブルの抜き差しは必ず機器の電源を切ってから行ってください。

■ 取り扱いについて

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

■ 光学系部には触れないでください

- 光学系部はカメラの「生命」です。レンズを外したときなど、光学系には絶対に触れないでください。万一、ほこりが付いた場合は、カメラ用のプロワー やレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

■ 太陽光やレーザー光に向けないでください

- 太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、MOS を破壊する原因となります。

■ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用について

- 機器がぬれたり水が入ったりしないようにしてください。

■ 湿気、ほこりについて

- 湿気、ほこりの多いところは内部の部品が傷みやすくなります。避けてください。

■ 使用温度範囲について

- 次のようなところでは画質低下や内部の部品に悪影響を与えます。避けてください。

-10 °C以下の寒いところ

45 °C以上の暑いところ

- 低温環境下では予熱が必要になります。▲表示が消灯していることを確認し、ご使用ください。

■ お手入れについて

- 電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりがとれにくいときは、台所用洗剤を布に浸み込ませて軽く拭いてください。

- レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使うもの）で行ってください。

■ 冷却ファンについて

- 内部には冷却ファンが付いています。

- 冷却ファンは消耗品です。交換は必ず販売店へ依頼してください。

■ 周辺機器ソフトウェアについて

- 本機に接続する周辺機器は、ソフトウェアのアップデートが必要なことがあります。

- 詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 個人情報の保護について

- 本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。法律に従つて、映像情報を適正にお取り扱いください。

- 「個人情報」については、経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・変更・再配布の権利があることをお知らせいたします。

本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品には、The BSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

お知らせ

必要なパソコンコンピューターの環境

CPU	Intel® Core™ 第7世代 (Kaby Lake以降) 推奨
メモリー	【Windowsの場合】 4 GB以上 【Macの場合】 4 GB以上
ネットワーク機能	100BASE-T/TX または 1000BASE-T RJ-45 コネクター
画像表示機能	解像度：1920 × 1080 ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応 OS と Web ブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge (最新版) Google Chrome 【Mac】 macOS15 macOS14 macOS13 Safari Google Chrome

重要

- 必要なパソコンコンピューターの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Web ブラウザーが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

NOTE

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- 対応 OS と Web ブラウザーに関する最新情報については、下記の Web サイトのサポートサイトをご覧ください。
日本語：https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
英語：<https://pro-av.panasonic.net/en/>

免責について

当社はいかなる場合も、次の項目に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- 第3者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 取り付け方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- 本体またはパソコンコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべてのWebブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第三者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも3つを含め8文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

NOTE

ユーザー認証について

- ・本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- ・本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。
セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。
- ・ROPを使用する場合、ダイジェスト認証のときは[Wait time mode]を[Mode2]に設定してご利用ください。(111ページ)
[Wait time mode]を[Mode1]に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

システムで活用

4Kマルチバスカメラ(AK-UBX100G)と周辺機器から構成される標準システムの例を示します。

接続機器については、各機器の取扱説明書を参照してください。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、次のWebサイトを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

基本構成機器

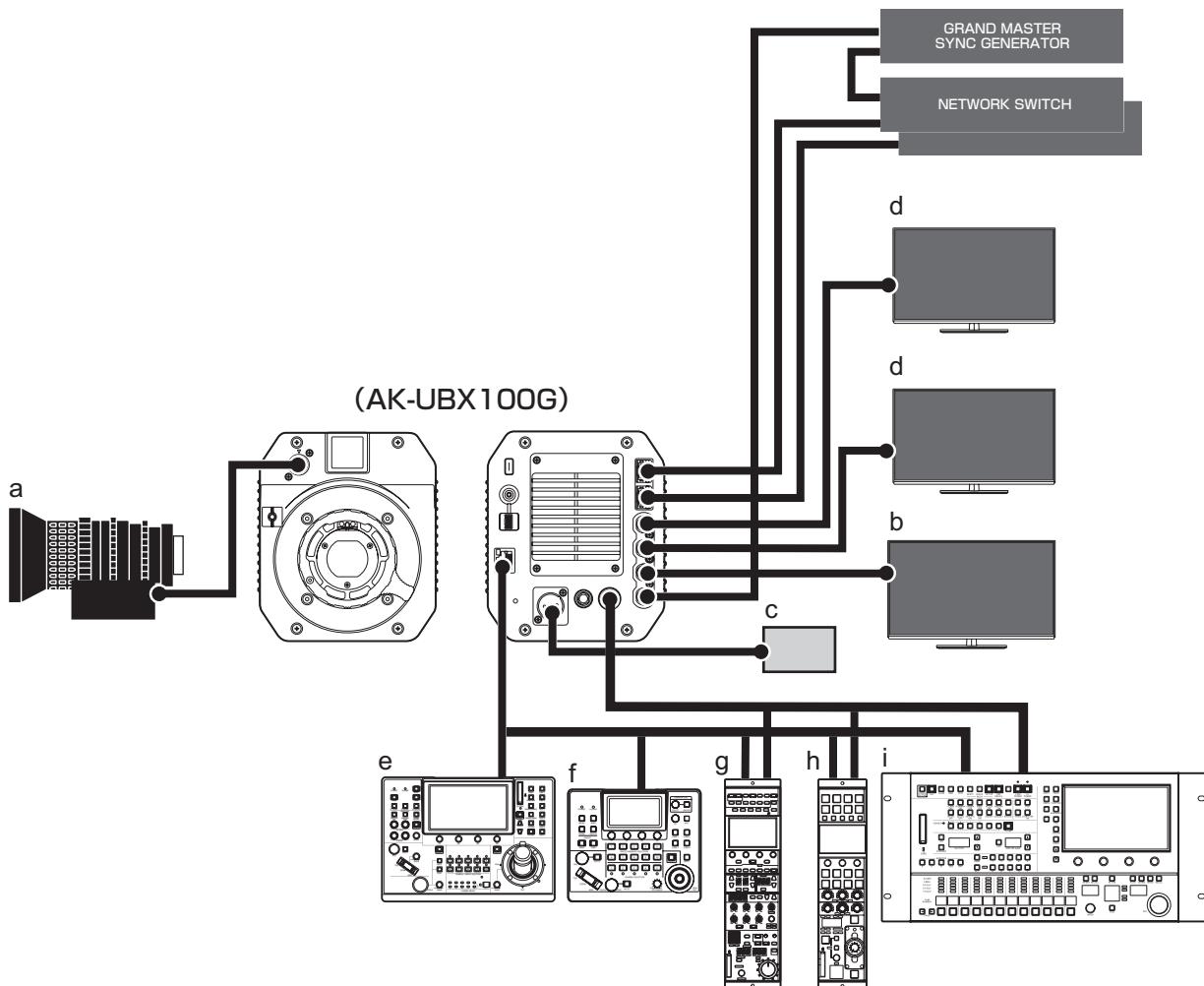
レンズなど本機の基本となる構成機器です。

品名	品番	備考
レンズ	FUJINON/CANON	—
リモートカメラコントローラー	AW-RP60/AW-RP150G	本機や回転台を制御するコントローラーです。
リモートオペレーションパネル(ROP)	AK-HRP1010/AK-HRP1015G	本機を制御するコントローラーです。
マスター・セットアップユニット	AK-MSU1000G	本機を制御するコントローラーです。

システムブロック図

1対1構成

AK-UBX100Gを1台、リモートカメラコントローラーまたはリモートオペレーションパネル(ROP)を1台接続する構成です。



a: リモートコントロールレンズ

b: HD モニター (HD モニター用)

c: 外部 DC 電源

d: UHD/HD モニター (UHD/HD 本線用)

e: AW-RP150G

f: AW-RP60

g: AK-HRP1010

h: AK-HRP1015G

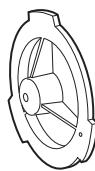
i: AK-MSU1000G

NOTE

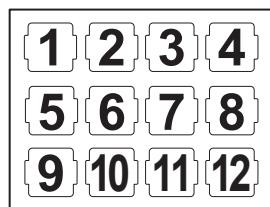
- ・〈MENU〉ボタンを押すと、〈HD SDI OUT〉端子からの出力にメニューを表示します。

付属品

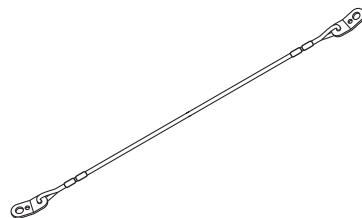
マウントキャップ（製品本体にあらかじめ取り付けられています）



カメラナンバーシート（1～12）



落下防止用ワイヤー（1）



製品側固定ねじ（XYN4+J10FJK）（1）（製品本体にあらかじめ取り付けられています）



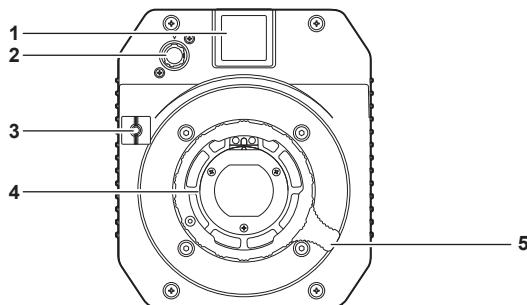
NOTE

- ・包装材料は商品を取り出した後、適切に処理してください。

第2章 各部の名称

本機の各部の名称と機能、動作について説明します。

前面部



1 フロントタリーランプ

タリー信号が送られると点灯します。
ワーニング表示中およびファームウェアアップデート中は赤色で点滅します。
カメラナンバーシートを前面に取り付け可能です。

NOTE

- [ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [TALLY] → [FRONT TALLY] で明るさを設定できます。ファームウェアアップデートのときは、設定に関わりなく [LOW] で赤色点滅します。

2 <LENS> 端子

レンズケーブルを接続します。

3 レンズケーブルクランプ

レンズケーブルを固定するためのクランプです。

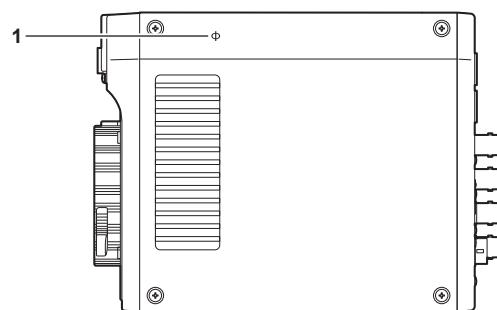
4 レンズマウント (2/3型bayonet式)

レンズを取り付けます。

5 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けた後、レバーを時計方向に回してレンズを固定します。

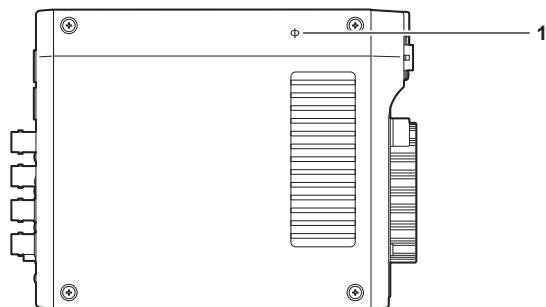
左面部



1 <Φ> マーク

カメラ内の撮像面の位置を示します。

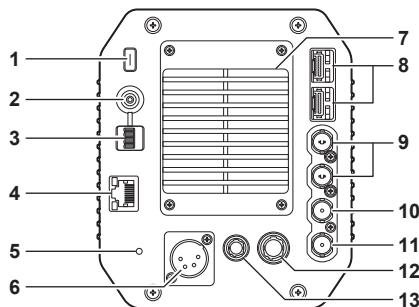
右面部



1 <φ> マーク

カメラ内の撮像面の位置を示します。

後面部



1 バックタリーランプ

タリー信号が送られると点灯します。
ワーニング表示中およびファームウェアアップデート中は赤色で点滅します。

NOTE

- ・[ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [TALLY] → [BACK TALLY] で明るさを設定できます。ファームウェアアップデートのときは、設定に関わりなく [LOW] で赤色点滅します。

2 <MENU> ボタン

ボタンを押すと、カメラの [ALL MENU] 画面が表示されます。
再度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。

3 ジョグダイヤルボタン

設定メニューを表示しているときは、設定メニューのページの移動、項目の選択や設定を行います。
ジョグダイヤルボタンを下側に回すと、カーソルが下側に移動します。上側に回すと、カーソルが上側に移動します。
また、ジョグダイヤルボタンを押すと設定内容が確定します。

4 <LAN> 端子

LAN ケーブルを接続します。

NOTE

- ・<LAN> 端子に接続するケーブルは、シールドケーブルをご使用ください。

5 <DC IN> ランプ

カメラに電源が供給されると、緑色に点灯します。

6 <DC IN> 端子

外部 DC 電源の入力用端子です。外部 DC 電源と接続します。(DC 11 V ~ 17 V)

7 冷却ファン

本機冷却用のファンです。

8 <SFP+/28 1> / <SFP+/28 2> スロット

ST2110 出力のトランシーバー用スロットです。

9 <12G SDI OUT 1> / <12G SDI OUT 2> 端子

UHD および HD SDI の本線出力端子です。

NOTE

- ・12G SDI 用のケーブルをご使用ください。

10 <HD SDI OUT> 端子

HD SDI 専用のモニター出力端子です。

NOTE

- ・5C-FB 以上のケーブルをご使用ください。

11 <G/L IN> 端子

カメラに外部同期をかけるときの基準信号入力端子です。

NOTE

- ・入力信号は、コンポジット信号（ブラックバースト）または 3 値 SYNC を供給してください。

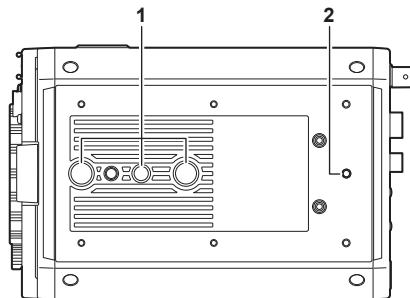
12 <REMOTE> 端子

リモートコントロールユニット（別売品）を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

13 <TALLY OUT> 端子

R タリーと G タリーを出力します。

上面部



1 取り付け用ねじ穴

カメラハウジングなどに設置するときに使用します。

- 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (三脚取付ねじ) (1 個)
- 3/8-16 UNC (三脚取付ねじ) (2 個)
- M3 ねじ (6 個)

NOTE

- ねじ穴の深さは 9 mm です。長さ 9 mm 以下の取り付けねじを使用ください。

2 落下防止用ワイヤー取り付け用ねじ穴

- 取り付け穴サイズ

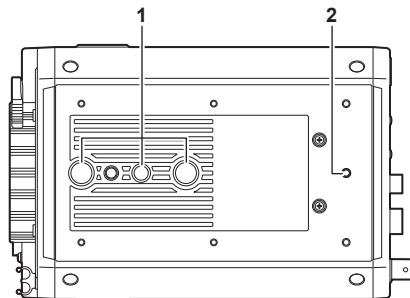
- M4

NOTE

- 固定用ねじは製品本体にあらかじめ取り付けられています。

落下防止用ワイヤー未使用時は取り外し可能です。取り外した場合は紛失しないように大切に保管してください。

底面部



1 取り付け用ねじ穴

カメラハウジングに設置するときや、回転台、三脚を取り付けます。

- 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (三脚取付ねじ) (1 個)
- 3/8-16 UNC (三脚取付ねじ) (2 個)
- M3 ねじ (6 個)

NOTE

- ・ねじ穴の深さは 9 mm です。長さ 9 mm 以下の取り付けねじを使用ください。

2 落下防止用ワイヤー取り付け用ねじ穴

- 取り付け穴サイズ

- M4

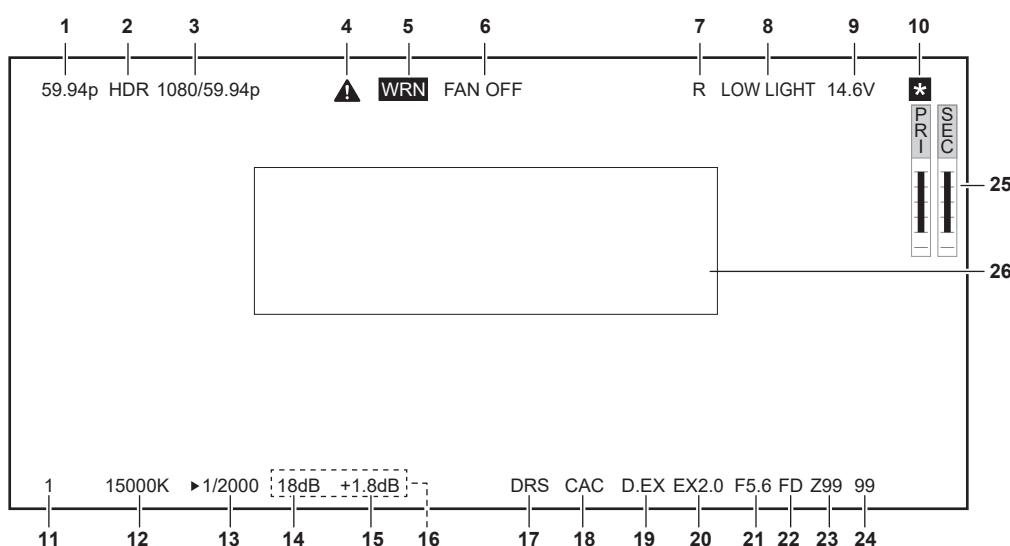
第3章 操作

本機の操作方法について説明します。

モニターのオンスクリーン表示

4Kマルチバーパスカメラの設定と動作状態を示すメッセージが、モニターの画面内に表示されます。

表示できる全ての項目は、次の図のように配置されています。



1 センサーート表示

カメラの映像モードを表示します。

- [59.94p]
- [50p]
- [29.97p]
- [25p]
- [23.98p]

[BASIC CONFIG] – [FPS SW] が [ON] のときは、[FPS] の値を表示します。

- [60p]
- [30p]
- [24p]

2 HDR/V-LOG モード表示

フォーマットが HDR または V-LOG のときに表示されます。

- [HDR]
- [V-LOG]

3 システムモード表示

システム周波数を表示します。

- [2160/59.94p]
- [2160/50p]
- [2160/29.97p]
- [2160/25p]
- [2160/23.98p]
- [1080/59.94p]
- [1080/50p]
- [1080/29.97p]
- [1080/25p]
- [1080/23.98p]

4 ワーニング表示（予熱）

起動したときに、機器内部の温度が下がりすぎているため予熱している場合に表示します。

5 ワーニング表示（機器）

機器の状態に異常がある場合に表示します。

- ファンが異常停止したとき
 - 内部温度が高温になったとき
 - 電源の電圧が異常なとき
- 非表示設定はできません。

6 ワーニング表示（ファン停止）

ファンが停止している場合に表示します。

7 TALLY (RGY) 表示

R/G/Y TALLY がそれぞれ独立して表示されます。

- [R]
- [G]
- [Y]

8 高感度モード表示

[ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [SHOOTING MODE] → [LOW LIGHT] のとき表示されます。

9 電圧表示

電源から供給される電圧の値が表示されます。

10 フォーカスアシスト拡大表示

フォーカスアシスト拡大表示機能が動作中に表示します。

11 ND フィルター表示

選択されている ND フィルターの値が表示されます。

- [1]
- [2]
- [3]
- [4]
- [5]

12 色温度表示

カメラで設定されている色温度が表示されます。

オートホワイトバランス実行時のメモリー値とメニュー設定値の場合があります。

13 シャッタースピード表示

各設定に応じてシャッタースピードが表示されます。

[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間（分数）、[deg] に設定しているときは開口角度で表示されます。

[sec] 表示の場合

[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [ON] かつ、[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER MODE] → [STEP] のとき

- [1/48] ([23.98p] モードのときのみ)
- [1/50] ([25p] モードのときのみ)
- [1/60] ([50i]/[50p]/[29.97p]/[25p]/[23.98p] モードのときのみ)
- [1/96] ([29.97p]/[25p]/[23.98p] モードのときのみ)
- [1/100] (HS 時は選択できません)
- [1/120] ([59.94i]/[59.94p]/[29.97p]/[23.98p] モードのときのみ)
- [1/125]
- [1/250]
- [1/500]
- [1/1000]
- [1/1500]
- [1/2000]

[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [ON] かつ、[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER MODE] → [SYNCHRO] のとき

- [60.0Hz] ~ [7200Hz] ([59.94i]/[59.94p] モードのときのみ)
- [50.0Hz] ~ [7200Hz] ([50i]/[50p] モードのときのみ)
- [30.0Hz] ~ [7200Hz] ([29.97p] モードのときのみ)
- [25.0Hz] ~ [7200Hz] ([25p] モードのときのみ)
- [24.0Hz] ~ [7200Hz] ([23.98p] モードのときのみ)

[deg] 表示の場合

- [3.0d] ~ [357.0d]

[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [OFF] のとき

- [SH.OFF]

14 マスターGAIN表示

[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN/ISO MODE] → [dB] のとき、[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN] で設定された値が表示されます。

- [-6dB] ~ [18dB]

15 オフセットゲイン表示

[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN/ISO MODE] → [dB] のとき、[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [OFFSET GAIN] で設定された値が表示されます。

- [-2.9dB] ~ [+2.9dB]

16 ISO 表示

[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN/ISO MODE] → [ISO] のとき表示されます。

- [ISO 400], [ISO 500], [ISO 640], [ISO 800], [ISO 1000], [ISO 1250], [ISO 1600], [ISO 2000], [ISO 2500], [ISO 3200], [ISO 4000], [ISO 5000], [ISO 6400], [ISO 8000], [ISO 10000], [ISO 12800]



- ・マスターGAIN表示、オフセットゲイン表示と排他になります。

17 ダイナミックレンジストレッチャー表示

ダイナミックレンジストレッチャー機能が動作しているときに表示されます。

18 色収差補正表示

色収差補正機能が動作しているときに表示されます。

19 デジタルエクステンダー表示

デジタルエクステンダーを使用しているときに表示されます。

20 レンズエクステンダー表示

レンズエクステンダーを使用しているときに表示されます。

21 アイリス表示

アイリス設定 (F 値) または [OPEN]/[CLOSE] が表示されます。F 値はおおよその値になります。

レンズケーブルが接続されていないときは [NC] と表示されます。

22 F ドロップ表示

F ドロップが発生したときに表示されます。

**NOTE**

- レンズの機種によっては表示が未対応のものがあります。

詳しくはレンズメーカーにお問い合わせください。

23 ズーム位置表示

ズーム位置が表示されます。

- [Z00] ~ [Z99]

**NOTE**

- ズーム位置を出力するレンズを使用しているときに表示されます。

24 フォーカス位置表示

フォーカス位置が表示されます。

- [00] ~ [99] : [ALL MENU] → [DISPLAY SETUP] → [STATUS INDICATOR] → [FOCUS DISP] → [NUMBER] のときに表示します。

- [***.*ft] : [ALL MENU] → [DISPLAY SETUP] → [STATUS INDICATOR] → [FOCUS DISP] → [FEET] のときに表示します。

- [***.*m] : [ALL MENU] → [DISPLAY SETUP] → [STATUS INDICATOR] → [FOCUS DISP] → [METER] のときに表示します。

**NOTE**

- フォーカス位置を出力するレンズを使用しているときに表示されます。

25 光レベル表示

本機が受信する光信号のレベルが表示されます。

SFP1 端子 (表示は [PRI]) /SFP2 端子 (表示は [SEC]) の受信レベルを表示します。

26 カメラ警告、情報表示エリア

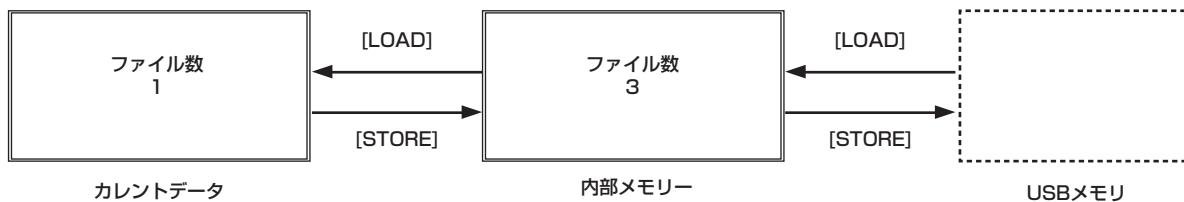
エラーの発生、カメラの設定、調整進行状況、および調整結果を示すメッセージが約 3 秒間表示されます。

データについて

カメラで取り扱うデータは次のとおりです。

管理機器	名称	個数	説明
カメラ	ユーザーファイル	1 ~ 3	[ALL MENU] で設定されたカメラで保持している機器設定データです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [USER FILE] で保存、読み出しができます。
	レンズファイル	1 ~ 32	ビデオエンジニアが扱うレンズ固有の特性を補正するデータです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [MAINTENANCE] → [LENS FILE ADJUST] で保存、読み出しができます。
	シーンファイル	1 ~ 8	主にビデオエンジニアが扱う絵作り用データです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [SCENE FILE] で保存、読み出しができます。
	オペレーションファイル	1	主にカメラマンが扱う操作用データです。 カメラにて管理します。 Web 設定画面 [Setup] の [Maintenance] – [Backup] で保存、読み出しができます。
	リファレンスファイル	1 ~ 3	機器設定データから操作用データを除いたデータです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [REFERENCE FILE] で保存、読み出しができます。

ユーザーファイル



撮影のための調整

ゲンロック調整

外部基準信号フォーマット

各システムフォーマットでゲンロックをかけることができる外部基準信号フォーマットは次のとおりです。

〈G/L IN〉端子に外部基準信号の入力がないときは、ゲンロックをかけることができません。

- ：ロックできます。
- ：ロックできません。

[BASIC CONFIG]	〈G/L IN〉端子への入力信号					
[FORMAT]	1080/59.94i	1080/50i	1080/23.98p	1080/23.98PsF	525/59.94i	625/50i
[2160/59.94p]	○	—	—	—	○	—
[2160/29.97p]	○	—	—	—	○	—
[2160/23.98p]	—	—	○	○	—	—
[1080/23.98p]	—	—	○	○	—	—
[1080/59.94p]	○	—	—	—	○	—
[1080/29.97p]	○	—	—	—	○	—
[2160/50p]	—	○	—	—	—	○
[2160/25p]	—	○	—	—	—	○
[1080/50p]	—	○	—	—	—	○
[1080/25p]	—	○	—	—	—	○

マルチフォーマット

出力フォーマット一覧 (〈12G SDI OUT 1〉、〈12G SDI OUT 2〉端子)

[FORMAT]	[12G SDI OUT1]/[12G SDI OUT2] [FORMAT SELECT]	〈12G SDI OUT 1〉 / 〈12G SDI OUT 2〉 端子
[2160/59.94p]	[2160p]	2160/59.94p
	[1080p]	1080/59.94p
	[1080i]	1080/59.94i
[2160/29.97p]	[2160p]	2160/29.97p
	[1080p]	1080/29.97p
[2160/23.98p]	[2160p]	2160/23.98p
	[1080p]	1080/23.98p
[1080/59.94p]	[1080p]	1080/59.94p
	[1080i]	1080/59.94i
[1080/29.97p]	[1080p]	1080/29.97p
[1080/23.98p]	[1080p]	1080/23.98p
[2160/50p]	[2160p]	2160/50p
	[1080p]	1080/50p
	[1080i]	1080/50i
[2160/25p]	[2160p]	2160/25p
	[1080p]	1080/25p
[1080/50p]	[1080p]	1080/50p
	[1080i]	1080/50i
[1080/25p]	[1080p]	1080/25p

出力フォーマット一覧 (〈HD SDI OUT〉 端子)

[FORMAT]	[HD SDI OUT] [FORMAT SELECT]	〈HD SDI OUT〉 端子
[2160/59.94p]	[1080p]	1080/59.94p
	[1080i]	1080/59.94i
[2160/29.97p]	[1080p]	1080/29.97p
[2160/23.98p]	[1080p]	1080/23.98p
[1080/59.94p]	[1080p]	1080/59.94p
	[1080i]	1080/59.94i
[1080/29.97p]	[1080p]	1080/29.97p
[1080/23.98p]	[1080p]	1080/23.98p
[2160/50p]	[1080p]	1080/50p
	[1080i]	1080/50i
[2160/25p]	[1080p]	1080/25p
[1080/50p]	[1080p]	1080/50p
	[1080i]	1080/50i
[1080/25p]	[1080p]	1080/25p

出力フォーマット一覧 (ST2110 MAIN VIDEO TX)

[FORMAT]	[OPT MODE]	[MAIN VIDEO TX] [FORMAT]	MAIN VIDEO TX
[2160/59.94p]	[ST2110_25G]	[2160/59.94p]	2160/59.94p
	[ST2110_10G]	[1080/59.94p]	1080/59.94p
[2160/29.97p]	[ST2110_25G]	[2160/29.97p]	2160/29.97p
	[ST2110_10G]	[1080/29.97p]	1080/29.97p
[2160/23.98p]	[ST2110_25G]	[2160/23.98p]	2160/23.98p
	[ST2110_10G]	[1080/23.98p]	1080/23.98p
[1080/59.94p]	[ST2110_25G]	[1080/59.94p]	1080/59.94p
		[1080/59.94i]	1080/59.94i
	[ST2110_10G]	[1080/59.94p]	1080/59.94p
		[1080/59.94i]	1080/59.94i
[1080/29.97p]	[ST2110_25G]	[1080/29.97p]	1080/29.97p
	[ST2110_10G]	[1080/29.97p]	1080/29.97p
[1080/23.98p]	[ST2110_25G]	[1080/23.98p]	1080/23.98p
	[ST2110_10G]	[1080/23.98p]	1080/23.98p
[2160/50p]	[ST2110_25G]	[2160/50p]	2160/50p
	[ST2110_10G]	[1080/50p]	1080/50p
[2160/25p]	[ST2110_25G]	[2160/25p]	2160/25p
	[ST2110_10G]	[1080/25p]	1080/25p
[1080/50p]	[ST2110_25G]	[1080/50p]	1080/50p
		[1080/50i]	1080/50i
	[ST2110_10G]	[1080/50p]	1080/50p
		[1080/50i]	1080/50i

出力フォーマット一覧 (ST2110 MONI VIDEO TX)

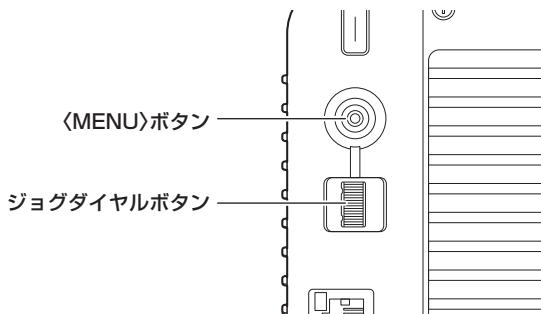
[FORMAT]	[HD SDI OUT] [FORMAT SELECT]	MoIP MONI VIDEO TX
[2160/59.94p]	[1080p]	1080/59.94p
	[1080i]	1080/59.94i
[2160/29.97p]	[1080p]	1080/29.97p
[2160/23.98p]	[1080p]	1080/23.98p
[1080/59.94p]	[1080p]	1080/59.94p
	[1080i]	1080/59.94i
[1080/29.97p]	[1080p]	1080/29.97p
[1080/23.98p]	[1080p]	1080/23.98p
[2160/50p]	[1080p]	1080/50p
	[1080i]	1080/50i
[2160/25p]	[1080p]	1080/25p
[1080/50p]	[1080p]	1080/50p
	[1080i]	1080/50i
[1080/25p]	[1080p]	1080/25p

第4章 メニュー操作

本機のメニュー操作方法、設定メニューの構成、設定メニューの詳細について説明します。

メニューの操作

基本操作



1 <MENU> ボタンを押す。

<HD SDI OUT> 端子から出力される映像に、カメラの [ALL MENU] が表示されます。

2 ジョグダイヤルボタンを回して項目を選択する。

3 ジョグダイヤルボタンを押す。

選択した項目のメニューに入ります。

4 ジョグダイヤルボタンを回して項目を選択する。

5 ジョグダイヤルボタンを押す。

選択した項目のメニューに入ります。

6 ジョグダイヤルボタンを回して設定するメニュー項目を選択する。

7 ジョグダイヤルボタンを押す。

矢印で示された項目の設定が点滅します。

8 ジョグダイヤルボタンを回して、設定を変更する。

9 ジョグダイヤルボタンを押す。

設定が確定します。

<MENU> ボタンを押して、メニュー画面を閉じても、設定は反映されます。

文字を入力するには

1 ジョグダイヤルボタンを押す。

カーソルが下向き矢印に代わり、ジョグダイヤルボタンを回すと次の文字（前の文字）にカーソルを移動できます。

2 ジョグダイヤルボタンを回して、変更したい文字の上に矢印を移動する。

3 ジョグダイヤルボタンを押す。

変更したい文字が点滅します。

4 ジョグダイヤルボタンを回して、文字を変更する。

5 ジョグダイヤルボタンを押す。

設定が確定します。

変更したい全ての文字に対して、同じ操作をします。

6 ジョグダイヤルボタンを回して、メニュー項目の先頭に矢印のカーソルを移動する。

7 ジョグダイヤルボタンを押す。

カーソルが横向き矢印に変わり、別の項目が選択できるようになります。

メニューの構成

[ALL MENU]

BASIC CONFIG	カメラの基本的な設定項目（システム設定項目）を設定します。
NETWORK	ネットワーク関連の基本設定項目を設定します。
OUTPUT	各出力端子の項目を設定します。
IP SIGNAL	IP 関連の映像 / 音声出力に関する項目を設定します。
PAINT	カメラ映像に関する項目を設定します。
LENS	レンズ関連の項目を設定します。
DISPLAY SETUP	ステータス表示 / インジケータ表示などの項目を設定します。
TRACKING DATA OUTPUT	トラッキングデータ出力に関する項目を設定します。
FILES	SCENE ファイルや USB メモリに関する項目を設定します。
MAINTENANCE	メンテナンスに関する項目を設定します。

NOTE

- ・電源を入れた直後は、本機が起動中のため一部のメニューを選択できません。
異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。
- ・メニュー設定変更後、すぐに電源を切ると設定値が反映されない場合があります。
確実に反映させるためには、設定後 10 秒以上待ってから電源を切ってください。

メニューの一覧

- S** : シーンファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
U : ユーザーファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
O : オペレーションファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
R : リファレンスファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
N : ネットワークファイルデータとして保存 / 読み出しができます。

[BASIC CONFIG]

電源を入れた直後は、本機が起動中のため [FREQUENCY] を選択できません。

異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。

項目	設定内容
[FREQUENCY]	システム周波数を設定します。 [59.94Hz]、[50Hz] • 工場出荷値 : [59.94Hz]
[FORMAT]	システムフォーマットを設定します。 [2160/59.94p]、[2160/29.97p]、[2160/23.98p]、[1080/59.94p]、[1080/29.97p]、 [1080/23.98p]、[2160/50p]、[2160/25p]、[1080/50p]、[1080/25p] • 工場出荷値 : [2160/59.94p]
[FPS SW]	FPS 機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]  NOTE • [FORMAT] が [2160/59.94p] または [1080/59.94p] のときのみ設定できます。
[FPS]	[FPS SW] が [ON] のときに、MOS センサーのフレームレートを設定します。 [60]、[30]、[24] • 工場出荷値 : [60]
[OPT MODE]	OPT モードを設定します。 [ST2110_25G]、[ST2110_10G] • 工場出荷値 : [ST2110_25G]
[SFP FEC]	SFP モードの誤り訂正機能の有効 / 無効を設定します。 [25G-FEC]、[25G] • 工場出荷値 : [25G-FEC]
[V-LOG] UR	V-LOG モードの有効 / 無効を設定します。 [OFF] : 今までのスタジオカメラ同等に、カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。 [ON] : 階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブにします。撮影後のグレーディング処理が必要です。 • 工場出荷値 : [OFF]  NOTE • [HDR] が [ON] のときは [V-LOG] は選択できません。
[V-LOG PAINT SW] UR	[V-LOG] が [ON] 時に、[PAINT] メニューを設定可能にするかどうかを選択します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]  NOTE [V-LOG PAINT SW] を [ON] に設定しても、下記機能は設定できません。 • [GAMMA/BLACK GAMMA] の [GAMMA]、[GAMMA MODE SELECT]、[MASTER GAMMA]、[R GAMMA]、[B GAMMA]、[INITIAL GAMMA] • [DRS] の [DRS]、[EFFECT DEPTH] • [LINEAR MATRIX] の [PRESET MATRIX] • [COLOR CORRECTION] の [PRESET MATRIX]
[HDR] UR	HDR モードの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]  NOTE • [V-LOG] が [ON] のときは [HDR] は選択できません。
[GAMUT] UR	[HDR] が [ON] のときに、色域を切り替えます。 [NORMAL]、[WIDE_G2] • 工場出荷値 : [NORMAL]
[SHOOTING MODE] UR	撮影モードを設定します。 [NORMAL]、[LOW LIGHT] • 工場出荷値 : [NORMAL]

項目	設定内容
[COLOR BAR SETTING] UR	<p>[COLOR BAR SW]</p> <p>カラーバー機能の有効 / 無効を設定します。</p> <p>[COLOR BAR TYPE]</p> <p>表示するカラーバーのタイプを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [TYPE1] : SMPTE [TYPE2] : FULL [TYPE3] : ARIB (FHD) [TYPE4] : ARIB (UHD) [TYPE5] : ARIB (BT.2020/HLG) • 工場出荷値 : [TYPE1] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • IP 配信系 (H.264/H.265/M-JPEG) のカラーバーは、SMPTE 準拠しません。 • [TYPE4]/[TYPE5] では、709 設定時は 709 が出力されます。
[TALLY]	<p>[FRONT TALLY] UR</p> <p>フロントタリーの有効 / 無効を設定します。</p> <p>[ENABLE]、[DISABLE]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [ENABLE] <p>[BACK TALLY] UR</p> <p>バックタリーの有効 / 無効を設定します。</p> <p>[ENABLE]、[DISABLE]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [ENABLE] <p>[FRONT TALLY BRIGHTNESS] UR</p> <p>フロントタリーの明るさを設定します。</p> <p>[LOW]、[HIGH]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [LOW] <p>[BACK TALLY BRIGHTNESS] UR</p> <p>バックタリーの明るさを設定します。</p> <p>[LOW]、[HIGH]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [LOW] <p>[TALLY GUARD] UR</p> <p>タリーランプが点灯しているときの、オートホワイトバランス、オートブラックバランスの有効 / 無効を設定します。</p> <p>[OFF]、[ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [OFF] <p>[TSL5.0]</p> <p>TSL Protocol 5.0 による TALLY 制御に関する設定を行います。</p> <p>[INDEX NO.]</p> <p>TALLY 出力される機器で設定される INDEX NO. を設定します。</p> <p>[1] … [65534]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [1] <p>[PORT]</p> <p>PORT 番号を設定します。</p> <p>[1] … [65535]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [62000]
[SYNC SIGNAL]	<p>[REF SIGNAL] UR</p> <p>基準信号の入力端子を設定します。</p> <p>[BBS/TRI-LEVEL SYNC]、[PTP]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [BBS/TRI-LEVEL SYNC] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • [IP SIGNAL] – [ST2110 COMMON] – [MOIP MODE] が [OFF] のときは、[BBS/TRI-LEVEL SYNC] 固定です。 <p>[GEN-LOCK]</p> <p>—</p> <p>[IN/ OUT SEL] UR</p> <p>⟨G/L IN / REF OUT⟩ 端子を設定します。</p> <p>[GENLOCK IN]、[REF OUT]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [GENLOCK IN] <p>[H PHASE-COARSE] UR</p> <p>水平同期の位相合わせの粗調整をします。</p> <p>[–100] … [+100]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [0] <p>[H PHASE-FINE] UR</p> <p>水平同期の位相合わせの微調整をします。</p> <p>[–100] … [+100]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [0] <p>[PTP]</p> <p>—</p> <p>[CLOCK TYPE] UR</p> <p>PTP の CLOCK TYPE を設定します。</p> <p>[BC]、[E2E TC]、[P2P TC]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [BC] <p>[DOMAIN] UR</p> <p>DOMAIN 番号を設定します。</p> <p>[0] … [127]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [127] <p>[GMID]</p> <p>PTP サーバーから通知される GRANDMASTER ID を表示します。</p>
[BAR ID]	<p>[BAR ID] UR</p> <p>カラーバー上のカメラ ID の有効 / 無効を設定します。</p> <p>[OFF]、[ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [OFF] <p>[BRIGHTNESS] UR</p> <p>カラーバー上のカメラ ID の文字色を設定します。</p> <p>[0%] … [100%]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [100%] <p>[ID1 POSITION V] UR</p> <p>カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置（垂直方向）を設定します。</p> <p>[0] … [5]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値 : [0]

項目	設定内容
[ID1 POSITION H] UR	カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置（水平方向）を設定します。 [0] … [15] • 工場出荷値：[0]
[ID1] UR	カメラ ID1 を設定します。 最大 16 文字（半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ^ \$ @ { }）
[ID2 POSITION V] UR	カラーバー上のカメラ ID2 の表示開始位置（垂直方向）を設定します。 [0] … [5] • 工場出荷値：[1]
[ID2 POSITION H] UR	カラーバー上のカメラ ID2 の表示開始位置（水平方向）を設定します。 [0] … [15] • 工場出荷値：[0]
[ID2] UR	カメラ ID2 を設定します。 最大 16 文字（半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ^ \$ @ { }）
[OFFSET V] UR	文字描画領域の原点（左上）を、垂直方向に画素単位で指定します。 [0] … [89] • 工場出荷値：[0]
[OFFSET H] UR	文字描画領域の原点（左上）を、水平方向に画素単位で指定します。 [0] … [79] • 工場出荷値：[0]

[NETWORK]

項目	設定内容
[LAN]	<LAN> 端子のネットワークを設定します。
[DHCP]	DHCP の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値 : [192.168.0.40]
[SUBNET MASK]	サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値 : [255.255.255.0]
[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値 : [192.168.0.1]
[MAC ADDRESS]	MAC アドレスを表示します。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[SFP PRIMARY]	<SFP 1> 端子のネットワークを設定します。
[DHCP]	DHCP の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値 : [192.168.1.40]
[SUBNET MASK]	サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値 : [255.255.255.0]
[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値 : [192.168.1.1]
[MAC ADDRESS]	MAC アドレスを表示します。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[SFP SECONDARY]	<SFP 2> 端子のネットワークを設定します。
[DHCP]	DHCP の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値 : [192.168.2.40]
[SUBNET MASK]	サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値 : [255.255.255.0]
[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値 : [192.168.2.1]
[MAC ADDRESS]	MAC アドレスを表示します。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[COMMON SETTING]	—
[DNS]	DNS サーバーのアドレスの取得方法を設定します。 [MANUAL]、[AUTO] • 工場出荷値 : [MANUAL]
[PRIMARY]	DNS の PRIMARY アドレスを設定します。 表示のみ (OSD メニューでは設定変更できないため、設定変更する場合は Web 画面から設定してください。)
[SECONDARY]	DNS の SECONDARY アドレスを設定します。 表示のみ (OSD メニューでは設定変更できないため、設定変更する場合は Web 画面から設定してください。)
[DOMAIN]	DHCP サーバーが割り当てた値を表示します。 表示のみ (OSD メニューでは設定変更できないため、設定変更する場合は Web 画面から設定してください。)
[HTTP PORT]	HTTP で使用するときのポート番号を設定します。 [1] … [65535] 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[110]、[123]、[161]、[162]、[443]、 [546]、[547]、[554]、[995]、[5960] … [5985]、[7960] … [8060]、[10669]、[10670]、 [59000] … [61000] • 工場出荷値 : [80]
[HTTPS PORT]	HTTPS で使用するときのポート番号を設定します。 [1] … [65535] 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[80]、[110]、[123]、[161]、[162]、 [546]、[547]、[554]、[995]、[5960] … [5985]、[7960] … [8060]、[10669]、[10670]、 [59000] … [61000] • 工場出荷値 : [443]
[WEB CONNECTION]	本機への接続方法を設定します。 [HTTP]、[HTTPS] • 工場出荷値 : [HTTP]

項目	設定内容
[ROP PORT] [N]	ROP と接続するときのポート番号を設定します。 [49152]、[49200] … [49299] • 工場出荷値 : [49152]
[ROP AUTH MODE] [N]	ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。 [SHA2&MD5]、[SHA2] • 工場出荷値 : [SHA2&MD5]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[NTP]	—
[SYNCHRONIZATION WITH NTP] [URN]	NTP サーバー同期の有効 / 無効を設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値 : [OFF]
[NTP SERVER ADDRESS SETTING] [URN]	NTP サーバーのアドレスの取得方法を設定します。 [AUTO]、[MANUAL] • 工場出荷値 : [MANUAL]
[NTP SERVER ADDRESS] [N]	[NTP SERVER ADDRESS SETTING] が [MANUAL] のときに、NTP サーバーの IP アドレスを設定します。 最大 128 文字（半角英数字、: . _ -）
[NTP PORT] [N]	接続先 NTP サーバーのポート番号を設定します。 [1] … [65535] 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[80]、[110]、[161]、[162]、[443]、 [546]、[547]、[554]、[995]、[5960] … [5985]、[7960] … [8060]、[10669]、[10670]、 [59000] … [61000] • 工場出荷値 : [123]
[TIME ADJUSTMENT INTERVAL] [URN]	NTP サーバーへのアクセス間隔を設定します。 [1h] … [24h] • 工場出荷値 : [1h]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[NMOS]	—
[NMOS] [URN]	NMOS 機能の有効 / 無効を設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値 : [OFF]  NOTE • [IP SIGNAL] – [MOIP MODE] が [OFF] のときは [OFF] 固定です。
[STATUS] [N]	RDS 接続状態などの NMOS 動作状態を表示します。 [UNREGISTERED]、[REGISTERING]、[REGISTERED]、[P2P MODE]、[--]
[PORT(IS-04)] [N]	IS-04 Node API 用カメラ側ポート番号を設定します。 [1024] … [65535] • 工場出荷値 : [50040]
[PORT(IS-05)] [N]	IS-05 Connection API 用カメラ側ポート番号を設定します。 [1024] … [65535] • 工場出荷値 : [50050]
[RDS IP ADDR] [N]	自動検出した IP アドレスを表示します。
[RDS PORT] [N]	自動検出したポート番号を表示します。
[LABEL SETTING] [URN]	ラベル名を自動で取得するか、手動で入力するかを設定します。 [AUTO]、[MANUAL] • 工場出荷値 : [AUTO]
[LABEL PREFIX] [URN]	本機の各 NMOS リソース名に共通して付与する接頭辞を設定します。 最大 16 文字（半角英数字、空白、! # % () + - . / = [] _） • 工場出荷値 : [UBX100_****] (**** は、MAC アドレスの下 4 衔)
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[DISCOVERY] [URN]	NMOS リソースの検出方法を設定します。 [Auto]、[mDNS]、[uniDNS]、[Manual] • 工場出荷値 : [Auto]
[RDS IP ADDR MANUAL] [N]	手動で入力する IP アドレスを入力します。 • 工場出荷値 : [192.168.0.130]
[RDS PORT MANUAL] [N]	手動で入力するポート番号を設定します。 [1024] … [65535] • 工場出荷値 : [8010]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。

[OUTPUT]

項目	設定内容
[12G SDI OUT1]	[OUTPUT SELECT] <12G SDI OUT 1> 端子の出力設定状態です。 [CAM] : カメラ映像を出力
	[FORMAT SELECT] UR <12G SDI OUT 1> 端子の出力映像の信号フォーマットを設定します。 [2160p], [1080p], [1080i] • 工場出荷値 : [2160p]
	[HDR OUTPUT SELECT] UR [HDR] が [ON] のときに <12G SDI OUT 1> 端子から出力する信号を設定します。 [SDR(709)], [HDR(709)], [HDR(2020)] • 工場出荷値 : [HDR(2020)]  NOTE • [HDR(2020)] は、[BASIC CONFIG] – [GAMUT] が [WIDE_G2] のときのみ選択できます。
	[V-LOG OUTPUT SELECT] UR [V-LOG] が [ON] のときに <12G SDI OUT 1> 端子から出力する信号を設定します。 [V-LOG], [V-709], [BC709] • 工場出荷値 : [V-LOG]
	[OUTPUT ITEM] UR <12G SDI OUT 1> 端子の出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。 [MENU ONLY] : メニューのみ表示 [STATUS] : メニューと STATUS INDICATOR を表示 • 工場出荷値 : [MENU ONLY]
	[CHAR] UR <12G SDI OUT 1> 端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[12G SDI OUT2]	[OUTPUT SELECT] <12G SDI OUT 2> 端子の出力設定状態です。 [CAM] : カメラ映像を出力
	[FORMAT SELECT] UR <12G SDI OUT 2> 端子の出力映像の信号フォーマットを設定します。 [2160p], [1080p], [1080i] • 工場出荷値 : [2160p]
	[HDR OUTPUT SELECT] UR [HDR] が [ON] のときに <12G SDI OUT 2> 端子から出力する信号を設定します。 [SDR(709)], [HDR(709)], [HDR(2020)] • 工場出荷値 : [HDR(2020)]  NOTE • [HDR(2020)] は、[BASIC CONFIG] – [GAMUT] が [WIDE_G2] のときのみ選択できます。
	[V-LOG OUTPUT SELECT] UR [V-LOG] が [ON] のときに <12G SDI OUT 2> 端子から出力する信号を設定します。 [V-LOG], [V-709], [BC709] • 工場出荷値 : [V-709]
	[OUTPUT ITEM] UR <12G SDI OUT 2> 端子の出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。 [MENU ONLY] : メニューのみ表示 [STATUS] : メニューと STATUS INDICATOR を表示 • 工場出荷値 : [MENU ONLY]
	[CHAR] UR <12G SDI OUT 2> 端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[HD SDI OUT]	[OUTPUT SELECT] <HD SDI OUT> 端子の出力設定状態です。 [MONI] : モニター出力
	[FORMAT SELECT] UR <HD SDI OUT> 端子の出力映像の信号フォーマットを設定します。 [1080p], [1080i] • 工場出荷値 : [1080i]
	[HDR OUTPUT SELECT] UR [HDR] が [ON] のときに <HD SDI OUT> 端子から出力する信号の設定状態です。 [SDR(709)]
	[V-LOG OUTPUT SELECT] UR [V-LOG] が [ON] のときに <HD SDI OUT> 端子から出力する信号を設定します。 [V-709], [BC709] • 工場出荷値 : [V-709]
	[OUTPUT ITEM] UR <HD SDI OUT> 端子の出力映像に重畳するキャラクターの内容の設定状態です。 [STATUS] : メニューと STATUS INDICATOR を表示
	[CHAR] UR <HD SDI OUT> 端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかの設定状態です。 [ON]

[IP SIGNAL]

項目	設定内容
[START/STOP]	ストリーミングの配信開始 / 停止を設定します。 [START]、[STOP] • 工場出荷値 : [STOP]
[STREAMING COMMON]	<p>[STREAMING MODE] URN</p> <p>ストリーミングモードを設定します。 [SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]、[NDI High Bandwidth] • 工場出荷値 : [SRT(H.264)]</p> <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> [SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)] は将来対応予定です。 [BASIC CONFIG] – [FORMAT] が UHD のときのみ UHD ストリーミングモードを選択できます。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[TIMECODE OVERLAY] URN	IP 配信データにタイムコード情報を重複するかどうかを設定します。 [ENABLE]、[DISABLE] • 工場出荷値 : [DISABLE]
[HDR/V-LOG MODE] URN	HDR / V-LOG モードを設定します。 [V-LOG]、[V-709]、[BC709]、[SDR/709]、[HDR/709]、[HDR/2020] • 工場出荷値 : HDR ON 時 [SDR/709]、V-LOG ON 時 [V-709]
[OUTPUT ITEM] URN	出力映像に重複するキャラクターの内容を設定します。 [MENU ONLY] : メニューのみ表示 [STATUS] : メニューと STATUS INDICATOR を表示 • 工場出荷値 : [MENU ONLY]
[CHAR] URN	出力映像にキャラクターを重複するかどうかを設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
[JPEG(1)]	JPEG(1) の画像の設定を行います。
[JPEG TRANSMISSION] URN	JPEG(1) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値 : [ON]
[IMAGE CAPTURE SIZE] URN	JPEG(1) 画像を表示する画像解像度を設定します。 [1920 x 1080]、[1280 x 720]、[640 x 360]、[320 x 180] • 工場出荷値 : [1280 x 720]
[REFRESH INTERVAL] URN	JPEG(1) 画像を更新する速度を設定します。 [59.94Hz] [1fps]、[5fps]、[15fps]、[30fps] [50Hz] [1fps]、[5fps]、[12.5fps]、[25fps] [23.98Hz] [1fps]、[4fps]、[12fps]、[24fps] • 工場出荷値 : [30fps]
[IMAGE QUAULITY] URN	JPEG(1) 画像の画質を設定します。 [FINE]、[NORMAL] • 工場出荷値 : [FINE]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[JPEG(2)]	JPEG(2) の画像の設定を行います。 [STREAMING MODE] が [NDI High Bandwidth] のときは設定できません。
[JPEG TRANSMISSION] URN	JPEG(2) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値 : [ON]
[IMAGE CAPTURE SIZE] URN	JPEG(2) 画像を表示する画像解像度を設定します。 [640 x 360]、[320 x 180] • 工場出荷値 : [640 x 360]
[REFRESH INTERVAL] URN	JPEG(2) 画像を更新する速度を設定します。 [59.94Hz] [1fps]、[5fps]、[15fps]、[30fps] [50Hz] [1fps]、[5fps]、[12.5fps]、[25fps] [23.98Hz] [1fps]、[4fps]、[12fps]、[24fps] • 工場出荷値 : [30fps]
[IMAGE QUAULITY] URN	JPEG(2) 画像の画質を設定します。 [FINE]、[NORMAL] • 工場出荷値 : [FINE]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。

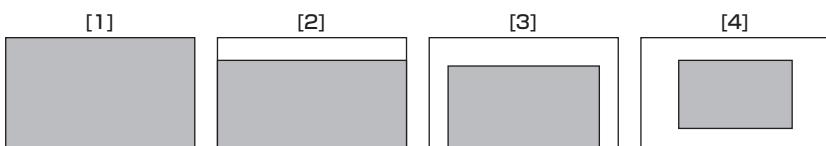
項目	設定内容
[JPEG(3)]	JPEG(3) の画像の設定を行います。 [STREAMING MODE] が [NDI High Bandwidth] のときは設定できません。
[JPEG TRANSMISSION] URN	JPEG(3) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値 : [ON]
[IMAGE CAPTURE SIZE] URN	JPEG(3) 画像を表示する画像解像度を設定します。 [640 x 360]、[320 x 180] • 工場出荷値 : [320 x 180]
[REFRESH INTERVAL] URN	JPEG(3) 画像を更新する速度を設定します。 [59.94Hz] [1fps]、[5fps]、[15fps]、[30fps] [50Hz] [1fps]、[5fps]、[12.5fps]、[25fps] [23.98Hz] [1fps]、[4fps]、[12fps]、[24fps] • 工場出荷値 : [30fps]
[IMAGE QUAALITY] URN	JPEG(3) 画像の画質を設定します。 [FINE]、[NORMAL] • 工場出荷値 : [FINE]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[SRT]	SRT 配信設定を行います。
[SRT TRANSMISSION] URN	SRT 配信の有効 / 無効を設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値 : [ON]
[BIT DEPTH] URN	SRT 配信映像の bit 数を設定します。 [10bit]、[8bit] • 工場出荷値 : [10bit]
[PROFILE TYPE] URN	H.264 画像を配信するときのプロファイルを設定します。 H.265 選択時には設定できません。 [HIGH]、[MAIN]、[BASELINE] • 工場出荷値 : [HIGH]  NOTE • [BIT DEPTH] が [10bit] または [IMAGE CAPTURE SIZE] が [3840 x 2160] のときは、 [HIGH] 固定です。
[IMAGE CAPTURE SIZE] URN	SRT 配信映像の解像度を設定します。 SRT(H264) [1920 x 1080]、[1280 x 720] SRT(H264 UHD) [3840 x 2160] SRT(H265) [1920 x 1080]、[1280 x 720] SRT(H265 UHD) [3840 x 2160] • 工場出荷値 : SRT(H264) : [1920 x 1080] SRT(H264 UHD) : [3840 x 2160] SRT(H265) : [1920 x 1080] SRT(H265 UHD) : [3840 x 2160]  NOTE • SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265 UHD) は将来対応予定です。
[CBR/VBR] URN	SRT 配信映像のビットレートの制御方式を設定します。 [CBR]、[VBR] • 工場出荷値 : [VBR]
[FRAME RATE] URN	SRT 配信映像のフレームレートを設定します。 [59.94Hz] [30fps]、[60fps] [50Hz] [25fps]、[50fps] [23.98Hz] [24fps] • 工場出荷値 : 59.94Hz : [60fps] 50Hz : [50fps] 23.98Hz : [24fps]

項目	設定内容
[MAX BIT RATE] URN	<p>1 クライアントに対するビットレートを設定します。</p> <p>SRT(H.264)</p> <p>[BIT DEPTH] が [10bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1920 x 1080]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps] のとき： [36864(36Mbps)]、[30720(30Mbps)]、[21504(21Mbps)]、[15360(15Mbps)]、 [12288(12Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[36864(36Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [10bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1920 x 1080]、[FRAME RATE] が [30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [21504(21Mbps)]、[15360(15Mbps)]、[12288(12Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[12288(12Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [10bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1280 x 720]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps] のとき： [21504(21Mbps)]、[15360(15Mbps)]、[12288(12Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[12288(12Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [10bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1280 x 720]、[FRAME RATE] が [30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [12288(12Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[12288(12Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1920 x 1080]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps] のとき： [24576(24Mbps)]、[20480(20Mbps)]、[14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、 [8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[8192(8Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1920 x 1080]、[FRAME RATE] が [30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[8192(8Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1280 x 720]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps] のとき： [14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[8192(8Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1280 x 720]、[FRAME RATE] が [30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[8192(8Mbps)] <p>SRT(H.264 UHD)</p> <p>[BIT DEPTH] が [10bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [3840 x 2160]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps]/[30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [112640(110Mbps)]、[76800(75Mbps)]、[36864(36Mbps)]、[18432(18Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[36864(36Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [3840 x 2160]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps]/[30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [76800(75Mbps)]、[51200(50Mbps)]、[25600(25Mbps)]、[12800(12.5Mbps)]、 [10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[8192(8Mbps)] <p>SRT(H.265)</p> <p>[BIT DEPTH] が [10bit]/[8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1920 x 1080]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps] のとき： [24576(24Mbps)]、[20480(20Mbps)]、[14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、 [8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[14336(14Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [10bit]/[8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1920 x 1080]、[FRAME RATE] が [30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[14336(14Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [10bit]/[8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1280 x 720]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps] のとき： [14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[14336(14Mbps)] <p>[BIT DEPTH] が [10bit]/[8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [1280 x 720]、[FRAME RATE] が [30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[8192(8Mbps)] <p>SRT(H.265 UHD)</p> <p>[BIT DEPTH] が [10bit]/[8bit]、[IMAGE CAPTURE SIZE] が [3840 x 2160]、[FRAME RATE] が [60fps]/[50fps]/[30fps]/[25fps]/[24fps] のとき： [76800(75Mbps)]、[51200(50Mbps)]、[25600(25Mbps)]、[12800(12.5Mbps)]、 [10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷値：[76800(75Mbps)] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265 UHD) は将来対応予定です。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。

項目	設定内容
[MODE] URN	SRT 対応デコーダーまたはサービスへの接続方法を選択します。 [CLIENT(CALLER)]、[LISTENER] • 工場出荷値：[LISTENER]
[DESTINATION URL] N	[MODE] で [CLIENT(CALLER)] が設定されているときに、IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 • 工場出荷値：[192.168.0.3]
[DESTINATION PORT] N	[MODE] で [CLIENT(CALLER)] が設定されているときに、ポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。指定したポート番号に接続します。 [1] … [65535] • 工場出荷値：[7002]
[STREAM ID] N	[MODE] で [CLIENT(CALLER)] が設定されているときに、STREAM ID を入力します。入力された情報は SRT 配信開始時に接続先に通知されます。 • 工場出荷値：[#!::m=publis,r=PanasonicStream]
[CLIENT(CALLER)] N	[MODE] で [LISTENER] が設定されているときに、ポート番号（本機が接続を待ち受けるときに使用）を入力します。 • 工場出荷値：[2020]
[TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 [1] … [254] • 工場出荷値：[16]
[LATENCY] N	映像・音声が送信されてから、受信側で再生されるまでの時間 (ms) を設定します。 [0] … [65535] • 工場出荷値：[120]
[ENCRYPTION] N	配信される IP 映像を暗号化するか設定します。 [OFF]、[AES-128]、[AES-256] • 工場出荷値：[OFF]
[PASSPHRASE] N	暗号化された IP 映像を復号化するためのフレーズを設定します。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[NDI HIGH BANDWIDTH]	NDI 配信設定を行います。
[FORMAT SELECT] URN	NDI 配信のフォーマットを設定します。
[SOURCE NAME] N	本機が NDI と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示されるデバイス名を設定します。 最大 32 文字（半角英数字、: - _） • 工場出荷値：[NDI_Device-[シリアル No]]
[PROTOCOL] N	ユニキャスト配信する際の方式を設定します。 [TCP]、[UDP]、[RUDP] • 工場出荷値：[RUDP]
[MULTICAST TRANSMIT] N	NDI と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するか設定します。 [ON]、[OFF] • 工場出荷値：[OFF]
[ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 [224.0.0.0] … [239.255.255.255] 工場出荷値：[239.192.0.30]
[SUBNET] N	サブネットマスクを入力します。 • 工場出荷値：[255.255.255.255]
[TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 [1] … [254] • 工場出荷値：[16]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[GROUP] N	NDI 配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうか設定します。 [ENABLE]、[DISABLE] • 工場出荷値：[DISABLE]
[NAME] N	グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。 最大 63 文字（半角英数字、: - _）
[USE DISCOVERY SERVER] N	NDI 配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうか設定します。 [ENABLE]、[DISABLE] • 工場出荷値：[DISABLE]
[SERVER ADDRESS] N	ディスカバリーサーバーを使用するときに、サーバーの IPv4 アドレスを設定します。
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[ST2110 COMMON]	
[MOIP MODE] URN	MOIP (SMPTE ST2110 映像 / 音声の入出力) の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値：[OFF]
[ST2110 PORT] URN	SMPTE ST2110 用ポート番号（本機から SMPTE ST2110 を送信するときに使用）を入力します。 10670 はポート番号に設定できません。 • 工場出荷値：[49330]
[MAIN VIDEO TX]	—

項目	設定内容
[FORMAT] URN	SMPTE ST2110 (非圧縮) の MAIN 映像信号の映像フォーマットを設定します。
	[HDR/V-LOG MODE] URN
	[MONI VIDEO TX]
	[FORMAT] URN
	<p>SMPTE ST2110 (非圧縮) の MONI 映像信号の映像フォーマットが確認できます。 映像フォーマットは HD SDI OUT に準じます。</p> <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • SMPTE ST2110-21 には対応していません。
	[HDR/V-LOG MODE] URN
[ST2110 PRIMARY TX]	SMPTE ST2110 (非圧縮) の PRIMARY 送信設定を行います。
	[MAIN VIDEO TX]
	[DEST ADDR] N
	<p>[MAIN VIDEO] の配信先 IP アドレスを入力します。 第 1 オクテット : 0 ~ 239 第 2 オクテット : 0 ~ 255 第 3 オクテット : 0 ~ 255 第 4 オクテット : 0 ~ 255 0.0.0.0, 224.0.0.0 ~ 224.0.1.255、第 1 オクテットが 127 の IP アドレスは設定できません。 • 工場出荷値 : [230.1.0.1]</p>
	[DEST PORT] N
	<p>[MAIN VIDEO] の配信先ポート番号を入力します。 [1024] … [65535] 10670 はポート番号に設定できません。 • 工場出荷値 : [49101]</p>
	[MONI VIDEO TX]
	[DEST ADDR] N
	<p>[MONI VIDEO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値 : [230.1.0.3]</p>
	[DEST PORT] N
	<p>[MONI VIDEO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値 : [49103]</p>
[ST2110 SECONDARY TX]	[SET EXECUTE]
	SMPTE ST2110 (非圧縮) の SECONDARY 送信設定を行います。
	[MAIN VIDEO TX]
	[DEST ADDR] N
	[DEST PORT] N
	[MONI VIDEO TX]
	[DEST ADDR] N

[PAINT]

項目	設定内容
[AUTO]	[AGC] USO オートゲイン制御の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[AUTO IRIS] USO 自動アイリス調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[ATW] USO オートトラッキングホワイトバランス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[KNEE MODE] USR 階調圧縮（二）の動作モードを設定します。 [AUTO]、[MANUAL] • 工場出荷値 : [MANUAL]
[GAIN SETTING]	[GAIN/ISO MODE] ゲイン値の単位を設定します。 [dB]、[ISO] • 工場出荷値 : [dB]
	[GAIN] USR ゲインアップ量を設定します。 [dB モード] [-6dB] … [18dB] [ISO モード] [ISO 400]、[ISO 500]、[ISO 640]、[ISO 800]、[ISO 1000]、[ISO 1250]、 [ISO 1600]、[ISO 2000]、[ISO 2500]、[ISO 3200]、[ISO 4000]、[ISO 5000]、 [ISO 6400]、[ISO 8000]、[ISO 10000]、[ISO 12800] • 工場出荷値： [dB モード] 0dB [ISO モード] ISO 800
	[OFFSET GAIN] USR [GAIN]からのオフセットを設定します。 [-2.9dB] … [+2.9dB] (0.1 dB ステップ) • 工場出荷値 : [0.0dB]
	[AGC] USR オートゲイン制御の動作を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[AGC MAX GAIN] USR [AGC]動作時の最大ゲイン量を設定します。 [6dB]、[12dB]、[18dB] • 工場出荷値 : [6dB]
[IRIS]	[AUTO IRIS] USO オートアイリスモードの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON] (カメラ単体で使用しているとき)、[OFF] (その他)
	[WINDOW SELECT] USO 測光範囲を設定します。 [1] … [5] ウィンドウイメージは次のようにになります。  • 工場出荷値 : [1]
	 NOTE • [5]を選択したときは、任意のウィンドウ（領域）を指定できます。 領域の指定は、Web ブラウザから設定可能です。
	[IRIS LEVEL] UO オートアイリスの目標値（明るさ）を調整します。 [0] … [100] • 工場出荷値 : [50]
	[PEAK RATIO] USO オートアイリス測光のピーク値と平均値の割合を設定します。 [0] … [100] • 工場出荷値 : [30]
	[IRIS RANGE] UO アイリス調整ジョイスティックによるオートアイリスレベルの微調整範囲を設定します。 [NORMAL]、[(3/4)]、[(2/4)]、[(1/4)] • 工場出荷値 : [NORMAL]
	[IRIS SPEED] USO オートアイリスピードを設定します。 [1] … [25] • 工場出荷値 : [15]
	[IRIS GAIN] UO オートアイリスの測光速度の調整を、レンズのアイリスゲインボリュームから行うか、メニューから行うかを切り替えます。通常は [LENS] に設定して、レンズのアイリスボリュームで調整します。 [LENS]、[CAM] • 工場出荷値 : [LENS]

項目	設定内容
[W/B BAL SETTING]	[AWB SET] オートホワイトバランスを実行します。 [NO]、[YES]
	[ABB SET] オートブラックバランスを実行します。 [NO]、[YES]
	[ATW] USO オートトラッキングホワイトバランス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[ATW SPEED] USO オートトラッキングホワイトバランス機能の制御スピードを設定します。 [NORMAL]、[SLOW]、[FAST] • 工場出荷値 : [NORMAL]
	[ATW TARGET R] US オートトラッキングホワイトバランスの動作で収束したときに、Rch の出力を微調整します。 [-10] … [10] • 工場出荷値 : [0]
	[ATW TARGET B] US オートトラッキングホワイトバランスの動作で収束したときに、Bch の出力を微調整します。 [-10] … [10] • 工場出荷値 : [0]
	[SHOCKLESS WB SW] USO ショックレスホワイトバランスの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[SHOCKLESS WB SPEED] USO ショックレスホワイトバランスのスピードを設定します。 [1] … [5] • 工場出荷値 : [4]
[SHUTTER SPEED]	[SHUTTER SW] USR シャッター機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF] : シャッターを無効にします。 [ON] : [SHUTTER SPEED]/[SYNCHRO SCAN] でシャッタースピードを設定します。 • 工場出荷値 : [OFF]
	[SHUTTER DISP] USR シャッターの表示を設定します。 [sec]、[deg] • 工場出荷値 : [sec]
	[SHUTTER MODE] USR シャッターの動作モードを選択します。 [STEP] : [SHUTTER SPEED] で設定されたシャッタースピードになります。 [SYNCHRO] : [SYNCHRO SCAN] で設定されたシャッタースピードになります。 • 工場出荷値 : [STEP]
	[SHUTTER SPEED] USR [SHUTTER MODE] が [STEP] のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間 (分数)、[deg] に設定しているときは開角角度で表示します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : [1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000] [50i]/[50p] モード : [1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000] [29.97p] モード : [1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、 [1/1500]、[1/2000] [25p] モード : [1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、 [1/1500]、[1/2000] [23.98p] モード : [1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、 [1/1500]、[1/2000] [deg] 表示の場合 [HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、 [180.0d]、[270.0d]、[357.0d] • 工場出荷値 : [1/100]
	[SYNCHRO SCAN] USR [SHUTTER MODE] が [SYNCHRO] のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間 (分数)、[deg] に設定しているときは開角角度で表示します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : [60.0Hz] … [7200Hz] • 工場出荷値 : [60.0Hz] [50i]/[50p] モード : [50.0Hz] … [7200Hz] [29.97p] モード : [30.0Hz] … [7200Hz] [25p] モード : [25.0Hz] … [7200Hz] [23.98p] モード : [24.0Hz] … [7200Hz] [deg] 表示の場合 [3.0 deg] … [357.0 deg]
	[MASTER PEDESTAL] USR マスターペデスタルの黒レベルを調整します。 [-200] … [+200] • 工場出荷値 : [0]
	[R PEDESTAL] USR マスターペデスタルに対して赤色の補正レベルを設定します。 [-800] … [+800] • 工場出荷値 : [0]

項目	設定内容
[G PEDESTAL] USR	マスターペデスタイルに対して緑色の補正レベルを設定します。 [-800] … [+800] • 工場出荷値 : [0]
[B PEDESTAL] USR	マスターペデスタイルに対して青色の補正レベルを設定します。 [-800] … [+800] • 工場出荷値 : [0]
[PEDESTAL OFFSET] USR	オートブラックバランスを調整したときの、Rch、Gch、Bch のペデスタイルレベルを保持するかどうかを設定します。 [ON] : [R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL] で設定した値を保持したままにします。 [OFF] : [R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL] で設定を [0] にします。 • 工場出荷値 : [OFF]
[CHROMA]	[CHROMA LEVEL SWITCH] USR クロマのゲイン調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[CHROMA LEVEL] USR クロマのゲイン調整を設定します。 [-100%] … [+80%] • 工場出荷値 : [0%]
[COLOR TEMP SETTING]	[COLOR TEMP PRESET]
	—
	[COLOR TEMP PRE SWITCH] USR 色温度の調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[COLOR TEMP] USR [COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] のときの色温度を設定します。 [2000K] … [15000K] • 工場出荷値 : [3200K]
	[R GAIN] USR 色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAIN] USR 色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[G AXIS] USR 色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[COLOR TEMP]
	システム接続しているときは、[COLOR TEMP] のみ設定できます。
	[COLOR TEMP] USR 色温度を設定します。 [2000K] … [15000K] • 工場出荷値 : [3200K]
	[R GAIN] USR 色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAIN] USR 色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[G AXIS] USR 色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
[RGB GAIN CONTROL SETTING]	
[G GAIN REL CONTROL SW] USR	Gch ゲインの相対値制御の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[RGB GAIN PRESET]	—
	[R GAIN] USR Rch ゲインのプリセット値を設定します。 [-1000] … [+1000] • 工場出荷値 : [0]
	[G GAIN] USR Gch ゲインのプリセット値を設定します。 [-1000] … [+1000] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAIN] USR Bch ゲインのプリセット値を設定します。 [-1000] … [+1000] • 工場出荷値 : [0]
[RGB GAIN]	—
	[R GAIN] USR ゲインに対して赤色の補正レベルを設定します。 [-1000] … [+1000] • 工場出荷値 : [0]
	[G GAIN] USR ゲインに対して緑色の補正レベルを設定します。 [-1000] … [+1000] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAIN] USR ゲインに対して青色の補正レベルを設定します。 [-1000] … [+1000] • 工場出荷値 : [0]

項目	設定内容
	[GAIN OFFSET] USR オートホワイトバランスを調整したときの Rch、Gch、Bch のゲインレベルを保持するかどうかを設定します。 [ON] : [R GAIN]、[G GAIN]、[B GAIN] で設定した値を保持したままにします。 [OFF] : [R GAIN]、[G GAIN]、[B GAIN] で設定を [0] にします。 • 工場出荷値 : [OFF]
[FLARE]	[FLARE] USR フレア補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[MASTER FLARE] USR マスターフレアを調整します。 [-200] … [+200] • 工場出荷値 : [0]
	[R FLARE] USR Rch フレアを調整します。 [-200] … [+200] • 工場出荷値 : [0]
	[G FLARE] USR Gch フレアを調整します。 [-200] … [+200] • 工場出荷値 : [0]
	[B FLARE] USR Bch フレアを調整します。 [-200] … [+200] • 工場出荷値 : [0]
[GAMMA/BLACK GAMMA]	[GAMMA] USR ガンマ補正の有効 / 無効を設定します。 HDR モードのときは設定できません。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[GAMMA MODE SELECT] USR ガンマの種類を選択します。 [HD] : 当社製の放送機器に準じたビデオガンマ特性です。 [NORMAL] : フェイストーンを持ち上げるガンマ特性です。 [CINEMA1] : コントラストが強めのガンマ特性です。 [CINEMA2] : 落ち着いた調子のガンマ特性です。 • 工場出荷値 : [HD]
	[MASTER GAMMA] USR ガンマ特性を調整します。 [0.15] … [0.75] (0.01 ステップ) • 工場出荷値 : [0.45]
	[OFFSET GAMMA] USR ガンマ特性を微調整します。 [-10] … [+10] • 工場出荷値 : [0]
	[R GAMMA] USR マスターガンマに対して赤色のガンマ特性を調整します。 [-75] … [+75] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAMMA] USR マスターガンマに対して青色のガンマ特性を調整します。 [-75] … [+75] • 工場出荷値 : [0]
	[BLACK GAMMA] USR ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 [V-LOG] が [ON]、または、[HDR] が [ON] のときは設定できません。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[MASTER BLACK GAMMA] USR 黒付近のガンマ特性を調整します。 [-48] … [+48] • 工場出荷値 : [0]
	[R BLACK GAMMA] USR マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。 [-20] … [+20] • 工場出荷値 : [0]
	[B BLACK GAMMA] USR マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。 [-20] … [+20] • 工場出荷値 : [0]
	[BLACK GAMMA RANGE] USR 暗部のガンマカーブの圧縮 / 伸張を行う上限レベルを設定します。 [1] : 20%程度 [2] : 30%程度 [3] : 40%程度 • 工場出荷値 : [3]
	[INITIAL GAMMA] USR ガンマの立ち上がり傾きを設定します。 [GAMMA MODE SELECT] が [HD] のとき : [4.0]/[4.5]/[5.0] [GAMMA MODE SELECT] が [NORMAL]、[CINEMA1]、[CINEMA2] のときは設定できません。 • 工場出荷値 : [4.5]
[KNEE]	[KNEE] USR 二一機能の有効 / 無効を設定します。 HDR モードのときは設定できません。 [DRS] を有効にしているときは、[KNEE] の設定が無効になります。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[KNEE MODE] USR 階調圧縮（二一）の動作モードを設定します。 [AUTO]、[MANUAL] • 工場出荷値 : [MANUAL]

項目	設定内容
[KNEE MASTER POINT] USR	ニーポイントの位置を設定します。 [80.00%] … [110.00%] (0.25% ステップ) • 工場出荷値 : [95.00%]
[KNEE R POINT] USR	[KNEE MASTER POINT] に対して赤色のニーポイントを調整します。 [-25.00%] … [25.00%] (0.25% ステップ) • 工場出荷値 : [0.00%]
[KNEE B POINT] USR	[KNEE MASTER POINT] に対して青色のニーポイントを調整します。 [-25.00%] … [25.00%] (0.25% ステップ) • 工場出荷値 : [0.00%]
[KNEE MASTER SLOPE] USR	ニーの傾きを設定します。 [0] … [199] • 工場出荷値 : [130]
[KNEE R SLOPE] USR	[KNEE MASTER SLOPE] に対して赤色のニーの傾きを調整します。 [-99] … [+99] • 工場出荷値 : [0]
[KNEE B SLOPE] USR	[KNEE MASTER SLOPE] に対して青色のニーの傾きを調整します。 [-99] … [+99] • 工場出荷値 : [0]
[AUTO KNEE RESPONSE] USR	オートニーの応答速度を設定します。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。 [1] … [8] • 工場出荷値 : [4]
[WHITE CLIP]	<p>[WHITE CLIP] USR</p> <p>ホワイトクリップ機能の有効 / 無効を設定します。 HDR モードのときは設定できません。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]</p> <p>[MASTER WHITE CLIP LEVEL] USR</p> <p>ホワイトクリップレベルを設定します。 [80%] … [109%] • 工場出荷値 : [109%]</p> <p>[R WHITE CLIP LEVEL] USR</p> <p>[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して赤色を調整します。 [-15%] … [+15%] • 工場出荷値 : [0%]</p> <p>[B WHITE CLIP LEVEL] USR</p> <p>[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して青色を調整します。 [-15%] … [+15%] • 工場出荷値 : [0%]</p> <p>[HI-COLOR] USR</p> <p>高輝度部分の色再現性を改善させるかどうかを設定します。[DRS] を有効にしているときは、[HI-COLOR] の設定が無効になります。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]</p> <p>[HI-COLOR LEVEL] USR</p> <p>色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。 [1] … [32] • 工場出荷値 : [32]</p>
[DRS]	<p>[DRS] USR</p> <p>ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効 / 無効を設定します。[ON] にするとコントラストを自動調整します。 [V-LOG] が [ON] のときは設定できません。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]</p> <p>[EFFECT DEPTH] USR</p> <p>ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。 [1] … [5] • 工場出荷値 : [5]</p>
[DETAIL SETTING]	<p>[DETAIL] USR</p> <p>全ディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]</p> <p>[MASTER DETAIL] USR</p> <p>マスター ディテールを設定します [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[PEAK FREQUENCY] USR</p> <p>水平ディテールのピーク周波数を設定します。 [1] … [8] • 工場出荷値 : [6]</p> <p>[CRISP] USR</p> <p>ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[DETAIL GAIN(+)] USR</p> <p>ディテールの + (上) 方向のレベルを設定します。 [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[DETAIL GAIN(-)] USR</p> <p>ディテールの - (下) 方向のレベルを設定します。 [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[DETAIL CLIP(+)] USR</p> <p>ディテールの付きすぎによるざらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [0]</p>

項目	設定内容	
[DETAIL CLIP(-)] USR	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを調整します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [0]	
[KNEE APERTURE LEVEL] USR	ニーの開口部のレベルを調整します。 [0] … [39] • 工場出荷値 : [0]	
[DETAIL KNEE] USR	ニーのディテール成分を調整します。 [0] … [15] • 工場出荷値 : [0]	
[LEVEL DEPENDENT SW] USR	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]	
[LEVEL DEPENDENT] USR	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。 [0] … [15] • 工場出荷値 : [8]	
[DARK DETAIL SW] USR	暗部のディテールを強調する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]	
[DARK DETAIL] USR	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。 [0] … [7] • 工場出荷値 : [3]	
[DOWNCON SETTING]	HD モードのときは設定できません。	
[CHROMA]	[CHROMA LEVEL SW] USR	クロマのゲイン調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[CHROMA LEVEL] USR	クロマのゲイン調整を設定します。 [-100%] … [+80%] • 工場出荷値 : [0%]
[DETAIL SETTING]	[DETAIL] USR	全ディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[MASTER DETAIL] USR	マスター ディテールを設定します [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]
	[H DETAIL LEVEL] USR	水平ディテール補正レベルを設定します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [15]
	[V DETAIL LEVEL] USR	垂直ディテール補正レベルを設定します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [15]
	[PEAK FREQUENCY] USR	水平ディテールのピーク周波数を設定します。 [12.4MHz], [12.5MHz], [12.7MHz], [12.9MHz], [13.0MHz], [13.3MHz], [13.6MHz], [13.9MHz], [14.2MHz], [14.6MHz], [15.0MHz], [15.5MHz], [16.1MHz], [16.7MHz], [17.3MHz], [18.3MHz], [18.6MHz], [18.8MHz], [19.0MHz], [19.2MHz], [19.5MHz], [19.9MHz], [20.3MHz], [20.9MHz], [21.5MHz], [22.4MHz], [23.6MHz], [25.4MHz], [28.6MHz], [37.1MHz] • 工場出荷値 : [15.0MHz]
	[V DETAIL FREQUENCY] USR	垂直ディテール周波数を設定します。 [0] … [31] • 工場出荷値 : [10]
	[CRISP] USR	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [10]
	[DETAIL CLIP(+)] USR	ディテールの付きすぎによるざらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [0]
	[DETAIL CLIP(-)] USR	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを調整します。 [0] … [63] • 工場出荷値 : [0]
	[KNEE APERTURE LEVEL] USR	ニーの開口部のレベルを調整します。 [0] … [39] • 工場出荷値 : [0]
	[DETAIL KNEE] USR	ニーのディテール成分を調整します。 [0] … [15] • 工場出荷値 : [0]
	[LEVEL DEPENDENT SW] USR	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[LEVEL DEPENDENT] USR	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。 [0] … [15] • 工場出荷値 : [8]

項目	設定内容
	[DARK DETAIL SWITCH] USR 暗部のディテールを強調する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[DARK DETAIL] USR 暗部のディテールを強調するレベルを設定します。 [0] … [7] • 工場出荷値 : [2]
[SKIN TONE DETAIL SETTING]	[SKIN TONE DETAIL] USR スキントーンディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[MEMORY SELECT] USR スキントーンテーブルを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。 [A]、[B]、[C] • 工場出荷値 : [A]
	[ZEBRA] USR ゼブラ表示の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[ZEBRA EFFECT MEMORY] USR ゼebra表示のテーブルを選択します。 [A]、[B]、[C]、[A+B]、[A+C]、[B+C]、[A+B+C] • 工場出荷値 : [A+B+C]
	[SKIN TONE EFFECT MEMORY] USR スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 [A]、[B]、[C]、[A+B]、[A+C]、[B+C]、[A+B+C] • 工場出荷値 : [A+B+C]
	[SKIN TONE CRISP] USR スキントーンディテールを調整します。 [0] … [8] • 工場出荷値 : [8]
	[I CENTER] USR I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。 [0] … [255] • 工場出荷値 : [65]
	[I WIDTH] USR [I CENTER]を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 [0] … [255] • 工場出荷値 : [63]
	[Q WIDTH] USR [I CENTER]を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 [0] … [255] • 工場出荷値 : [32]
	[Q PHASE] USR Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。 [0] … [359] • 工場出荷値 : [90]
[SKIN TONE DETAIL SETTING]	[SKIN TONE DETAIL] USR スキントーンディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [ALL MENU] → [PAINT] → [DETAIL SETTING] → [DETAIL] → [OFF] のときは設定できません。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[SKIN GET] USR カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得するかどうか選択します。 [NO]、[YES]
	[MEMORY SELECT] USR スキントーンテーブルを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。 [A]、[B]、[C] • 工場出荷値 : [A]
	[CURSOR] USR 画面中央のボックスカーソルの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[H POSITION] USR カーソルの水平位置を調整します。 [0%] … [100%] (0.25% ステップ) • 工場出荷値 : [50%]
	[V POSITION] USR カーソルの垂直位置を調整します。 [0%] … [100%] (0.25% ステップ) • 工場出荷値 : [50%]
	[ZEBRA] USR ゼebra表示の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[ZEBRA EFFECT MEMORY] USR ゼebra表示のテーブルを選択します。 [A]、[B]、[C]、[A+B]、[A+C]、[B+C]、[A+B+C] • 工場出荷値 : [A+B+C]
	[SKIN TONE EFFECT MEMORY] USR スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 [A]、[B]、[C]、[A+B]、[A+C]、[B+C]、[A+B+C] • 工場出荷値 : [A+B+C]
	[SKIN TONE CRISP] USR スキントーンディテールを調整します。 [-63] … [+63] • 工場出荷値 : [+63]
	[I CENTER] USR I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。 [0] … [255] • 工場出荷値 : [65]
	[I WIDTH] USR [I CENTER]を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 [0] … [255] • 工場出荷値 : [63]

項目	設定内容
[LINEAR MATRIX]	[Q WIDTH] USR [I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 [O] … [255] •工場出荷値：[32]
	[Q PHASE] USR Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。 [O] … [359] •工場出荷値：[90]
[PRESET MATRIX] USR	プリセットマトリックスを設定します。 [HD]：当社製の放送機器に準じたマトリックス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。 [NORMAL]：屋外環境を重視したマトリックス設定です。 [GAMMA]を[NORMAL]に設定して使用してください。 [STD1]：当社製スタジオカメラ AK-UC4000 (NORM-NORMAL) に準じたマトリックス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。 [STD2]：当社製スタジオカメラ AK-UC4000 (NORM-OE.11) に準じたマトリックス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。 [CINEMA1]：コントラストが強めのマトリックス設定です。 [GAMMA]を[CINEMA1]に設定して使用してください。 [CINEMA2]：落ち着いた調子のマトリックス設定です。 [GAMMA]を[CINEMA2]に設定して使用してください。 [USER]：当社製リモートカメラ AW-UE150 に準じたマトリックス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。 •工場出荷値：[STD1]
[MATRIX] USR	マトリックス機能（リニアマトリックス、12軸色補正）の有効／無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[LINEAR MATRIX] USR	リニアマトリックス機能の有効／無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[LINEAR TABLE] USR	リニアマトリックスのテーブルを選択します。 [A]、[B] •工場出荷値：[A]
[COLOR CORRECT] USR	12軸色補正機能の有効／無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[COLOR CORRECT TABLE] USR	色補正テーブルを選択します。 [A]、[B] •工場出荷値：[A]
[MATRIX (R-G)_N] USR	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (R-G)_P] USR	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (R-B)_N] USR	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (R-B)_P] USR	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-R)_N] USR	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-R)_P] USR	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-B)_N] USR	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-B)_P] USR	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[MATRIX (B-R)_N] USR	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX]が[OFF]のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]

項目	設定内容
[MATRIX (B-R)_P] USR	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]
[MATRIX (B-G)_N] USR	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]
[MATRIX (B-G)_P] USR	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] • 工場出荷値 : [0]
[COLOR CORRECTION]	<p>[PRESET MATRIX] USR</p> <p>プリセットマトリックスを設定します。 [HD] : 当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 [NORMAL] : 屋外環境を重視したマトリクス設定です。 [GAMMA] を [NORMAL] に設定して使用してください。 [STD1] : 当社製スタジオカメラ AK-UC4000 (NORM-NORMAL) に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 [STD2] : 当社製スタジオカメラ AK-UC4000 (NORM-OE.11) に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 [CINEMA1] : コントラストが強めのマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA1] に設定して使用してください。 [CINEMA2] : 落ち着いた調子のマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA2] に設定して使用してください。 [USER] : 当社製リモートカメラ AW-UE150 に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 • 工場出荷値 : [STD1]</p> <p>[MATRIX] USR</p> <p>マトリクス機能（リニアマトリックス、12軸色補正）の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]</p> <p>[LINEAR MATRIX] USR</p> <p>リニアマトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]</p> <p>[LINEAR TABLE] USR</p> <p>リニアマトリックスのテーブルを選択します。 [A]、[B] • 工場出荷値 : [A]</p> <p>[COLOR CORRECT] USR</p> <p>12軸色補正機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]</p> <p>[COLOR CORRECT TABLE] USR</p> <p>色補正テーブルを選択します。 [A]、[B] • 工場出荷値 : [A]</p> <p>[G SAT] USR</p> <p>緑の色饱和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[G PHASE] USR</p> <p>緑の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[G_CY SAT] USR</p> <p>緑とシアンの間の色饱和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[G_CY PHASE] USR</p> <p>緑とシアンの間の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[CY SAT] USR</p> <p>シアンの色饱和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[CY PHASE] USR</p> <p>シアンの色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[CY_B SAT] USR</p> <p>シアンと青の間の色饱和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[CY_B PHASE] USR</p> <p>シアンと青の間の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[B SAT] USR</p> <p>青の色饱和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[B PHASE] USR</p> <p>青の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]</p>

項目	設定内容
[B_MG SAT] USR	青とマゼンタの間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[B_MG PHASE] USR	青とマゼンタの間の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[MG_SAT] USR	マゼンタの色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[MG_PHASE] USR	マゼンタの色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[MG_R SAT] USR	マゼンタと赤の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[MG_R PHASE] USR	マゼンタと赤の間の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[R SAT] USR	赤の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[R PHASE] USR	赤の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[R_YE SAT] USR	赤と黄の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[R_YE PHASE] USR	赤と黄の間の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[YE SAT] USR	黄の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[YE_PHASE] USR	黄の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[YE_G SAT] USR	黄と緑の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[YE_G PHASE] USR	黄と緑の間の色相を調整します。 [-127] … [+126] • 工場出荷値 : [0]
[DNR] USR	ノイズリダクション機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [ON]
[DNR LEVEL] USR	ノイズリダクションのレベルを設定します。 [1] … [5] • 工場出荷値 : [3]
[ROP CONTROL]	[CONTROL ROTATION MODE] USR ROPのボリューム回転モードを設定します。 [MODE1], [MODE2] • 工場出荷値 : [MODE2]
[V-LOG PAINT]	[BASIC CONFIG] – [V-LOG] が [ON] かつ [V-LOG PAINT SW] が [OFF] のときに設定します。
[COLOR TEMP SETTING]	[COLOR TEMP PRESET] —
	[COLOR TEMP PRE SWITCH] USR 色温度の調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF], [ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[COLOR TEMP] USR [COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] の時の色温度を設定します。 [2000K] … [15000K] • 工場出荷値 : [3200K]
	[R GAIN] USR 色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAIN] USR 色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[G AXIS] USR 色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[COLOR TEMP] —

項目	設定内容
[COLOR TEMP] USR	色温度を設定します。 [2000K] … [15000K] • 工場出荷値 : [3200K]
	[R GAIN] USR 色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[B GAIN] USR 色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
	[G AXIS] USR 色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] • 工場出荷値 : [0]
[DNR] USR	[DNR] USR ノイズリダクション機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[DNR LEVEL] USR ノイズリダクションのレベルを設定します。 [1] … [5] • 工場出荷値 : [3]
[HDR PAINT]	[BASIC CONFIG] – [HDR] が [ON] のときに設定します。
[HLG MODE] USR	HLG のモードを設定します。 [FIX] : 固定モード [VAR] : 可変モード • 工場出荷値 : [FIX]
[SDR CONVERT MODE] USR	SDR に変換するモードを選択します。 [FIX] : 固定モード (ゲイン -10dB 固定) [VAR] : 可変モード • 工場出荷値 : [FIX]
[GAMMA/BLACK GAMMA]	[HLG MODE] が [FIX] のときは設定できません。
[BLACK GAMMA] USR	[BLACK GAMMA] USR ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[MASTER BLACK GAMMA] USR 黒付近のガンマ特性を調整します。 [-32] … [+32] • 工場出荷値 : [0]
	[R BLACK GAMMA] USR マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。 [-32] … [+32] • 工場出荷値 : [0]
	[B BLACK GAMMA] USR マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。 [-32] … [+32] • 工場出荷値 : [0]
[KNEE]	[HLG MODE] が [FIX] のときは設定できません。
[KNEE] USR	[KNEE] USR 二一の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[KNEE POINT] USR 二一ポイントの位置を設定します。 [60.00] … [100.00] (0.25 ステップ) • 工場出荷値 : [100.00]
	[KNEE SLOPE] USR 二一の傾きを設定します。 [0] … [199] • 工場出荷値 : [0]
[SDR CONVERT]	[SDR CONVERT MODE] が [FIX] のときは設定できません。
[GAIN] USR	[GAIN] USR SDR のゲインを設定します。 [-12dB]、[-11dB]、[-10dB]、[-9dB]、[-8dB]、[-7dB]、[-6dB]、[-5dB]、[0dB] • 工場出荷値 : [-6dB]
	[POINT] USR SDR 映像用に圧縮を開始する映像レベルを設定します。 [0] … [100] • 工場出荷値 : [100]
	[SLOPE] USR 映像信号を圧縮する傾きを設定します。 [0] … [127] • 工場出荷値 : [0]
	[BLACK OFFSET] USR SDR 映像の黒レベルのオフセットを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[PAINT SWITCH]	[FLARE] USR フレアの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
	[GAMMA] USR ガンマの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]

項目	設定内容
[BLACK GAMMA] USR	ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[KNEE] USR	ニーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
[WHITE CLIP] USR	ホワイトクリップの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
[DRS] USR	ダイナミックレンジストレッチャーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[DETAIL] USR	ディテールの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
[SKIN TONE DETAIL] USR	肌色ディテールの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[MATRIX] USR	マトリックス（リニアマトリックス / 12 軸色補正）の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[LINEAR MATRIX] USR	リニアマトリックスの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[COLOR CORRECT] USR	12 軸色補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]

[LENS]

項目	設定内容
[DIGITAL EXTENDER] U O	デジタルエクステンダーの倍率を設定します。 [OFF]、[x1.4]、[x2.0] • 工場出荷値 : [OFF]
[ND FILTER] S U	ND フィルターを選択します。 [THROUGH]、[1/4]、[1/16]、[1/64] • 工場出荷値 : [THROUGH]
[IRIS]	—
[LENS EXT COMP SW] U O	レンズエクステンダーが有効のとき ALC 補正を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[EXTENDER1] U O R	レンズエクステンダー 1 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [2.0]
[LENS EXT COMP LEVEL] U O	レンズエクステンダー 1 が有効のときアイリス補正量を設定します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[EXTENDER2] U O R	レンズエクステンダー 2 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [NONE]
[LENS EXT COMP LEVEL] U O	レンズエクステンダー 2 が有効のときアイリス補正量を設定します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[EXTENDER3] U O R	レンズエクステンダー 3 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [NONE]
[LENS EXT COMP LEVEL] U O	レンズエクステンダー 3 が有効のときアイリス補正量を設定します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[EXTENDER4] U O R	レンズエクステンダー 4 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [NONE]
[LENS EXT COMP LEVEL] U O	レンズエクステンダー 4 が有効のときアイリス補正量を設定します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[LENS OPERATION MODE]	—
[ZOOM CONTROL] U O	レンズの ZOOM 制御を切り替えます。 [LENS] : ズームデマンド制御 [REMOTE] : カメラ制御 • 工場出荷値 : [LENS]
[FOCUS CONTROL] U O	レンズの FOCUS 制御を切り替えます。 [LENS] : フォーカスデマンド制御 [REMOTE] : カメラ制御 [CAM] : フォーカスデマンドとカメラの両制御 • 工場出荷値 : [CAM]

[DISPLAY SETUP]

項目	設定内容
[FOCUS ASSIST]	[FOCUS ASSIST SW] UO フォーカスアシストの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[FOCUS ASSIST MODE] UO フォーカスアシストの解除をスイッチで行うか時間で行うかを設定します。 [SW]、[INSTANT] • 工場出荷値 : [SW]
	[CANCEL TIME] UO [INSTANT] を選択したときに解除までの時間を設定します。 [1sec]、[3sec]、[5sec]、[10sec]、[20sec] • 工場出荷値 : [5sec]
	[IN RED SW] UO インレッドの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[IN RED COLOR] UO インレッドのカラーを設定します。 [RED]、[GREEN]、[BLUE]、[WHITE] • 工場出荷値 : [RED]
	[SQUARE SW] UO スクエアの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[SQUARE COLOR] UO スクエアのカラーを設定します。 [RED]、[GREEN] • 工場出荷値 : [GREEN]
	[BAR SW] UO バーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[BAR MODE] UO フォーカスバーの形を切り替えます。 [NORMAL]、[THICK] • 工場出荷値 : [NORMAL]
	[BAR COLOR] UO BAR MODE = THICK 時の BAR の色を設定します。 [WHITE]、[RED]、[BLUE]、[GREEN] • 工場出荷値 : [WHITE]
	[BAR POSITION] UO BAR MODE = THICK 時の BAR の表示位置を設定します。 [UPPER]、[UNDER]、[RIGHT]、[LEFT] • 工場出荷値 : [UNDER]
	[MAG SW] UO 拡大表示機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[FOCUS GUIDE SW] UO フォーカスガイド機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[EXPOSURE ASSIST]
[EXPOSURE ASSIST]	[ZEBRA] UO 輝度ゼブラの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[ZEBRA1 LEVEL] UO 輝度ゼブラ1 のレベルを設定します。 [0%] … [109%] • 工場出荷値 : [80%]
	[ZEBRA2 LEVEL] UO 輝度ゼブラ2 のレベルを設定します。 [0%] … [109%] • 工場出荷値 : [100%]
	[ZEBRA PATTERN] UO 輝度ゼブラのパターンを設定します。 [1]、[1+2]、[SPOT] • 工場出荷値 : [1]
[MARKER]	[MARKER LEVEL] UO マーカーおよびオンスクリーン表示の明るさを設定します。 [50%] … [100%] • 工場出荷値 : [100%]
	[CENTER MARK] UO センターマーカーの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[CENTER MARK SELECT] UO センターマーカーの大きさを設定します。 [1] … [8] • 工場出荷値 : [1]
	[LINE WIDTH] UO センターマーカーの枠の太さを設定します。 [1] … [3] • 工場出荷値 : [2]
	[SAFETY MARK1 SWITCH] UO セーフティーマーカー1 の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
	[SAFETY MARK1] UO セーフティーマーカー1 の画角を設定します。 [16:9]、[15:9]、[14:9]、[13:9]、[4:3] • 工場出荷値 : [16:9]

項目	設定内容
[SAFETY AREA1] 	セーフティーエリア 1 の大きさを設定します。 [80%] … [100%] • 工場出荷値 : [80%]
[SAFETY MARK2 SWITCH] 	セーフティーマーカー 2 の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[SAFETY MARK2] 	セーフティーマーカー 2 の画角を設定します。 [16:9]、[15:9]、[14:9]、[13:9]、[4:3] • 工場出荷値 : [16:9]
[SAFETY AREA2] 	セーフティーマーカー 2 の大きさを設定します。 [80%] … [100%] • 工場出荷値 : [80%]
[FRAME LEVEL SWITCH] 	フレームマーカーの外側に表示するレベルの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[FRAME LEVEL] 	フレームマーカーの外側に表示するレベルを設定します。 [0] … [31] • 工場出荷値 : [31]
[FRAME MARK SWITCH] 	フレームマーカーの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[FRAME SIG] 	フレームマーカーの画角を設定します。 [4:3]、[13:9]、[14:9]、[15:9]、[16:9]、[CINEMA]、[VISTA] • 工場出荷値 : [4:3]
[EFFECTIVE AREA MARK] 	有効エリアマーカーの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[PF LENS AREA MARK] 	PF レンズのオートフォーカスエリアマーカーの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[AUTO] • 工場出荷値 : [OFF]
[USER BOX] 	ユーザーボックスの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[MEMORY SELECT] 	ユーザーボックスのメモリーを設定します。 [1]、[2]、[3] • 工場出荷値 : [1]
[H POSITION] 	ユーザーボックスの水平位置を調整します。 [-50] … [50] • 工場出荷値 : [0]
[H OFFSET] 	ユーザーボックスの水平位置オフセットを微調整します。 [-10] … [10] • 工場出荷値 : [0]
[V POSITION] 	ユーザーボックスの垂直位置を調整します。 [-50] … [50] • 工場出荷値 : [0]
[V OFFSET] 	ユーザーボックスの垂直位置オフセットを微調整します。 [-10] … [10] • 工場出荷値 : [0]
[WIDTH] 	ユーザーボックスの幅を調整します。 [0] … [100] • 工場出荷値 : [50]
[HEIGHT] 	ユーザーボックスの高さを調整します。 [0] … [100] • 工場出荷値 : [50]
[BOX/CROSS] 	ユーザーボックスの形を設定します。 [BOX]、[CROSS] • 工場出荷値 : [BOX]
[EFFECT MEMORY1] 	ユーザーボックスの有効メモリーを設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[EFFECT MEMORY2] 	ユーザーボックスの有効メモリーを設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[EFFECT MEMORY3] 	ユーザーボックスの有効メモリーを設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[MONITOR DARK GAIN]	<p>[DARK GAIN SW]</p> <p>ダークゲインの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]</p>
	<p>[DARK GAIN LEVEL]</p> <p>暗部を持ち上げるレベルを設定します。 [1] … [3] • 工場出荷値 : [2]</p>

項目	設定内容
[STATUS INDICATOR]	[ON] に設定した項目に対して、本機が変則動作状態になると、ビューファインダー内の LED (▲) が点灯します。
[F NUMBER] [UO]	アイリス表示 (F 値) の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
[ZOOM] [UO]	ズーム位置表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
[FOCUS] [UO]	フォーカス位置表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
[FOCUS CONDITION] [UO]	ピント情報表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[EXTENDER] [UO]	エクステンダー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[FILTER] [UO]	フィルターポジション表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[MASTER GAIN] [UO]	マスターGAIN表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[OFFSET GAIN] [UO]	オフセットゲイン表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[SHUTTER] [UO]	電子シャッター表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[DIGITAL EXTENDER] [UO]	デジタルエクステンダー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[DRS] [UO]	ダイナミックレンジストレッチャー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[CAC] [UO]	色収差補正表示 (CAC) の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[OPT LEVEL] [UO]	本機が受信する光信号レベルの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[STATUS] [UO]	機能選択時に現れる表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[STATUS(AUTO)] [UO]	AWB/ABB 開始時または終了時に現れる表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[VOLTAGE] [UO]	電源供給表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[FORMAT] [UO]	システム周波数 / 解像度表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[SENSOR RATE] [UO]	センサー撮像レート表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[FAN OFF] [UO]	ファン切時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[COLOR TEMP] [UO]	色温度表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[SHOOTING MODE] [UO]	感度モード表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[MAG] [UO]	フォーカスアシスト拡大表示機能有効時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]

項目	設定内容
[MENU DISP WARNING] [UO]	メニューのワーニング表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
[F DROP ADJUST] [UO]	F ドロップ表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[HDR] [UO]	HDR 表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[V-LOG] [UO]	V-LOG 表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[TALLY CHAR] [UO]	TALLY に文字表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[FOCUS DISP] [UO]	フォーカス値の単位表示を切り替えます。 [FEET]、[METER]、[NUMBER] • 工場出荷値 : [NUMBER]

[TRACKING DATA OUTPUT]

バーチャルスタジオのシステムなどで利用するトラッキングデータの出力に関する設定を行います。

項目	設定内容
[IP] [UR]	IP 出力から、Zoom 情報などのトラッキングデータを、GENLOCK 信号に同期して UDP で出力する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[CAMERA ID] [UR]	トラッキングデータの CAMERA ID を設定します。 [0x00] … [0xFF] • 工場出荷値 : [0xFF] WEB 画面では [0] ~ [255] で設定できます。

[FILES]

項目	設定内容
[SCENE FILE]	[MODE] 動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE] • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE NO.] ファイル番号を選択します。 [MODE] が [LOAD] のとき：[OFF]、[1] … [8] [MODE] が [STORE] のとき：[1] … [8] • 工場出荷値：[OFF]
	[FILE NAME] USR ファイル名を入力します。(15 文字以内) • 工場出荷値：[SCENE1]
	[LIST] 設定されている SCENE ファイルのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。
	[EXECUTE] 設定した内容で動作させるかどうか選択します。 [NO]、[YES]
[USER FILE]	[MODE] 動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE] • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE NO.] ファイルを選択します。 [1]、[2]、[3] • 工場出荷値：[1]
	[FILE NAME] UR ファイル名を入力します。(15 文字以内) • 工場出荷値：[USER1]
	[LIST] 設定されている SCENE ファイルのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。
	[EXECUTE] 設定した内容で動作させるかどうか選択します。 [NO]、[YES]
[REFERENCE FILE]	
[MODE]	動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE] • 工場出荷値：[LOAD]
[FILE NO.]	ファイルを選択します。 [1]、[2]、[3] • 工場出荷値：[1]
[FILE NAME] UR	ファイル名を入力します。(15 文字以内) • 工場出荷値：[REFERENCE1]
[LIST]	設定されている REFERENCE ファイルのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。
[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうか選択します。 [NO]、[YES]
[ACCOUNT SETTING]	
[ROP]	—
[LIST]	〈SELECT〉 ダイヤルボタンを押して、機器内部に記憶しているアカウント一覧を表示します。

 **NOTE**

- [FILE NAME] に本機で使用できない文字が使われている場合は “_” に置き換えて表示します。

[MAINTENANCE]

項目	設定内容
[CAC ADJUST] UR	色収差補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [ON]
[LENS FILE ADJUST]	
[LENS FILE SW]	レンズファイルの有効 / 無効を切り替えます。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値 : [OFF]
[LENS FILE MODE]	動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE]、[CANCEL] • 工場出荷値 : [LOAD]
[FILE NO.]	ファイルを選択します。 [LENS FILE MODE] が [LOAD] のとき : [1] … [32] [LENS FILE MODE] が [STORE] のとき : [1] … [32] • 工場出荷値 : [1]
[FILE NAME]	ファイル名を入力します。(15文字以内) • 工場出荷値 : [LENS FILE 1]
[EXECUTE]	動作させるかどうか選択します。 [NO]、[YES]
[FLARE R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch フレアを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[FLARE G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch フレアを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[FLARE B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch フレアを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[GAIN R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[GAIN B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W H SAW R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W H SAW G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W H SAW B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W H PARA R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W H PARA G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W H PARA B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W V SAW R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[W V SAW G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]

項目	設定内容	
[W V SAW B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]	
[W V PARA R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]	
[W V PARA G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]	
[W V PARA B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]	
[EXTENDER1] UOR	レンズエクステンダー 1 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [2.0]	
[EXTENDER2] UOR	レンズエクステンダー 2 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [NONE]	
[EXTENDER3] UOR	レンズエクステンダー 3 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [NONE]	
[EXTENDER4] UOR	レンズエクステンダー 4 の倍率を設定します。 [NONE]、[0.1] … [9.9] • 工場出荷値 : [NONE]	
[F DROP ADJUST]	[F DROP RANGE] UR	レンズの F ドロップの判定基準値を設定します。 [1] … [40] • 工場出荷値 : [10]
[FAN SETTING]	[FAN] UR	空冷ファンの動作モードを設定します。 [NORMAL]、[POWERFUL] • 工場出荷値 : [NORMAL]
[DATE/TIME]	[PRESENT]	現在日時を表示します。
	[DATE YY]	年を設定します。 [00] … [99] • 工場出荷値 : [24]
	[DATE MM]	月を設定します。 [01] … [12] • 工場出荷値 : [01]
	[DATE DD]	日を設定します。 [01] … [31] • 工場出荷値 : [01]
	[TIME HH]	時間を設定します。 [00] … [23] • 工場出荷値 : [00]
	[TIME MM]	分を設定します。 [00] … [59] • 工場出荷値 : [00]
	[TIME SS]	秒を設定します。 [00] … [59] • 工場出荷値 : [00]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存するかどうかを選択します。 [NO]、[YES]
	[RESET]	設定をもとに戻すかどうかを選択します。 [NO]、[YES]

 NOTE

- 出荷時は時計は設定されていません。本項目で時計を設定の上、ご利用ください。

[INITIALIZE]	[MENU INITIALIZE]	[ALL MENU] の値を工場出荷値に戻します。 [NO]、[YES]
	[ALL DATA INITIALIZE]	[ALL MENU] およびシーンファイル、ユーザーファイルの値を工場出荷値に戻します。 [NO]、[YES]
	[READ FACTORY ALL DATA]	[ALL MENU] およびシーンファイル、ユーザーファイル、工場調整値を工場出荷値に戻します。 [NO]、[YES]
[VERSION]	[SYSTEM VERSION]	本機のシステム全体のバージョンを表示します。
[HOUR METER]	[OPERATION]	本機の累計の稼働時間を表示します。
	[FAN]	冷却ファンの累計の稼働時間を表示します。

項目	設定内容
[ERROR STATUS]	[FAN] 冷却ファンのエラー状態を表示します。
	[TEMPERATURE] 温度関連のエラー状態を表示します。 [HIGH TEMPERATURE] : 高温状態を表示します。 [SENSOR ERROR] : 温度センサーの異常を表示します。
[WHITE SHADING]	<p>[CORRECT] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効 / 無効を設定します。 <input type="checkbox"/> OFF, <input type="checkbox"/> ON • 工場出荷値 : [ON]</p> <p>[W H SAW R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W H SAW G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W H SAW B] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W H PARA R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W H PARA G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W H PARA B] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Bch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W V SAW R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W V SAW G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W V SAW B] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W V PARA R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W V PARA G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p> <p>[W V PARA B] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Bch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]</p>
[BLACK SHADING]	[CORRECT] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] ブラックシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効 / 無効を設定します。 <input type="checkbox"/> OFF, <input type="checkbox"/> ON • 工場出荷値 : [ON]
	[B H SAW R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B H SAW G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B H SAW B] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B H PARA R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B H PARA G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B H PARA B] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Bch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B V SAW R] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
	[B V SAW G] <input checked="" type="checkbox"/> R [UR] Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]

項目	設定内容
[B V SAW B] UR	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[B V PARA R] UR	Rch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[B V PARA G] UR	Gch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[B V PARA B] UR	Bch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] • 工場出荷値 : [0]
[LENS I/F] UR	レンズインターフェースを設定します。 [ANALOG]、[SERIAL] • 工場出荷値 : [SERIAL]

第5章 外部機器との接続

本機と接続できる外部機器について説明します。

リモートカメラコントローラー (AW-RP60/AW-RP150G) の接続

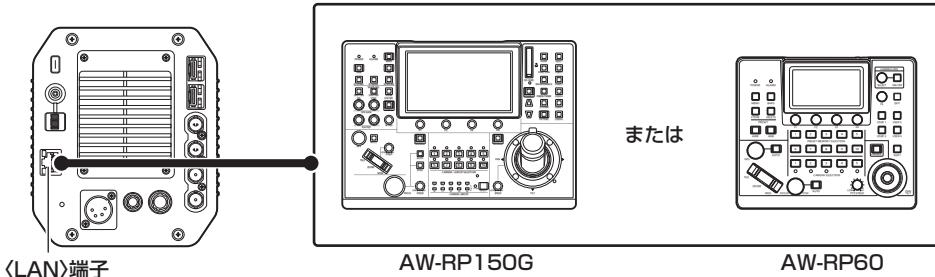
- リモートカメラコントローラー AW-RP60/AW-RP150G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。
- リモートカメラコントローラー AW-RP60/AW-RP150G のダイレクト接続制御により、回転台を介さずに本機を制御できます。

NOTE

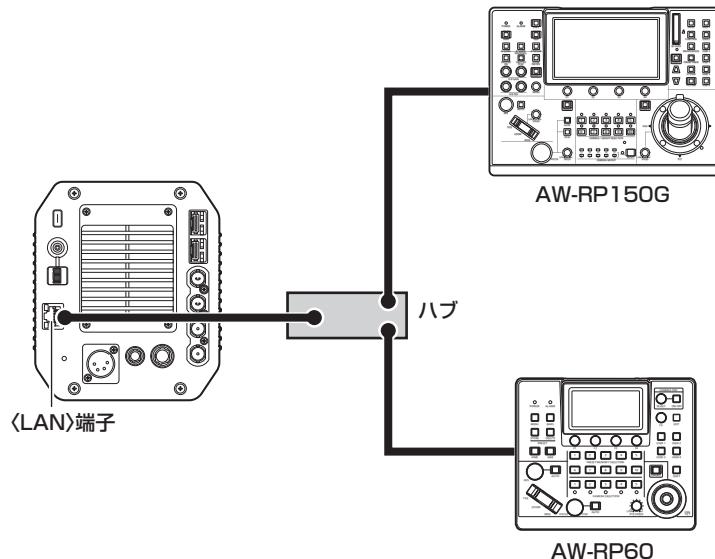
- リモートカメラコントローラーのバージョンをアップデートしてください。
- 詳しくはリモートカメラコントローラーの取扱説明書および付属のチラシを参照してください。

〈LAN〉端子とのIP接続

(例1) ハブを経由せずに接続するとき



(例2) ハブを経由して接続するとき



1 本機の〈LAN〉端子とリモートカメラコントローラー AW-RP60/AW-RP150G の〈LAN〉端子を接続する。

- ハブを経由せずに接続するときは、LAN クロスケーブルを使用してください。
- ハブを経由して接続するときは、LAN ストレートケーブルを使用してください。

2 リモートカメラコントローラーで、メニューの [CONNECT SETTING] を [LAN] に設定する。

■ 制御できる機能

シリアル接続のときと、同等の機能が利用できます。

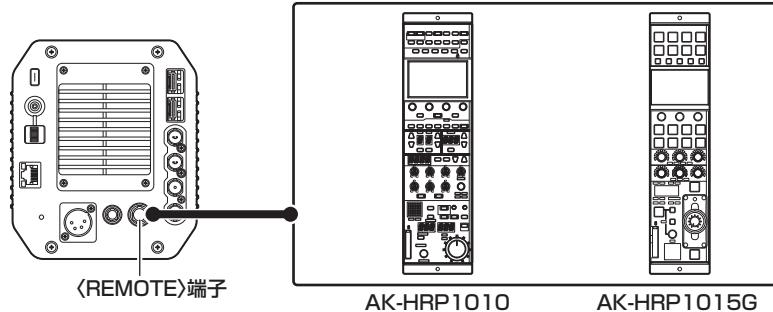
リモートオペレーションパネル（AK-HRP1010/AK-HRP1015G）の接続

- リモートオペレーションパネル（ROP）AK-HRP1010/AK-HRP1015G（別売品）を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。

NOTE

- ROP のバージョンをアップデートしてください。
- 詳しくは ROP の取扱説明書および付属のチラシを参照してください。

〈REMOTE〉端子とのシリアル接続



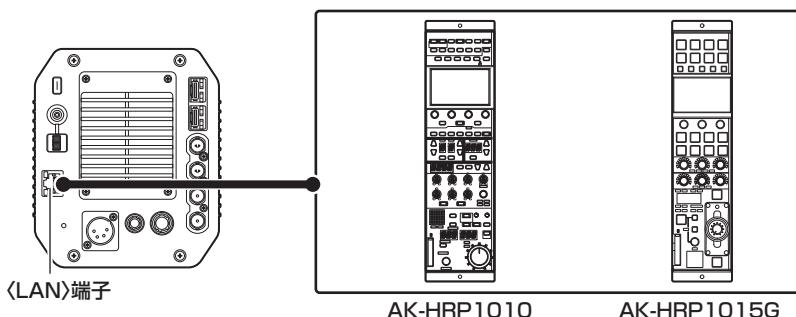
1 本機の〈REMOTE〉端子とリモートオペレーションパネル AK-HRP1010/AK-HRP1015G の〈CCU〉端子を ROP ケーブル（別売品）で接続する。

2 リモートオペレーションパネル AK-HRP1010/AK-HRP1015G で、メニューの [CONNECT SETTING] を [Ser(UBX)] に設定する。

動作する機能は、次の Web サイトの取扱いガイドを参照してください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

〈LAN〉端子とのIP接続



1 本機の〈LAN〉端子とリモートオペレーションパネル AK-HRP1010/AK-HRP1015G の〈LAN〉端子を接続する。

- ハブを経由せずに接続するときは、LAN クロスケーブルを使用してください。
- ハブを経由して接続するときは、LAN ストレートケーブルを使用してください。

2 リモートオペレーションパネル AK-HRP1010/AK-HRP1015G で、メニューの [CONNECT SETTING] を [LAN(UBX)] に設定する。

■ 制御できる機能

シリアル接続のときと、同等の機能が利用できます。

NOTE

- リモートオペレーションパネル AK-HRP1010/AK-HRP1015G の電源は〈LAN〉端子から供給してください。
- 〈LAN〉端子から PoE 給電する場合は、イーサネットハブおよび PoE インジェクターをご使用ください。
- 動作確認済みイーサネットハブおよび PoE インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

第6章 Web 画面

パーソナルコンピューターからの設定方法について説明します。

ユーザーアカウントの設定

本機と ROP を接続するためには、ROP に登録されているアカウントを本機に登録する必要があります。
下記手順に従って登録してください

ソフトウェアについて

ユーザーアカウント設定ソフトウェア (Account Gen) を次の Web サイトよりダウンロードし、インストールしてください。(Windows)
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

■ ユーザーアカウント設定ソフトウェア (Account Gen)

本機のユーザーアカウントを設定するソフトウェアです。

ユーザーアカウント設定ソフトウェアを使用して本機にユーザーアカウントを設定する

本機のユーザーアカウント設定は、ユーザーアカウント設定ソフトウェアを使って行うことができます。

NOTE

- ・ユーザーアカウント設定ソフトウェアは USB メモリのユーザーアカウント情報を保存するため、事前に USB メモリを挿入しておく必要があります。
- ・ユーザーアカウントのパスワードは、8 文字以上かつ大文字、小文字、数字、特殊記号の中から 3 種類以上を含むパスワードを推奨します。
- ・ユーザーアカウントは本機の Web 画面からも設定可能です。(113 ページ)

ユーザーアカウント設定ソフトウェアでの設定手順

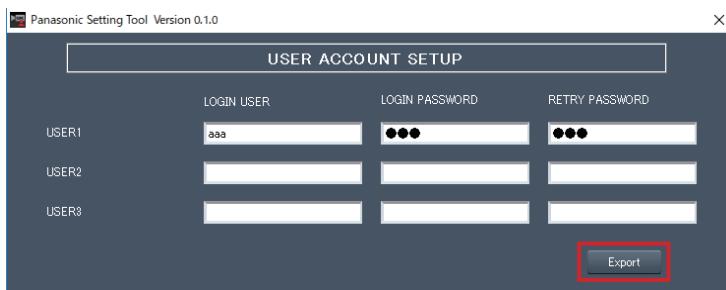


図 1

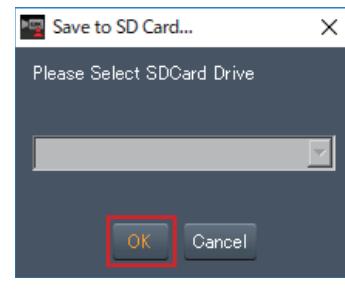


図 2

1 ユーザーアカウント設定ソフトウェアを起動する。

2 LOGIN USER にアカウント名、LOGIN PASSWORD と RETRY PASSWORD にパスワードを入力する。
最大 3 名までのユーザーアカウントを登録することができます。(図 1)

3 [Export] ボタンをクリックする。(図 1)

4 保存する USB メモリを選択し [OK] をクリックする。(図 2)

本機での設定手順

1 ユーザーアカウント情報を保存した USB メモリを本機に挿入する。

2 [ALL MENU] → [FILES] で [ACCOUNT SETTING] を選択する。

3 [LOAD] を選択する。

4 [EXECUTE] を選択する。

5 [YES] を選択する。

ネットワークの設定

ソフトウェアについて

[EasyIP Setup Tool Plus] を次の Web サイトよりダウンロードし、インストールしてください。(Windows)
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

■ EasyIP Setup Tool Plus

本機のネットワーク設定をするソフトウェアです。(69 ページ)

EasyIP Setup Tool Plus を使用して本機の設定をする

本機のネットワークに関する設定は、EasyIP Setup Tool Plus を使って行うことができます。

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに設定する必要があります。

EasyIP Setup Tool Plus を使って設定できない場合は、[ALL MENU] → [NETWORK] で個別に本機とパーソナルコンピューターの設定をします。

NOTE

- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器と IP アドレスが重複すると、正しく動作しません。IP アドレスが重複しないよう設定してください。
- 1 台のカメラに対して複数の EasyIP Setup Tool Plus から同時にネットワーク設定しないでください。
- EasyIP Setup Tool Plus は、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- EasyIP Setup Tool Plus を使用した本機の設定変更は、Web 画面のアカウントによる認証を行うため、Web 画面の初期アカウントが未設定の場合は使用できません。(71 ページ)

設定手順

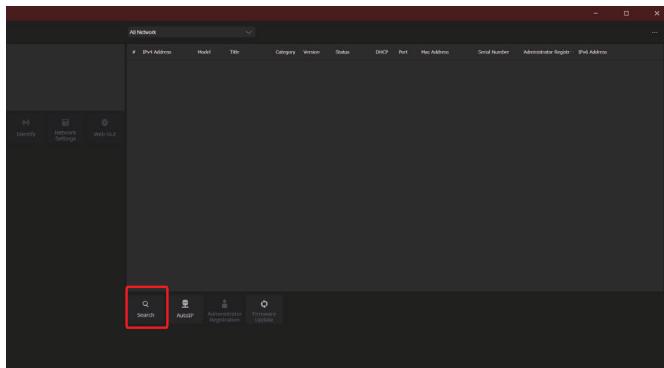


図 1

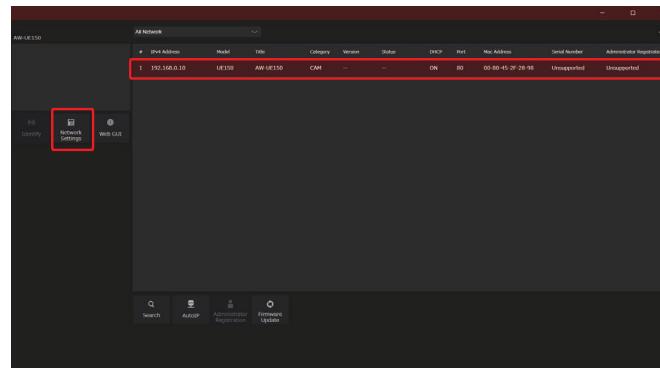


図 2

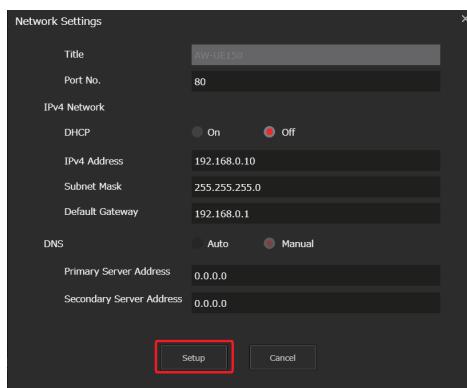


図 3



図 4

1 EasyIP Setup Tool Plus を起動する。

2 [Search] ボタンをクリックする。(図 1)

- 画面上部のプルダウンにて、検索に使用する Network を設定することができます。

3 設定するカメラを選択し、[Network Settings] ボタンをクリックする。(図 2)

- [Web GUI] ボタンをクリックすると、選択したカメラの Web 画面が表示されます。

4 ネットワークの各項目を入力し、[Setup] ボタンをクリックする。(図 3)

- Port No. の設定には対応していないので設定しないでください。

5 Web画面で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする（図4）

- ユーザー名とパスワードは、初期アカウントの設定またはWeb画面のユーザー管理画面 [Access mng.] で設定したものに入力してください。（71ページ、111ページ）
- [OK]ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前に本機の電源を切ったり、LANケーブルを抜いたりすると、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。

 **NOTE**

- ファイアウォール（ソフトを含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピューターをつないで、Web ブラウザーからカメラの IP 映像を見たり、各種の設定をしたりすることができます。本機の IP 制御用 LAN 端子とパーソナルコンピューターを直接接続する場合は LAN クロスケーブルを使用します。スイッチングハブなどを介して接続する場合は LAN ストレートケーブルを使用します。

Web 画面に関するお知らせ

IP アドレスとサブネットマスクについて

パーソナルコンピューターの IP アドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

本機の IP アドレスとサブネットマスク（工場出荷値）

<LAN>

- IP アドレス : 192.168.0.40
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲 : 192.168.0.0 ~ 192.168.0.255

<SFP 1>

- IP アドレス : 192.168.1.40
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲 : 192.168.1.0 ~ 192.168.1.255

<SFP 2>

- IP アドレス : 192.168.2.40
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲 : 192.168.2.0 ~ 192.168.2.255

Web 画面の表示に必要なパーソナルコンピューターの環境

Web 画面の表示に必要なパーソナルコンピューターの環境については、「必要なパーソナルコンピューターの環境」(9 ページ) をご参照ください。

Web 設定画面における一部の機能は、Windows 搭載パーソナルコンピューターからのみ利用できます。macOS 搭載のパーソナルコンピューター (Mac) からは利用できません。

Windows のみ利用できる機能には、(Windows) を付けて記載しています。

パーソナルコンピューターによる Web 画面の表示

本書では、Windows (Microsoft Edge) の画面をもとに説明しています。Mac (Safari) の場合も同様の手順となります。画面上の表示は、一部異なります。

1 パーソナルコンピューターの Web ブラウザーを起動する。

パーソナルコンピューターに搭載されている OS に応じて、それぞれ次の Web ブラウザーを使用してください。

- Windows : Microsoft Edge (最新版)
Google Chrome
- macOS : Safari

2 EasyIP Setup Tool Plus で設定した IP アドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力する。

IPv4 アドレスの入力例 :

http://[IPv4 アドレスで登録した URL]
http://192.168.0.40/



IPv6 アドレスの入力例 :

http://[IPv6 アドレスで登録した URL]
http://[2001:db8::40]/



- HTTP ポート番号が「80」から変更されている場合は、「http:// カメラの IP アドレス : ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。

例 : 192.168.0.40:8080 (ポート番号が 8080 に設定されている場合)

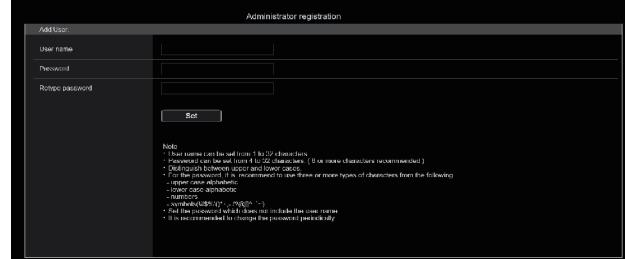
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー (メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]) からプロキシサーバーの設定をしてください。

- ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] の [HTTPS] - [Connection] (119 ページ) で [HTTPS] を設定している場合については、「HTTPS でカメラにアクセスする」(126 ページ) を参照してください。

3 初期アカウントを設定する。

初期状態で Web 画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを設定してください。



NOTE

- 第三者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードは下記 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて 8 文字以上で設定してください。

アルファベット大文字

アルファベット小文字

数字

特殊記号 (! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ^)

- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のもと運用してください。
- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は [Back] ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。
- セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は [Continue] をクリックして設定を完了してください。

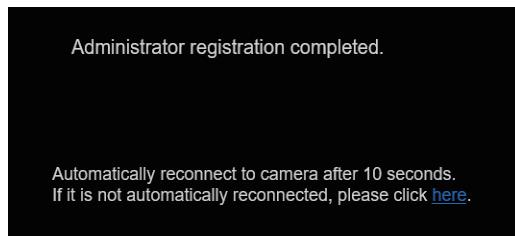


4 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。

完了画面表示後 10 秒程度経過すると自動でライブ画面 [Live] が表示されます。10 秒以上経過してもライブ画面 [Live] に移行しない場合は、“please click here” のリンクからライブ画面 [Live] に手動で移動してください。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。



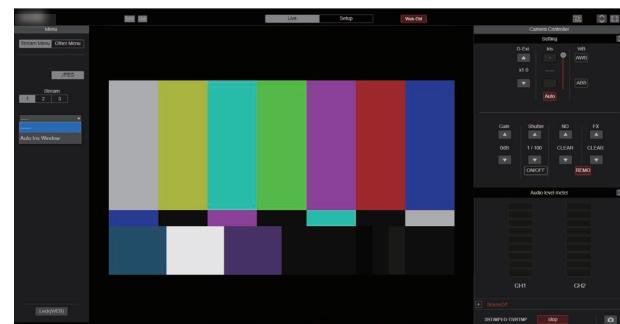
NOTE

- ROP とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。初期アカウントが未設定の場合、ROP から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

5 ライブ画面 [Live] を表示する。

Web 画面が表示されます。

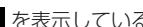
初期画面は、ライブ画面 [Live] が表示されます。必要に応じて Web 設定画面 [Setup] に切り替えてください。(73 ページ)



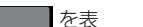
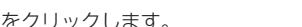
NOTE

- ご使用のパーソナルコンピューターのファイアウォールの設定によって、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ファイアウォールの設定を変更し、ご使用の Web ブラウザーの通信を許可する設定を行ってください。
- 1 台のパーソナルコンピューターで複数の IP 映像を表示しようとすると、パーソナルコンピューターの性能によっては、IP 映像が表示されないことがあります。(Windows)
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP 映像を受信しているユーザーと合わせて最大 14 人までです。
ただし、本機が使用するネットワーク通信帯域に応じて、アクセスできるユーザー数が 14 人未満に制限されることがあります。
アクセスできる最大ユーザー数 14 人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。
- JPEG 画像の画像更新速度はネットワークの環境、パーソナルコンピューターの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- IP 映像配信（M-JPEG のストリーミング）を行っていると、OSD メニューの描画タイミングが遅れる場合があります。
[IP SIGNAL] – [STREAMING COMMON] – [CHAR] の設定を [OFF] にすることで、スムーズな OSD メニュー描画が可能となります。

ライブ画面 [Live]/Web 設定画面 [Setup] の切り替え

ライブ画面 [Live]   を表示しているときに、ライブ画面 [Live] 上部の [Setup] ボタン  をクリックします。

Web 設定画面 [Setup] についての詳細は、「Web 設定画面 [Setup]」(78 ページ) を参照してください。

Web 設定画面 [Setup]   を表示しているときに、Web 設定画面 [Setup] 上部の [Live] ボタン  をクリックします。

ライブ画面 [Live] についての詳細は、「ライブ画面 [Live]」(74 ページ) を参照してください。

Web 画面へのログイン

ユーザー認証有効時

ライブ画面 [Live] を表示するとき

Camera control または Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

Web 設定画面 [Setup] を表示するとき

Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

ユーザー認証無効時

ライブ画面 [Live] を表示するとき

アカウント情報の入力は必要ありません。

Web 設定画面 [Setup] を表示するとき

Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

NOTE

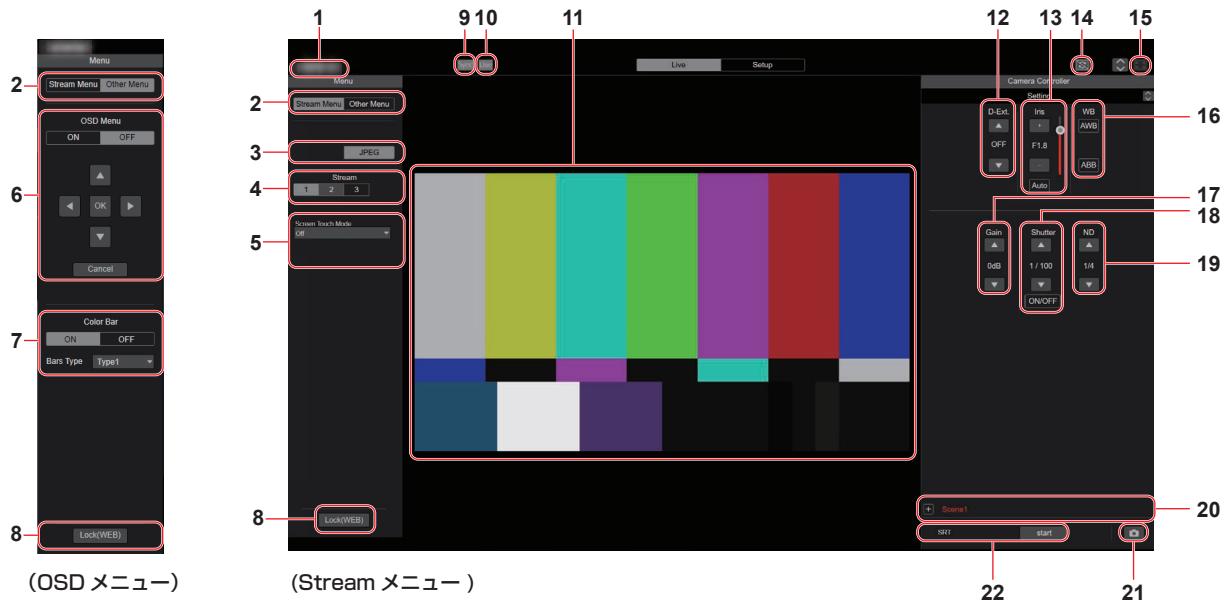
- アカウント入力画面は Web ブラウザーからポップアップウィンドウで表示されます。
- あらかじめ登録したユーザー名とパスワードを正しく入力してください。
- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

Web画面からの操作

ライブ画面 [Live]

パソコン用コンピューターから、カメラ画像の表示や、カメラに対してアイリス、シャッターなどの制御を行います。

操作画面表示ボタン
操作ボタンを拡大した画面を表示します。
 拡張パネル表示ボタン
(77ページ)



1. カメラタイトル表示部

システム画面 [System] の [Live page] 内の [Camera title] (84 ページ) で設定した本機の名称が表示されます。

2. メニュー切り替え [Stream Menu]/[Other Menu]

メニュー表示を切り替えます。
Stream メニューを表示しているときに [Other Menu] をクリックすると、Other メニューが表示されます。
Other メニューを表示しているときに [Stream Menu] をクリックすると、Stream メニューが表示されます。

3. Compression ボタン [Compression]

JPEG [JPEG]	JPEG 画像が表示されます。
----------------	-----------------

4. Stream ボタン [Stream]

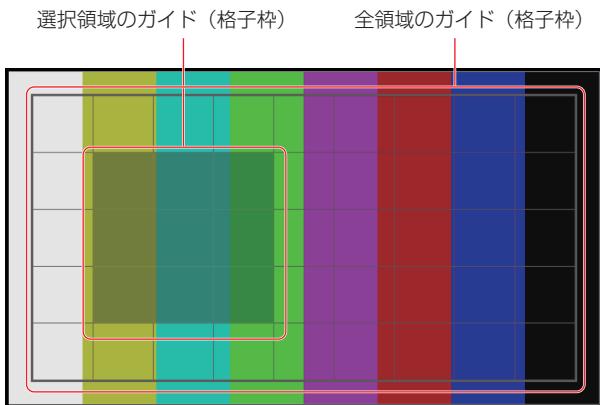
[1]	ボタンが灰色に変わり、emainエリアの画像が、[JPEG(1)] で設定した内容 (88 ページ) に従って表示されます。
[2]	ボタンが灰色に変わり、emainエリアの画像が、[JPEG(2)] で設定した内容 (88 ページ) に従って表示されます。
[3]	ボタンが灰色に変わり、emainエリアの画像が、[JPEG(3)] で設定した内容 (88 ページ) に従って表示されます。

NOTE

- [Video over IP] – [JPEG] の [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] (88 ページ) で選択している解像度で表示されます。
- 解像度が [1920 × 1080] または [1280 × 720] の場合、Web ブラウザの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。
- 次のような場合、[Image Capture Size] ボタンの選択状態は、[Video over IP] – [Initial display setting] の [Stream] (87 ページ) での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合

5. Auto Iris Window

[PAINT] – [IRIS] – [WINDOW SELECT] が [5] のときに有効です。

**6. OSDメニュー操作 [OSD Menu]**

	カメラの OSD メニューの表示・非表示を切り替えます。
	設定変更中の選択をキャンセルします。変更前の設定に戻ります。
	<p>メニュー操作を行います。 [▲][▼][◀][▶] ボタンで項目の選択を行います。 選択した項目にサブメニューがあるときは、[OK] ボタンを押すとサブメニューが表示されます。 最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて [OK] ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。 通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[OK] ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されるメニューもあります。</p>

NOTE

- IP 映像配信時 (H.264/H.265/M-JPEG) に、OSD メニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL] – [STREAMING COMMON] – [CHAR] の設定を [OFF] にすることで、スムーズな OSD メニュー操作が可能となります。

7. カラーバーボタン [Color Bar]

	カラーバー信号の表示・非表示を切り替えます。
	表示するカラーバーの TYPE1:SMPTE、TYPE2:FULL、TYPE3:ARIB(FHD)、TYPE4:ARIB(UHD)、TYPE5:ARIB(2020/HLG) を切り替えます。 [Color Bar] が [ON] のときに有効です。

8. 操作ロックボタン [Lock]

	ライブ画面 [Live] のアイリス・ゲイン・シャッターなどの操作をロックし、誤動作を防止することができます。ロック中はボタンが赤色に変わり、再度ボタンをクリックすることでロックを解除できます。
	ROP のカメラロック機能により、本機がロック状態となった場合に表示され、クリックすることでカメラロック状態を解除することができます。

NOTE

- [Lock (WEB)] 機能によるロック状態は実行した Web ブラウザで状態を保持しているため、Web ブラウザを再表示するとロック状態は解除されます。
- [Lock (CAM)] 機能によるロック状態はカメラ本体に保持しているため、ROP でカメラロック機能を解除するか、ロック中に Web ブラウザから [Lock (CAM)] を解除する必要があります。
- Web ブラウザから [Lock (CAM)] 機能を有効にすることはできません。

9. SYNCステータス表示 [Sync]

	本機は、REF SIGNAL で外部の同期源に対し同期しています。
	本機は、外部の同期源に対し非同期状態です。

NOTE

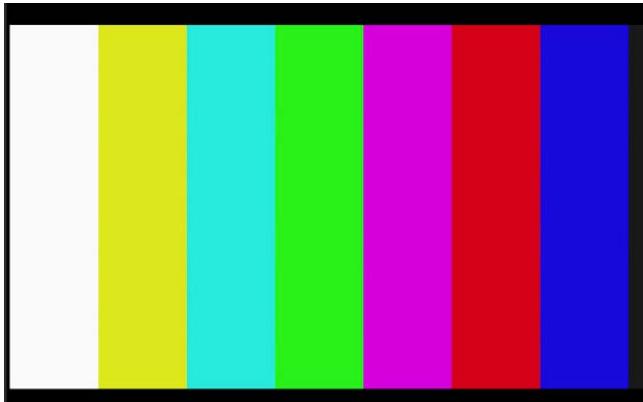
- 本機の時刻設定によっては、外部の同期源を入力してから、本機が同期するまで数分かかることがあります。

10. ストリーミング配信ステータス表示 [Live]

	本機は、外部機器（ソフト）に対して、IP でのストリーミング配信中です。
	本機は、外部機器（ソフト）に対して、IP でのストリーミング配信をしていません。

NOTE

- M-JPEG、ST2110 の配信状態は含まれません。

11. メインエリア (IP 映像表示エリア)

接続中のカメラの IP 映像が表示されます。

カメラのタリーランプが点灯中の場合、映像の上部に赤と緑のラインが表示されます。赤タリー信号受信時には赤のライン、緑タリー信号受信時には緑のライン、黄タリー信号受信時には黄のラインが表示されます。

タリーランプが消灯すると、元に戻ります。

 NOTE

- お使いのパーソナルコンピューターによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載 OS の描画処理 (GDI) の制約により、ティアリング（画面の一部がすべて表示される現象）が発生することがあります。
- JPEG 画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピューターの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP 映像を受信しているユーザーを合計した 14 人までです。
ただし、IP 映像の通信帯域が上限に達した場合は、アクセスできるユーザー数が 14 人以下に制限される場合があります。
- [Tracking Data Output] の [IP(UDP)] が [On] のとき、IP 配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。（109 ページ）
IP 配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[Tracking Data Output] の [IP(UDP)] を [Off] にすることを推奨します。
- IP 映像配信時 (M-JPEG) に、OSD メニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL] – [STREAMING COMMON] – [CHAR] の設定を [OFF] にすることで、スムーズな OSD メニュー操作が可能となります。

12. デジタルエクステンダー [D-Ext]

x1.0 [× 1.0]	ズーム（倍率）を 1.0 倍にします。
D-Ext.(x1.4) [D-Ext.(× 1.4)]	デジタルエクステンダー x1.4 の有効 / 無効を切り替えます。
D-Ext.(x2.0) [D-Ext.(× 2.0)]	デジタルエクステンダー x2.0 の有効 / 無効を切り替えます。

13. 明るさ [Iris]

	<p>[+] : アイリスを開く方向に段階的に動作します。 オート時は無効です。</p> <p>[-] : アイリスを閉じる方向に段階的に動作します。 オート時は無効です。</p> <p>中央に F 値が表示されます。</p>
Auto [Auto]	アイリス調整のオート / マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、画像の明るさ調整を自動で行います。

14. リアルタイム更新切替ボタン

	<p>Web ブラウザーを動作させるパーソナルコンピューターの動作性能によっては、映像がコマ落ちして見える場合があります。このボタンを押してリアルタイム更新機能を無効化することで、問題が改善する場合があります。</p> <p>リアルタイム更新対象データは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Iris - WB - Gain - Shutter - ND
--	---

 NOTE

- ボタンが有効のときはセンタークリック機能が無効化されます。
- ボタンが有効のときは Audio Level Meter 機能が無効化されます。

15. 全画面表示ボタン

	<p>画像が全画面で表示されます。</p> <p>ライブ画面 [Live] に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピューターのキーボードの [Esc] キーを押します。</p> <p>表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。</p>
--	--

16. ホワイトバランス [WB]

AWB [AWB]	自動ホワイトバランス (AWB) を行い、ホワイトバランスがセットされます。
ABB [ABB]	自動ブラックバランス (ABB) を行い、ブラックバランスがセットされます。

17. ゲイン [Gain]

	映像のゲインを上げます。
	映像のゲインを下げます。

NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

18. シャッター [Shutter]

	シャッターモードを [Off] → [Step] → [Synchro] → [Auto] の順に切り替えます。
	シャッターモードを [Auto] → [Synchro] → [Step] → [Off] の順に切り替えます。

NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

19. ND フィルター [ND]

	ND フィルターの透過率を [THROUGH] → [1/4] → [1/16] → [1/64] の順に切り替えます。
	ND フィルターの透過率を [1/64] → [1/16] → [1/4] → [THROUGH] の順に切り替えます。

NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

20. シーン / ユーザー [Scene/User]

	STORE/LOAD FROM TO SCENE/USER LOAD SceneOff Current Setting Execute [Scene1] ~ [Scene8], [User1] ~ [User3]
[Scene1] ~ [Scene8] もしくは [User1] ~ [User3] を選択して、撮影モードを切り替えます。	

	Scene/User 用拡張パネル表示ボタン シーン / ユーザーファイル切り替え用のプルダウンを表示します。 表示中は [-] ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。
--	--

NOTE

- ライブ画面 [Live] 表示直後、シーン / ユーザーファイル切り替え用のプルダウンは表示されていません。[Scene/User 用拡張パネル表示ボタン] を押すと表示されます。

21. スナップショットボタン

	スナップショット（静止画1枚）を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。
--	---

NOTE

- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- [JPEG transmission(1)] ~ [JPEG transmission(3)] (88ページ) のすべてを [Off] に設定している場合、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。

22. SRT

	(配信停止中)
	(配信中)

あらかじめ登録した配信先にストリーミングを開始します。
配信中はボタンが赤色に変わり、再度ボタンをクリックすると配信が停止します。

NOTE

- [Streaming mode] が [SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]*、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]*のときのみ、このボタンは操作できます。
- [Streaming mode] が [SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]*、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]*のときは、Client(Caller)モードに設定されているときのみこのボタンをクリックすることで配信を開始することができます。

* [SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)] は将来対応予定です。

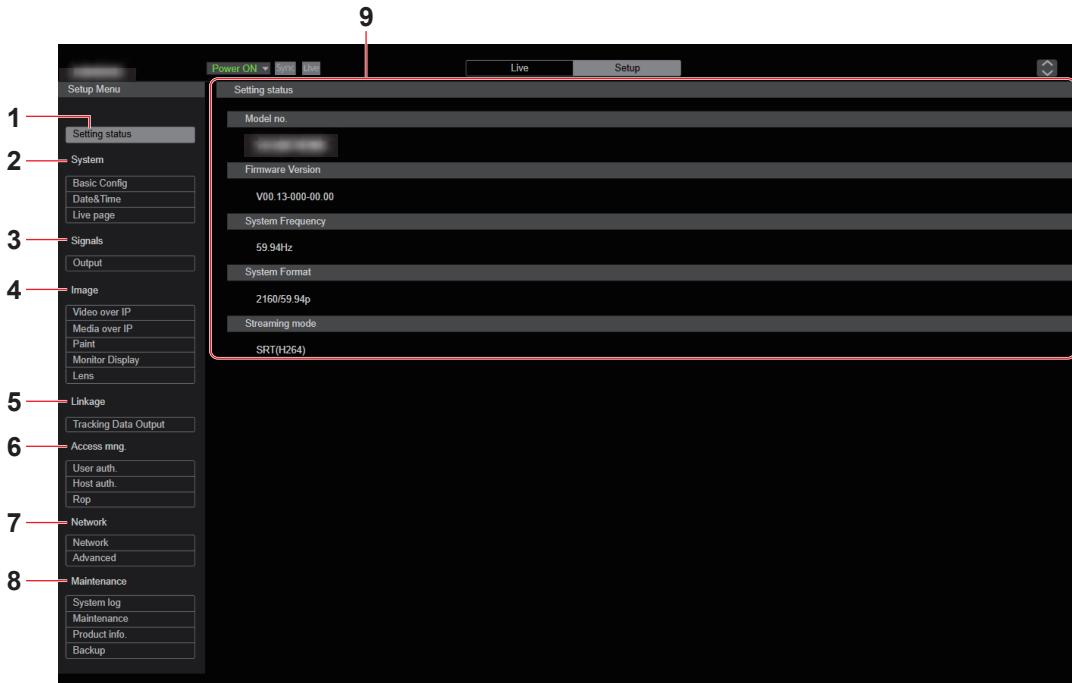
Web画面からの設定

Web設定画面 [Setup]

本機に対して各種設定を行います。

NOTE

- ・設定メニューは、アクセスレベルが「1.Administrator」のユーザーのみ操作できます。
アクセスレベルの設定方法については、111ページを参照してください。
- ・設定メニュー表示中に、OSDメニューから設定値を変更した場合、設定値と表示値が一致しないことがあります。その場合、Webブラウザの設定メニュー表示画面を更新してください。



1. 設定状態 [Setting status]

ボタンをクリックすると、設定状態画面 [Setting status] が表示されます。(80 ページ)

2. システム設定 [System]

ベーシック設定ボタン [Basic Config]

ボタンをクリックすると、ベーシック設定画面 [Basic Config] が表示されます。(80 ページ)

時計設定ボタン [Date&Time]

ボタンをクリックすると、時計設定画面 [Date&Time] が表示されます。(84 ページ)

ライブページ設定ボタン [Live page]

ボタンをクリックすると、ライブページ画面 [Live page] が表示されます。(84 ページ)

3. シグナル設定 [Signals]

アウトプット設定ボタン [Output]

ボタンをクリックすると、アウトプット設定画面 [Output] が表示されます。(85 ページ)

4. カメラ画面 [Image]

IP映像設定ボタン [Video over IP]

ボタンをクリックすると、IP映像設定画面 [Video over IP] が表示されます。(86 ページ)

MoIP設定ボタン [Media over IP]

ボタンをクリックすると、MoIP設定画面 [Media over IP] が表示されます。(92 ページ)

ペイント設定ボタン [Paint]

ボタンをクリックすると、ペイント設定画面 [Paint] が表示されます。(95 ページ)

モニターディスプレイ設定ボタン [Monitor Display]

ボタンをクリックすると、モニターディスプレイ設定画面 [Monitor Display] が表示されます。(108 ページ)

レンズ設定ボタン [Lens]

ボタンをクリックすると、レンズ設定画面 [Lens] が表示されます。(109 ページ)

5.連携機能 [Linkage]

トラッキングデータ出力設定ボタン [Tracking Data Output]

ボタンをクリックすると、トラッキングデータ出力設定画面 [Tracking Data Output] が表示されます。 (109 ページ)

6.ユーザー管理設定 [Access mng.]

ユーザー認証設定ボタン [User auth.]

ボタンをクリックすると、ユーザー認証設定画面 [User auth.] が表示されます。 (111 ページ)

ホスト認証設定ボタン [Host auth.]

ボタンをクリックすると、ホスト認証設定画面 [Host auth.] が表示されます。 (112 ページ)

ROP 認証設定ボタン [Rop]

ボタンをクリックすると、ROP 認証設定画面 [Rop] が表示されます。 (113 ページ)

7.ネットワーク設定 [Network]

ネットワーク設定ボタン [Network]

ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面 [Network] が表示されます。 (114 ページ)

ネットワーク詳細設定ボタン [Advanced]

ボタンをクリックすると、ネットワーク詳細設定画面 [Advanced] が表示されます。 (118 ページ)

8.メンテナンス設定 [Maintenance]

システムログボタン [System log]

ボタンをクリックすると、システムログ画面 [System log] が表示されます。 (129 ページ)

メンテナスポタン [Maintenance]

ボタンをクリックすると、メンテナスポタン [Maintenance] が表示されます。 (130 ページ)

製品情報確認ボタン [Product info.]

ボタンをクリックすると、製品情報確認画面 [Product info.] が表示されます。 (130 ページ)

バックアップボタン [Backup]

ボタンをクリックすると、バックアップ画面 [Backup] が表示されます。 (131 ページ)

9.メインエリア

メニュー画面が表示されます。

設定状態画面 [Setting status]

Setting status
Model no.
V01.00
Firmware Version
System Frequency
59.94Hz
System Format
2160/59.94p
Streaming mode
H.264

Model no.

本機の品番が表示されます。

Firmware Version

本機のファームウェアバージョンが表示されます。

バージョン詳細情報は製品情報確認画面 [Product info.] を参照してください。

System Frequency

本機のフレーム周波数が表示されます。

System Format

本機の映像フォーマットが表示されます。

Streaming mode

本機のストリーミングモードが表示されます。

システム画面 [System]

ベーシック設定画面 [Basic Config]

■ Setting status

Setting status
Frequency
59.94Hz
Format
2160/59.94p

Frequency

フレーム周波数の設定を表示します。

Format

映像フォーマットの設定を表示します。

■ Frequency

Frequency	
Frequency	<input checked="" type="radio"/> 59.94Hz <input type="radio"/> 50Hz
<input type="button" value="Set"/>	

Frequency [59.94Hz、50Hz]

フレーム周波数を切り替えます。

設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：59.94Hz

NOTE

- フレーム周波数の切り替えを行った場合、本機は自動的に再起動します。

■ Format

設定は [Set] ボタンで確定します。

Format	
Format	2160/29.97p
FPS SW	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On
FPS	<input checked="" type="radio"/> 60 <input type="radio"/> 30 <input type="radio"/> 24
<input type="button" value="Set"/>	

Format

[59.94Hz] のとき

2160/59.94p、2160/29.97p、2160/23.98p、

1080/59.94p、1080/29.97p、1080/23.98p

[50Hz] のとき

2160/50p、2160/25p、1080/50p、1080/25p

映像フォーマットを変更します。

NOTE

- システムフォーマット変更時にストリーミングが停止します。
- [Video over IP] の [Streaming mode] で [SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)] を選択するためには、ここで 4K フォーマットを選択する必要があります。
- ([SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)] は将来対応予定です。)

FPS SW [Off, On]

FPS 機能の有効 / 無効を設定します。

工場出荷時の設定 : Off

NOTE

- [Basic Config] – [Format] が [2160/59.94p] または [1080/59.94p] のときはのみ設定できます。

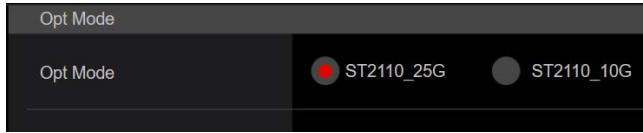
FPS [60, 30, 24]

[FPS SW] が [ON] のときに、MOS センサーのフレームレートを設定します。

工場出荷時の設定 : 60

■ Opt Mode

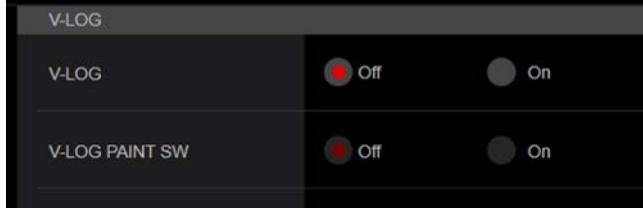
Opt 端子の動作モードを設定します。

**Opt Mode [ST2110_25G, ST2110_10G]**

工場出荷時の設定 : ST2110_25G

NOTE

- [Opt Mode] を変更すると、本機は自動的に再起動します。

■ V-LOG**V-LOG [Off, On]**

V-LOG モードの設定をします。

Off	カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。
On	幅広い階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブに設定します。 撮影後のグレーディング処理が必要です。

工場出荷時の設定 : Off

NOTE

- [Basic Config] – [HDR] が [On] のときは、設定できません。
- [Basic Config] – [V-LOG] が [On] のときは、画質調整機能が制限されます。

V-LOG PAINT SW [Off, On]

[Basic Config] – [V-LOG] が [On] のときに、[PAINT] メニューを設定可能にするかどうかを選択します。

工場出荷時の設定 : Off

NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG] が [Off] のときは、設定できません。

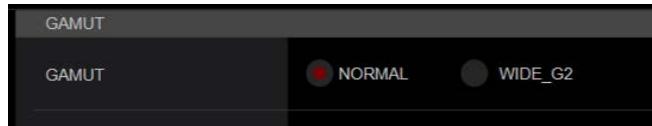
■ HDR**HDR [On, Off]**

HDR モードの有効 / 無効を設定します。

工場出荷時の設定 : Off

NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG] が [On] のときは、設定できません。

■ GAMUT**GAMUT [NORMAL, WIDE_G2]**

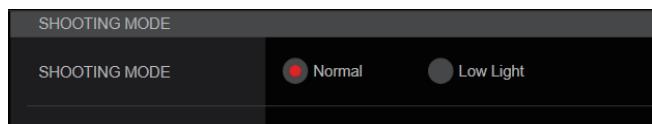
色域を設定します。

NORMAL	BT.709 相当の色域です。
WIDE_G2	BT.2020 相当の色域です V

工場出荷時の設定 : WIDE_G2

NOTE

- [Basic Config] – [HDR] が [Off] のときは、設定できません。

■ SHOOTING MODE**SHOOTING MODE [Normal, Low Light]**

撮影環境に応じた撮影モードを選択します。

Normal	通常の明るい環境で撮影するときに選択します。
Low Light	高感度撮影を選択します。（暗い環境での撮影に適しています）

工場出荷時の設定 : Normal

■ BAR



Bar [Off, On]

Off	カメラ映像を出力します。
On	カラーバーを出力します。

工場出荷時の設定 : Off

Color Bar Type

[TYPE1:SMPTE、TYPE2:FULL、TYPE3:ARIB(FHD)、
TYPE4:ARIB(UHD)、TYPE5:ARIB(2020/HLG)]

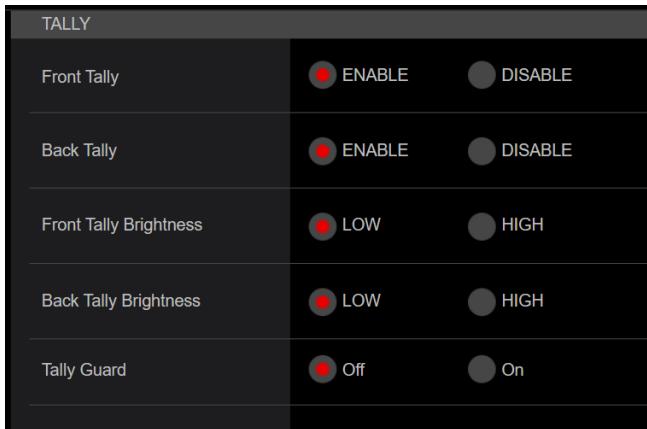
表示するカラーバーのタイプを選択します。

工場出荷時の設定 : TYPE1:SMPTE

NOTE

- [Bar] が [On] のときは、HDR/GAMUT/V-LOG の各種設定値にかかわらず、すべての [HDR] が [Off]/[V-LOG] が [Off] のカラーバーを出力します。
- IP 配信系 (M-JPEG) のカラーバーは、SMPTE 準拠しません。
- [TYPE4:ARIB(UHD)]/[TYPE5:ARIB(2020/HLG)] では、709 設定時は 709 が出力されます。
- IP 配信系 (M-JPEG) では、TYPE3:ARIB(FHD)/
TYPE4:ARIB(UHD)/TYPE5:ARIB(2020/HLG) は出力されません。

■ TALLY



Front Tally [ENABLE, DISABLE]

Back Tally [ENABLE, DISABLE]

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の有効 [ENABLE]/ 無効 [DISABLE] を設定します。

Front/Back の各タリーランプを個別に設定できます。

工場出荷時の設定 : ENABLE

Front Tally Brightness [LOW, HIGH]

Back Tally Brightness [LOW, HIGH]

タリー LED の光量を調整します。

Front/Back の各タリーランプを個別に設定できます。

工場出荷時の設定 : LOW

Tally Guard [Off, On]

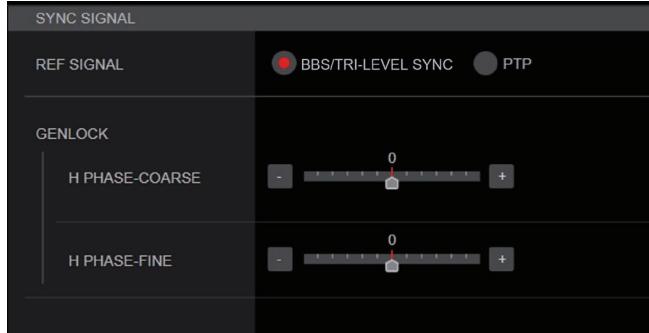
タリー信号が入力中に限り、以下の機能を抑止します。

- オートホワイトバランス、オートブラックバランスの動作

工場出荷時の設定 : Off

■ SYNC SIGNAL

映像 / 音声出力信号の同期をとるための設定を行います。



REF SIGNAL

BBS/TRI-LEVEL SYNC	G/L 端子からのアナログ基準信号で同期をとります。
PTP	SFP 1/SFP 2 端子からの PTP により同期をとります。

工場出荷時の設定 : BBS/TRI-LEVEL SYNC

NOTE

- カメラの設定が [ALL MENU] → [IP SIGNAL] → [ST2110 COMMON] → [MOIP MODE] → [OFF] のときは、[PTP] は選択できません。

GENLOCK

位相調整を行います。

H PHASE-COARSE [-100 ~ 100]

ゲンロック時の水準位相の粗調整を行います。

工場出荷時の設定 : 0

H PHASE-FINE [-100 ~ 100]

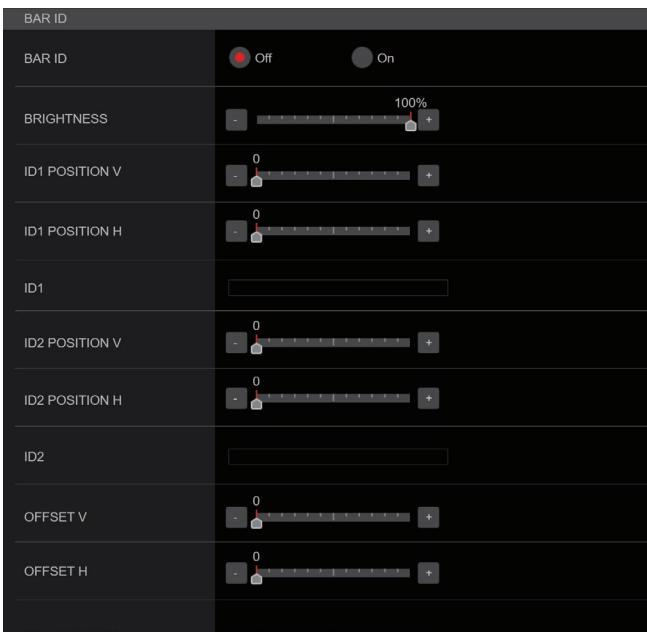
ゲンロック時の水準位相の微調整を行います。

工場出荷時の設定 : 0

NOTE

- [Basic Config] – [SYNC SIGNAL] – [REF SIGNAL] が [PTP] のときは、設定できません。

■BAR ID



BAR ID [Off, On]

カラーバー上の ID 表示の Off/On を選択します。

工場出荷時の設定：Off

BRIGHTNESS [0 ~ 100%]

カラーバー上のカメラ ID の文字色を設定します。

工場出荷時の設定：100%

ID1 POSITION V [0 ~ 15]

カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置 (V 方向: 行番号) をフォント単位で指定します。

工場出荷時の設定：0

ID1 POSITION H [0 ~ 15]

カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置 (H 方向: 列番号) をフォント単位で指定します。

工場出荷時の設定：0

ID1

[BAR ID] の文字列を設定します。

最大 16 文字

(半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ~ \$ @ |)

ID2 POSITION V [0 ~ 5]

カラーバー上のカメラ ID2 の表示開始位置 (V 方向: 行番号) をフォント単位で指定します。

工場出荷時の設定：1

ID2 POSITION H [0 ~ 15]

カラーバー上のカメラ ID2 の表示開始位置 (H 方向: 列番号) をフォント単位で指定します。

工場出荷時の設定：0

ID2

[BAR ID] の文字列を設定します。

最大 16 文字

(半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ~ \$ @ |)

OFFSET V [0 ~ 89]

[BAR ID] の表示位置 (フォント内の画素オフセット位置: V 方向) を微調整します。

工場出荷時の設定：0

OFFSET H [0 ~ 79]

[BAR ID] の表示位置 (フォント内の画素オフセット位置: H 方向) を微調整します。

工場出荷時の設定：0

NOTE

- BAR ID は、SDI、SMPTE ST2110、NDI High Bandwidth の各出力にのみ表示し、IP 配信 (SRT) には表示されません。

時計設定画面 [Date&Time]

時計の設定を行います。
[PC Synchronization]、[NTP]、[Manual] の3種類の方法を設定できます。
設定は [Set] ボタンで確定します。

Auto

PC Synchronization

[Execute] ボタンをクリックすると、接続しているパーソナルコンピューターの日付時刻に本機を同期させて設定します。

NOTE

- パーソナルコンピューターのタイムゾーンは、本機に反映されません。

NTP

[NTP >>] をクリックすると NTP サーバーの設定画面を表示します。(118 ページ)

Manual

Date/Time

「月」、「日」、「年」の設定と「時」、「分」、「秒」の設定を行います。

NOTE

- 時刻は、24 時間表示です。
- 出荷時は時計は設定されていません。本項目で時計を設定の上、ご利用ください。

ライブページ画面 [Live page]

Camera title

本機の名称を入力します。

[Set] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品品番です。
- 半角 0 ~ 20 文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%`(*+,-./:<=>?@[]^_{}`~

NOTE

- NDI High Bandwidth でクライアントに表示されるカメラ名にも対応します。

信号設定画面 [Signals]

出力設定画面 [Output]

■ Output

Output	
12G SDI OUT1	
Output Select	<input checked="" type="radio"/> CAM
Format Select	2160p
HDR OUTPUT SELECT	<input checked="" type="radio"/> SDR(709) <input type="radio"/> HDR(709) <input type="radio"/> HDR(2020)
V-LOG OUTPUT SELECT	<input checked="" type="radio"/> V-LOG <input type="radio"/> V-709 <input type="radio"/> BC709
Output Item	<input type="radio"/> Menu Only <input checked="" type="radio"/> Status
CHAR	<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On
12G SDI OUT2	
Output Select	<input checked="" type="radio"/> CAM
Format Select	1080p
HDR OUTPUT SELECT	<input checked="" type="radio"/> SDR(709) <input type="radio"/> HDR(709) <input type="radio"/> HDR(2020)
V-LOG OUTPUT SELECT	<input checked="" type="radio"/> V-LOG <input type="radio"/> V-709 <input type="radio"/> BC709
Output Item	<input type="radio"/> Menu Only <input checked="" type="radio"/> Status
CHAR	<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On
HD SDI OUT	
Output Select	<input checked="" type="radio"/> MONI
Format Select	1080p
HDR OUTPUT SELECT	<input checked="" type="radio"/> SDR(709)
V-LOG OUTPUT SELECT	<input checked="" type="radio"/> V-709 <input type="radio"/> BC709
Output Item	<input checked="" type="radio"/> Status
CHAR	<input type="radio"/> On

12G SDI OUT1

12G SDI OUT1 端子の出力設定を行います。

Output Select [CAM]

CAM カメラ映像を出力します。

Format Select [2160p、1080p、1080i]

出力フォーマットを設定します。

工場出荷時の設定：2160p

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR] が [On] のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR 出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR 出力 (BT.709 相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR 出力 (BT.2020 相当の色域) 信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

 NOTE

- [Basic Config] – [HDR] が [Off] のときは、設定できません。
- [HDR(2020)] は、[Basic Config] – [GAMUT] が [WIDE_G2] のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709、BC709]

[V-LOG] が [On] のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。
BC709	放送に適した映像に変換して出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

 NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG] が [Off] のときは、設定できません。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重複する、OSD の種類を選択します。

Menu Only	OSD メニューのみを表示します。
Status	OSD メニューおよび OSD ステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

CHAR [Off、On]

OSD を重複させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

12G SDI OUT2

12G SDI OUT2 端子の出力設定を行います。

Output Select [CAM]

CAM カメラ映像を出力します。

Format Select [2160p、1080p、1080i]

出力フォーマットを設定します。

工場出荷時の設定：2160p

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR] が [On] のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR 出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR 出力 (BT.709 相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR 出力 (BT.2020 相当の色域) 信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

 NOTE

- [Basic Config] – [HDR] が [Off] のときは、設定できません。
- [HDR(2020)] は、[Basic Config] – [GAMUT] が [WIDE_G2] のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709、BC709]

[V-LOG] が [On] のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。
BC709	放送に適した映像に変換して出力します。

工場出荷時の設定 : V-LOG

NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG] が [Off] のときは、設定できません。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重畠する、OSD の種類を選択します。

Menu Only	OSD メニューのみを表示します。
Status	OSD メニューおよび OSD ステータスを表示します。

工場出荷時の設定 : Menu Only

CHAR [Off、On]

OSD を重畠させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定 : On

HD SDI OUT

HD SDI OUT 端子の出力設定を行います。

Output Select [MONI]

MONI	モニター映像を出力します。
------	---------------

Format Select [1080p、1080i]

出力フォーマットを設定します。

工場出荷時の設定 : 1080i

HDR OUTPUT SELECT [SDR(709)]

SDR(709)	SDR 出力信号を選択します。
----------	-----------------

V-LOG OUTPUT SELECT [V-709、BC709]

[V-LOG] が [On] のときに出力する信号を選択します。

V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。
BC709	放送に適した映像に変換して出力します。

工場出荷時の設定 : V-709

NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG] が [Off] のときは、設定できません。

Output Item [Status]

Status	OSD メニューおよび OSD ステータスを表示します。
--------	------------------------------

CHAR [On]**カメラ画面 [Image]****IP 映像設定画面 [Video over IP]**

IP 映像の設定や、画質に関する設定を行います。

NOTE

- IP 制御は行うが IP 映像を配信したくない場合は、[JPEG transmission]、[SRT transmission] を [Off] にしてください。
- IP 映像を配信中に、本機に接続しているネットワークケーブルを抜いたり、ネットワーク設定を変更すると、配信が停止する場合があります。

■ Setting status

Setting status				
Streaming mode				
SRT(H264)				
Initial display setting				
JPEG(1)				
JPEG(1)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality
On		1280x720	30fps	Fine
JPEG(2)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality
On		640x360	30fps	Fine
JPEG(3)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality
On		320x180	30fps	Fine
Streaming format	Transmission	Image capture size	Frame rate	Max bit rate
On		1920x1080	30fps	21504 kbps

Streaming mode

ストリーミングモードの設定を表示します。

Initial display setting

ライブ画面 [Live] を開いたときに表示する画像の設定を表示します。

JPEG

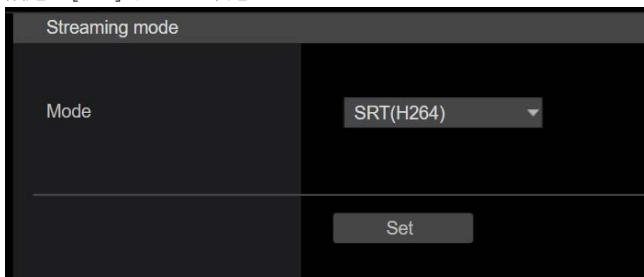
JPEG の配信設定を表示します。

Streaming format

IP 映像の送信状態とフォーマット情報を表示します。

■ Streaming mode

本機は、[Streaming mode] の切り替えによって、用途に合わせた IP 配信動作が可能です。
設定は [Set] ボタンで確定します。



Mode [SRT(H.264)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265)、SRT(H.265 UHD)、NDI High Bandwidth]

SRT(H.264)	SRT 対応デコーダーやサービスに H.264 形式で Full HD 画像の IP 配信を行います。
SRT(H.264 UHD)	SRT 対応デコーダーやサービスに H.264 形式で 4K 画像の IP 配信を行います。
SRT(H.265)	SRT 対応デコーダーやサービスに H.265 形式で Full HD 画像の IP 配信を行います。
SRT(H.265 UHD)	SRT 対応デコーダーやサービスに H.265 形式で 4K 画像の IP 配信を行います。
NDI High Bandwidth	ネットワーク上での NDI High Bandwidth と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像を送ります。

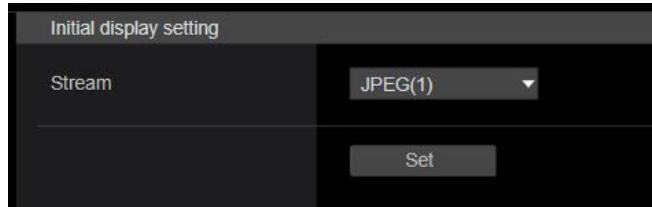
工場出荷時の設定 : SRT(H.264)

NOTE

- [SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)] は将来対応予定です。
- [Tracking Data Output] の [IP(UDP)] が [On] のとき、IP 配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(109 ページ)
IP 配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[Tracking Data Output] の [IP(UDP)] を [Off] にすることを推奨します。

■ Initial display setting

ライブ画面 [Live] に表示する初期設定を行います。
設定は [Set] ボタンで確定します。



Stream [JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)]

ライブ画面 [Live] に表示する画像を選択します。

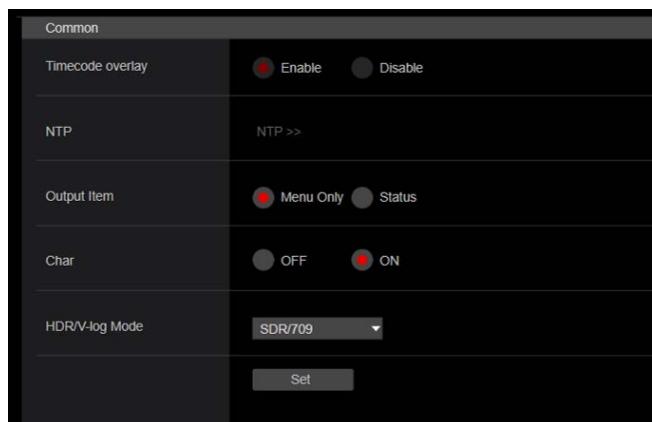
JPEG(1)	静止画 (JPEG(1)) を表示します。
JPEG(2)	静止画 (JPEG(2)) を表示します。
JPEG(3)	静止画 (JPEG(3)) を表示します。

工場出荷時の設定 : JPEG(1)

NOTE

- [Streaming mode] に応じて設定が自動で切り替わる場合があります。

■ Common



Timecode overlay [Enable、Disable]

IP 配信データにタイムコード情報を重畳するか設定します。

工場出荷時の設定 : Disable

NOTE

- 本機能は、NTP が有効時のみ設定可能です。
- 本機能は、NTP 同期した時刻情報を重畳します。

NTP

[NTP >>] をクリックすると NTP サーバーの設定画面を表示します。(118 ページ)

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。

Menu Only	メニューのみ表示
Status	ビューファインダーに表示しているキャラクターと同じものを全て表示

工場出荷時の設定 : Menu Only

Char [OFF、ON]

出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定 : ON

HDR/V-log Mode

[V-LOG、V-709、SDR/709、HDR/709、HDR/2020]

HDR / V-log モードを設定します。

工場出荷時の設定 : HDR ON 時 SDR/709、V-LOG ON 時 V-709

■JPEG

JPEGの画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。
JPEG画像の設定は全部で3chあります。

JPEG(1)	
JPEG transmission	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
Image capture size	1280×720
Refresh interval	30fps
Image quality	<input checked="" type="radio"/> Fine <input type="radio"/> Normal
Set	

NOTE

- [Streaming mode]が[NDI High Bandwidth]のとき、[JPEG(2)]と[JPEG(3)]の設定はできません。

JPEG transmission [On, Off]

JPEG画像を配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: On

Image capture size [1920 × 1080, 1280 × 720, 640 × 360, 320 × 180]

JPEG画像を表示する際、表示する画像解像度を以下から選択します。

JPEG(1)	1920 × 1080、1280 × 720、640 × 360、320 × 180
JPEG(2)	640 × 360、320 × 180
JPEG(3)	640 × 360、320 × 180

工場出荷時の設定:

JPEG(1): 1280 × 720
JPEG(2): 640 × 360
JPEG(3): 320 × 180

Refresh interval [1fps, 4fps, 5fps, 12fps, 12.5fps, 15fps, 24fps, 25fps, 30fps]

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

59.94Hzのとき	1fps/5fps/15fps/30fps
50Hzのとき	1fps/5fps/12.5fps/25fps
23.98Hzのとき	1fps/4fps/12fps/24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき:

JPEG(1): 30fps

JPEG(2): 5fps

JPEG(3): 30fps

50Hzのとき:

JPEG(1): 25fps

JPEG(2): 5fps

JPEG(3): 25fps

23.98Hzのとき:

JPEG(1): 24fps

JPEG(2): 4fps

JPEG(3): 24fps

NOTE

- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

- 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

Image quality [Fine, Normal]

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を設定します。

工場出荷時の設定: Fine

■SRT

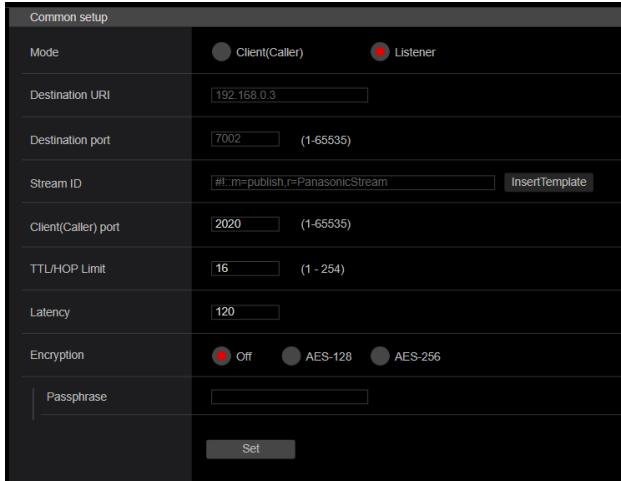
SRT配信の設定を行います。

 NOTE

- [Listener]モード時にSRT配信を行う場合は、デコーダーおよびアプリケーションを[Client(Caller)]モードに設定し、以下のURLを設定してください。
srt://[本機のIPアドレス]:[Client(Caller) portで設定した値]
- [Client(Caller)]モード時にSRT配信を行う場合、デコーダーおよびアプリケーションのIPアドレスおよびポート番号を[Destination URI]、[Destination port]に設定し、ライブ画面[Live]の[SRT]の[start]ボタンをクリックしてください。

Common setup

設定は[Set]ボタンで確定します。



Common setup	
Mode	<input checked="" type="radio"/> Client(Caller) <input type="radio"/> Listener
Destination URI	192.168.0.3
Destination port	7002 (1~65535)
Stream ID	#!::m=publish,r=PanasonicStream <input type="button" value="InsertTemplate"/>
Client(Caller) port	2020 (1~65535)
TTL/HOP Limit	16 (1~254)
Latency	120
Encryption	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> AES-128 <input type="radio"/> AES-256
Passphrase	<input type="text"/>
<input type="button" value="Set"/>	

Mode [Client(Caller)、Listener]

SRT対応デコーダーまたはサービスへの接続方法を選択します。

Client(Caller)	配信先のIPアドレス、ポート番号を指定し本機から配信を開始する場合に指定します。
Listener	待ち受けポートを指定し、外部からの配信開始要求を待ち受ける場合に指定します。

工場出荷時の設定：Listener

Destination URI

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、IPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定：192.168.0.3

 NOTE

- IP AddressにはIPv4のみ設定できます。

Destination port [1 ~ 65535]

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、ポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。

指定したポート番号に接続します。

工場出荷時の設定：7002

Stream ID

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、Stream IDを入力します。

入力された情報はSRT配信開始時に接続先に通知されます。

[InsertTemplate]ボタンをクリックした場合は以下のテンプレートが入力欄に自動挿入されます。

#!::m=publish,r=PanasonicStream

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!"#\$%'()=-~^`@[]{}*:;,<>,.?^_

工場出荷時の設定：#!::m=publish,r=PanasonicStream

Client(Caller) port [1 ~ 65535]

[Mode]で[Listener]が設定されているときに、ポート番号(本機が接続を待ち受けるときに使用)を入力します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、546、547、554、995、
5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、
59000～61000

工場出荷時の設定：2020

TTL/HOP Limit

マルチキャストのTTL/HOP Limit値を入力します。

工場出荷時の設定：16

Latency

映像・音声が送信されてから、受信側で再生されるまでの時間(ms)を0～65535の範囲で設定します。

工場出荷時の設定：120

 NOTE

- ネットワークの帯域によっては設定された時間が保証されない場合もあります。

Encryption [Off、AES-128、AES-256]

配信されるIP映像を暗号化するか設定します。(10～24文字)

Off	非暗号でIP映像を配信します。
AES-128	AES-128方式でIP映像を暗号化し、配信します。
AES-256	AES-256方式でIP映像を暗号化し、配信します。

工場出荷時の設定：Off

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!"#\$%'()=-~^`@[]{}*:;,<>,.?^_

Passphrase

暗号化されたIP映像を復号化するためのフレーズを設定します。

Streaming format

SRT配信用のH.264またはH.265画像の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

Streaming format	
SRT transmission	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
Bit depth	<input checked="" type="radio"/> 10bit <input type="radio"/> 8bit
Profile type	<input checked="" type="radio"/> High <input type="radio"/> Main <input type="radio"/> Baseline
Image capture size	1920×1080
CBR/VBR	VBR
Frame rate	60fps
Max bit rate(per client)	Max 36864(36Mbps)
Set	

NOTE

- SRT配信中は[Streaming format]設定は変更できません。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(109ページ)
SRT配信中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。

SRT transmission [On, Off]

SRT配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

Bit depth [10bit, 8bit]

SRT配信映像のbit数を設定します。

工場出荷時の設定：10bit

Profile type [High, Main, Baseline]

H.264画像を配信するときのプロファイルを設定します。

H.265選択時には設定できません。

工場出荷時の設定：High

NOTE

- [Bit depth]が[10bit]または[Image capture size]が[3840×2160]のときは、[High]固定です。

Image capture size

[3840×2160、1920×1080、1280×720]

SRT配信映像の解像度を設定します。

SRT(H264)	1920×1080、1280×720
SRT(H264 UHD)	3840×2160
SRT(H265)	1920×1080、1280×720
SRT(H265 UHD)	3840×2160

工場出荷時の設定：

SRT(H264): 1920×1080
SRT(H264 UHD): 3840×2160
SRT(H265): 1920×1080
SRT(H265 UHD): 3840×2160

CBR/VBR [CBR、VBR]

SRT配信映像のビットレートの制御方式を設定します。

CBR	[Max bit rate(per client)]で設定したビットレートで配信します。
VBR	[Max bit rate(per client)]で設定したビットレート並びに撮像画に応じてビットレートを可変して配信します。

工場出荷時の設定：VBR

Frame rate [24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

SRT配信映像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	30fps/60fps
50Hzのとき	25fps/50fps
23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定：

59.94Hzのとき：60fps

50Hzのとき：50fps

23.98Hzのとき：24fps

NOTE

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client)

[76800(75Mbps)、51200(50Mbps)、25600(25Mbps)、14436(14Mbps)、12800(12.5Mbps)、10240(10Mbps)、8192(8Mbps)]

1クライアントに対するビットレートを選択します。

SRT(H264)	36864(36Mbps)、30720(30Mbps)、21504(21Mbps)、15360(15Mbps)、12288(12Mbps)
SRT(H264 UHD)	112640(110Mbps)、76800(75Mbps)、36864(36Mbps)、18432(18Mbps)
SRT(H265)	24576(24Mbps)、20480(20Mbps)、14336(14Mbps)、10240(10Mbps)、8192(8Mbps)
SRT(H265 UHD)	76800(75Mbps)、51200(50Mbps)、25600(25Mbps)、12800(12.5Mbps)、10240(10Mbps)、8192(8Mbps)

■NDI High Bandwidth

NDI配信の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NDI High Bandwidth

Format

NDI画像の解像度を表示します。

Source name

本機がNDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示される映像ソース名を設定します。
工場出荷時の設定：NDI Device [本機のシリアルナンバー]

Protocol [TCP, UDP, RUDP]

ユニキャスト配信する際の方式を設定します。
工場出荷時の設定：RUDP

Multicast Transmit [On, Off]

NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するか設定します。
工場出荷時の設定：Off

Address(IPv4)

[IPv4 : 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定：239.192.0.30

NOTE

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

Subnet(IPv4)

サブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定：255.255.255.255

NOTE

• [Address(IPv4)]と[Subnet(IPv4)]は、マルチキャスト配信時にランダムに設定されるマルチキャストアドレスの範囲を明確にします。

• [Address(IPv4)]を[239.255.0.0]、[Subnet(IPv4)]を[255.255.0.0]に設定した場合は、[239.255.0.0]～[239.255.255.252]の範囲からランダムに複数割り当てられます。

TTL/HOP Limit

[SRT]の[TTL/HOP Limit]（89ページ）と同等です。

Group [Enable, Disable]

NDI配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうか設定します。

工場出荷時の設定：Disable

Name

グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。

Use discovery server

NDI配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうか設定します。

Server address(IPv4)

ディスカバリーサーバーを使用するときに、サーバーのIPv4アドレスを設定します。

MoIP 設定画面 [Media over IP]

MoIP(SMPTE ST2110/NMOS/PTP)に関する設定を行います。

■Setting status

Setting status					
ST2110 Port					
Enable	49330				
Main video TX	DEST ADDR [PRI]	DEST PORT [PRI]	DEST ADDR [SEC]	DEST PORT [SEC]	Format
Enable	230.1.0.1	49101	230.2.0.1	49201	1080/59.94p
Moni video TX	DEST ADDR [PRI]	DEST PORT [PRI]	DEST ADDR [SEC]	DEST PORT [SEC]	Format
Enable	230.1.0.3	49103	230.2.0.3	49203	1080/59.94p
PTP	Status	Domain	Clock type	PTP Grandmaster ID	
	not used	127	BC	-----	
NMOS	Status	IS-04 Port	IS-05 Port	RDS IP Address	RDS Port
Off	UNREGISTERED	50040	50050	-----	-----
NMOS Master Enable	Main video TX	Main JPEG XS video TX	Moni video TX		
On	Disable	On			

ST2110

SMPTE ST2110機能のOff/On状態や、SMPTE ST2110の送信で使用するポート番号を表示します。

Main video TX

[Main video TX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

Moni video TX

[Moni video TX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

PTP

[PTP]の設定を表示します。

NMOS

[NMOS]の設定を表示します。

NMOS Master Enable

[NMOS Master Enable]の設定を表示します。

この設定はカメラと同じネットワーク上にあるNMOSのコントローラーから切り替えが可能です。SMPTE ST2110の送受信の有効/無効の設定です。



- カメラ起動時は[On]の状態で起動します。設定値の保存はできません。

■ST2110

本機は、〈SFP 1〉、〈SFP 2〉端子から SMPTE ST2110 の送受信が可能です。

設定は [Set] ボタンで確定します。

ST2110 [On, Off]

SMPTE ST2110の送受信のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: Off

ST2110 port [1024 ~ 65535]

SMPTE ST2110用ポート番号（本機から SMPTE ST2110 を送信するときに使用）を入力します。

10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 49330

■ST2110 TX

SMPTE ST2110 (非圧縮) の送信設定を行います。
設定は [Set] ボタンで確定します。

 NOTE

- [ST2110] が [Off] のときは、このメニューは非表示です。


Main video**Moni video**** NOTE**

- [ST2110] が [Off] のときは、出力されません。
- [Main video] からは OSD メニューなどを重畳していないカメラ映像が出力されます。
- [Moni video] からは <HD SDI OUT> 端子の MONI 出力と同じ映像が出力されます。12G SDI は出力されません。
- 下記は Primary の工場出荷値です。Secondary の工場出荷値は、[230.1.xx.x] は [230.2.xx.x] に、[491xx] は [492xx] に、読み替えてください。

Format

出力フォーマットを設定 / 表示します。

DEST ADDR

配信先 IP アドレスを入力します。
次の範囲の IP アドレスが設定できます。

第1オクテット	0 ~ 239
第2オクテット	0 ~ 255
第3オクテット	0 ~ 255
第4オクテット	0 ~ 255

0.0.0.0、224.0.0.0 ~ 224.0.1.255、第1オクテットが127のIPアドレスは設定できません。

工場出荷時の設定:

Primary
Main video : 230.1.0.1
Moni video : 230.1.0.3

DEST PORT [1024 ~ 65535]

配信先ポート番号を入力します。
10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

Main video: 49101
Moni video: 49103

■PTP

PTP の設定を行います。

PTP	
Domain	127
Clock type	<input checked="" type="radio"/> BC <input type="radio"/> E2E TC <input type="radio"/> P2P TC
Sync signal	Sync signal>>
Set	

Domain

PTP のドメイン番号を入力します。

工場出荷時の設定 : 127

NOTE

- ドメイン番号はグランドマスターと設定を合わせる必要があります。グランドマスターの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- [Sync signal] が [PTP] のときのみ設定可能です。

Clock type [BC、E2E TC、P2P TC]

PTP の CLOCK TYPE を設定します。

工場出荷時の設定 : BC

Sync signal

[Sync signal >>] をクリックすると、映像 / 音声の同期信号の設定画面を表示します。(82 ページ)

■NMOS

NMOS の設定を行います。

NOTE

- [ST2110] が [Off] のときは、このメニューは非表示です。

NMOS	
NMOS control	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
Status	REGISTERED Rediscovery
IS-04 Port	50040 (1024~65535)
IS-05 Port	50050 (1024~65535)
Label setting	<input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> Manual
Label prefix	38FC
Discovery	<input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> mDNS <input type="radio"/> uniDNS <input type="radio"/> Manual
RDS Address	
address	192.168.0.130
port	8010 (1024~65535)
Set	

NMOS control [On、Off]

NMOS の機能を Off/On を設定します。

工場出荷時の設定 : Off

Status

NMOS の RDS サーバーとの接続状況を表示します。

UNREGISTERED	未接続状態
REGISTERING	RDS サーバーの検索中
REGISTERED	RDS サーバーに登録済み
P2P MODE	NMOS のコントローラーと P2P で接続済み

IS-04 Port [1024 ~ 65535]

NMOS の IS-04 用ポート番号を入力します。

工場出荷時の設定 : 50040

IS-05 Port [1024 ~ 65535]

NMOS の IS-05 用ポート番号を入力します。

工場出荷時の設定 : 50050

Label setting

NMOS で使用するラベル名の自動 / 手動を選択します。

Auto	ラベル名を固定値とします。
Manual	ラベル名をユーザーが手動で入力します。

工場出荷時の設定 : Auto

NOTE

- Auto 設定時のラベル名は、「UBX100_**** (**** は MAC アドレスの下 4 衔)」になります。

Label prefix

NMOS で使用するラベル名を入力します。

Label setting が Auto の場合は、変更できません。

工場出荷時の設定 : UBX100_****(**** は MAC アドレスの下 4 衔)

Discovery

RDSサーバーの探索方法を設定します。

Auto	uniDNS/mDNSで順番に自動で探索します。
mDNS	mDNSで探索します。
uniDNS	unicast DNSで探索します。
Manual	手動で探索します。

工場出荷時の設定 : Auto

NOTE

- 全モードにおいて、RDSサーバーが見つからなかった場合、自動でP2Pモードに切り替わります。

RDS Address

RDSアドレスを指定する場合入力を行います。

address	接続したいRDSのアドレスを設定します。
port	接続したいRDSのポートを設定します。

工場出荷時の設定 : address:192.168.0.130/port:8010

ペイント設定画面 [Paint]

画質の調整を行います。

この画面の項目は、[Scene]と[Matrix]を除き、設定内容がすぐに反映されます。[Scene]と[Matrix]は設定内容を選択した後、[Set]ボタンを押して実行する必要があります。

SCENE [Scene1 ~ Scene8]**USER [User1 ~ User3]**

撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。

撮影条件や好みに合わせて、撮影モードを選択してください。

プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[SET]ボタンをクリックすると選択中の撮影モードに切り替わります。

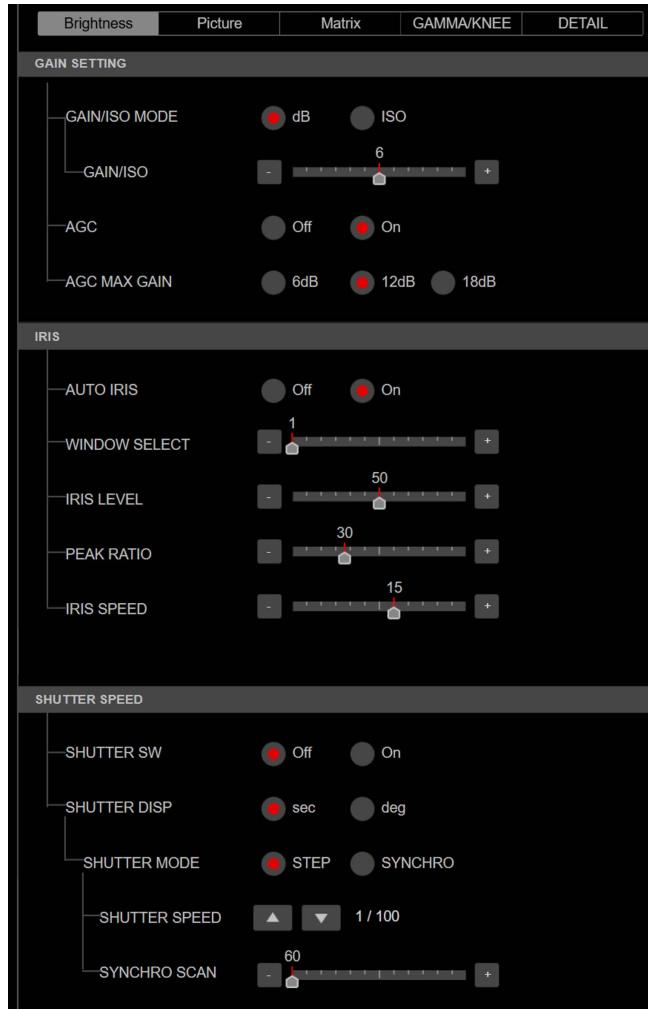
Scene1 ~ Scene8、 User1 ~ User3	撮影条件や好みに合わせて、詳細な設定調整を マニュアル操作で行うモードです。
-----------------------------------	---

Camera control/Setup Menu ボタン

Camera control >>	Setup Menu <<
--------------------------------	----------------------------

[Camera control] ボタンをクリックすることで、カメラ制御画面を表示することができます。

画質調整をしながらカメラの制御も行えるようになります。

BRIGHTNESS**■IRIS****AUTO IRIS [Off, On]**

自動アイリス調整の OFF/ON を選択します。

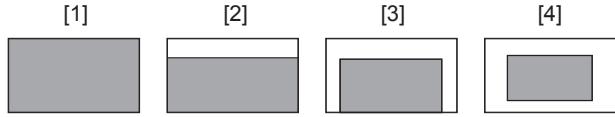
Off	自動でアイリス調整を行いません。
On	自動でアイリス調整を行います。

工場出荷時の設定: Off

WINDOW SELECT [1 ~ 4]

[AUTO IRIS] 時の測光範囲を設定します。

[1] ~ [4] を選択したときのウィンドウイメージは、次のようにになります。



[5] を選択したときは、任意のウィンドウ（領域）を指定できます。

領域の指定は、Web ブラウザから設定可能です。（75 ページ）

工場出荷時の設定: 1

IRIS LEVEL [0 ~ 100]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。

工場出荷時の設定: 50

PEAK RATIO [0 ~ 100]

[AUTO IRIS] 時の測光のピーク値と平均値の割合を設定します。

設定値の数値が大きいほど、アイリス検出ウィンドウ内のピークに対して反応します。

設定値の数値が小さいほど、アイリス検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。

工場出荷時の設定: 0

IRIS SPEED [1 ~ 25]

アイリス機能の制御スピードを設定します。

工場出荷時の設定: 15

■GAIN SETTING**GAIN/ISO MODE [dB, ISO]**

ゲイン値の単位を設定します。

工場出荷時の設定: dB

GAIN/ISO

映像のゲイン調整を行います。

工場出荷時の設定:

– 6 ~ 18 (dB)

400 ~ 12800 (ISO)

AGC [Off, On]

オートゲイン制御の動作を設定します。

工場出荷時の設定: Off

AGC MAX GAIN [6dB, 12dB, 18dB]

[AGC] 動作時の最大ゲイン量を設定します。

工場出荷時の設定: 18dB

■SHUTTER SPEED

SHUTTER SW [Off, On]

シャッター機能のOn/Offを設定します。

SHUTTER DISP [sec, deg]

シャッターの表示を設定します。

工場出荷時の設定: sec

SHUTTER MODE [STEP、SYNCHRO]

シャッターモードを選択します。

STEP	ステップシャッターの設定（段階可変）を行います。
SYNCHRO	シンクロシャッターの設定（連続可変）を行います。

SHUTTER SPEED

[SHUTTER MODE] が [STEP] のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間（分数）、[deg] に設定しているときは開角角度で表示します。

[sec] 表示の場合

59.94i/59.94p モード	1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
50i/50p モード	1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
29.97p モード	1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
25p モード	1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
23.98p モード	1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000

[deg] 表示の場合

HALF SHUTTER、11.5d、22.5d、45.0d、90.0d、120.0d、144.0d、172.8d、180.0d、270.0d、357.0d
--

工場出荷時の設定: [1/100]

SYNCHRO SCAN

[SHUTTER MODE] が [SYNCHRO] のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間（分数）、[deg] に設定しているときは開角角度で表示します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

[sec] 表示の場合

59.94i/59.94p モード	60.0Hz ~ 7200Hz
50i/50p モード	50.0Hz ~ 7200Hz
29.97p モード	30.0Hz ~ 7200Hz
25p モード	25.0Hz ~ 7200Hz
23.98p モード	24.0Hz ~ 7200Hz

[deg] 表示の場合

3.0 deg ~ 357.0 deg

PICTURE

Brightness Picture Matrix GAMMA/KNEE DETAIL

W/B BAL SETTING

ATW	Off	On
ATW Speed	Normal	Slow
ATW TARGET R	0	
ATW TARGET B	0	
SHOCKLESS WB SW	Off	On
SHOCKLESS WB SPEED	4	

PEDESTAL

MASTER PEDESTAL	0
R PEDESTAL	0
G PEDESTAL	0
B PEDESTAL	0
PEDESTAL OFFSET	Off

CHROMA

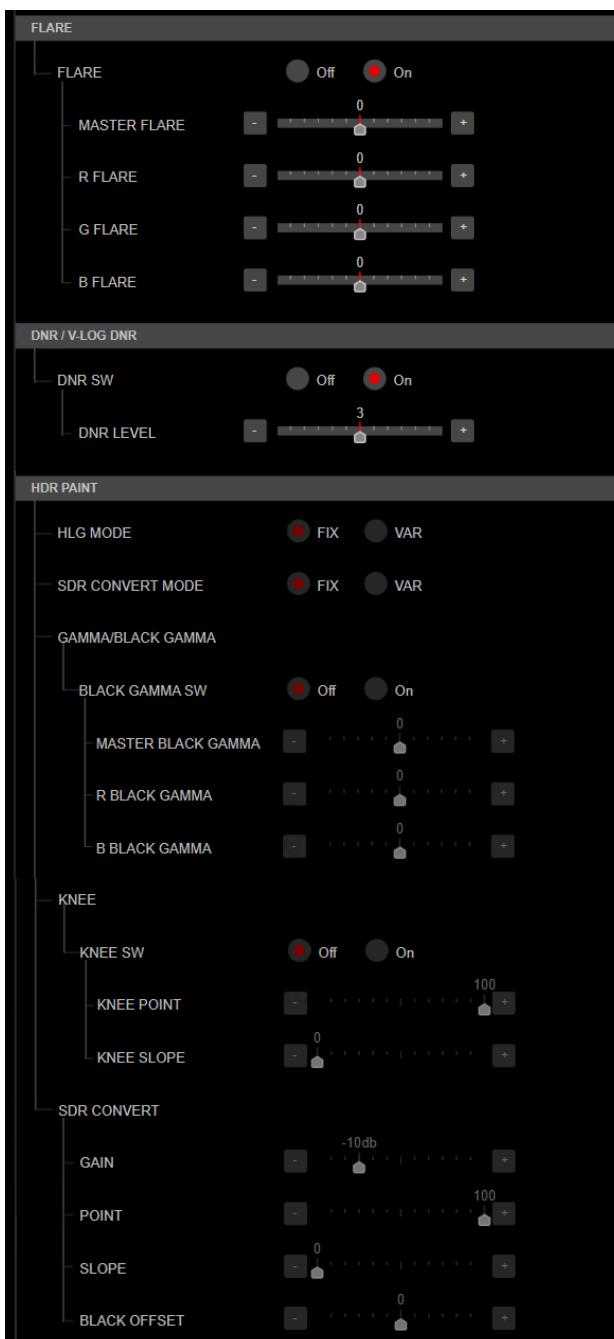
CHROMA LEVEL SWITCH	Off	On
CHROMA LEVEL	0%	

COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING

COLOR TEMP	3200K
R GAIN	0
B GAIN	0
G AXIX	0

RGB GAIN CONTROL SETTING

G GAIN REL CONTROL SWITCH	Off	On
RGB GAIN PRESET		
R GAIN	0	
G GAIN	0	
B GAIN	0	
RGB GAIN		
R GAIN	0	
G GAIN	0	
B GAIN	0	
GAIN OFFSET	Off	



■ W/B BAL SETTING

ATW [Off, On]

オートトラッキングホワイトバランス機能の動作を設定します。
[On]に設定した場合、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正します。

ATW Speed [Normal, Slow, Fast]

オートトラッキングホワイトバランス機能の制御スピードを設定します。

Normal	通常のスピードで追従します。
Slow	[Normal]よりも遅いスピードで追従します。
Fast	[Normal]よりも速いスピードで追従します。

[ATW]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Normal

ATW TARGET R [-10 ~ +10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rchの出力を微調整します。

工場出荷時の設定: 0

ATW TARGET B [-10 ~ +10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bchの出力を微調整します。

工場出荷時の設定: 0

SHOCKLESS WB SW [OFF, ON]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたときに、瞬時に移行するか、緩やかに移行するかの制御を設定します。

工場出荷時の設定: OFF

SHOCKLESS WB SPEED [1 ~ 5]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたとき、移行するまでのスピードを設定します。

工場出荷時の設定: 4

■ PEDESTAL

NOTE

- PEDESTALのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

MASTER PEDESTAL [-200 ~ +200]

黒レベルの調整（ペデスタル調整）を行います。

マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

工場出荷時の設定: 0

R PEDESTAL [-800 ~ +800]

Rペデスタルを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G PEDESTAL [-800 ~ +800]

Gペデスタルを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B PEDESTAL [-800 ~ +800]

Bペデスタルを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

PEDESTAL OFFSET [Off, On]

オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bchのペデスタルレベルを設定します。

Off	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]のペデスタルレベルを[0]にします。
On	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]の各項目で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定: Off

■CHROMA** NOTE**

- CHROMA のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

CHROMA LEVEL SWITCH [Off, On]

映像の色の濃淡設定の Off/On を選択します。

Off	映像の色の濃淡設定を Off にします。
On	映像の色の濃淡設定を On にします。

CHROMA LEVEL [-100% ~ 40%]

映像の色の濃淡を設定します。

工場出荷時の設定 : 0%

■COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING** NOTE**

- COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

COLOR TEMP**COLOR TEMP [2000K ~ 15000K]**

色温度を設定します。

工場出荷時の設定 : 3200K

R GAIN [-400 ~ +400]

色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。

工場出荷時の設定 : 0

B GAIN [-400 ~ +400]

色温度に対して青色の補正レベルを設定します。

工場出荷時の設定 : 0

G AXIS [-400 ~ +400]

色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。

工場出荷時の設定 : 0

■RGB GAIN CONTROL SETTING** NOTE**

- RGB GAIN CONTROL SETTING のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

G GAIN REL CONTROL SWITCH [Off, On]

G ゲインの相対値制御の On/Off を設定します。

工場出荷時の設定 : Off

RGB GAIN PRESET**R GAIN [-1000 ~ +1000]**

R ゲインを調整できます。

工場出荷時の設定 : 0

G GAIN [-1000 ~ +1000]

G ゲインを調整できます。

工場出荷時の設定 : 0

B GAIN [-1000 ~ +1000]

B ゲインを調整できます。

工場出荷時の設定 : 0

RGB GAIN**R GAIN [-1000 ~ +1000]**

R ゲインを調整できます。

工場出荷時の設定 : 0

G GAIN [-1000 ~ +1000]

G ゲインを調整できます。

工場出荷時の設定 : 0

B GAIN [-1000 ~ +1000]

B ゲインを調整できます。

工場出荷時の設定 : 0

GAIN OFFSET [Off, On]

Off	[R GAIN] と [B GAIN] の値を [0] にします。
On	[R GAIN] と [B GAIN] で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定 : Off

■FLARE **NOTE**

- FLARE のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

FLARE [Off, On]

フレア補正の Off/On を設定します。

工場出荷時の設定 : Off

MASTER FLARE [-200 ~ 0 ~ +200]

マスター フレアを調整します。

工場出荷時の設定 : 0

R FLARE [-200 ~ 0 ~ +200]

Rch フレアを調整します。

工場出荷時の設定 : 0

G FLARE [-200 ~ 0 ~ +200]

Gch フレアを調整します。

工場出荷時の設定 : 0

B FLARE [-200 ~ 0 ~ +200]

Bch フレアを調整します。

工場出荷時の設定 : 0

■DNR / V-LOG DNR **NOTE**

- DNR / V-LOG DNR のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

DNR SW [Off, On]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するため、デジタルノイズリダクション効果の OFF/ON を選択します。

工場出荷時の設定 : Off

DNR LEVEL [1 ~ 5]

デジタルノイズリダクションのレベルを設定します。

工場出荷時の設定 : 3

■HDR PAINT **HLG MODE [FIX, VAR]**

HDR 時の画質設定のモードを選択します。

工場出荷時の設定 : FIX

NOTE

- [V-LOG] が [On] のときは無効です。

SDR CONVERT MODE [FIX, VAR]

SDR に変換するモードを選択します。

FIX	固定モード（ゲイン -10dB 固定）
VAR	可変モード

工場出荷時の設定 : FIX

GAMMA/BLACK GAMMA**BLACK GAMMA SW [Off, On]**

暗部のガンマカーブの On/Off を選択します。

工場出荷時の設定 : Off

MASTER BLACK GAMMA [-32 ~ +32]

マスター ブラック ガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定 : 0

R BLACK GAMMA [-32 ~ +32]

Rch のブラック ガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定 : 0

B BLACK GAMMA [-32 ~ +32]

Bch のブラック ガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定 : 0

KNEE **NOTE**

- KNEE のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。
- KNEE のすべての項目において、[HDR] が [On] のときは設定できません。
- [DRS] を有効にしているときは、二ーの設定が無効になります。

KNEE SW [Off, On]

階調圧縮（二ー）の動作モードの On/Off を設定します。

工場出荷時の設定 : On

KNEE POINT [-25.00% ~ 25.00% (0.25% ステップ)]

高輝度映像信号の圧縮レベル（二ー ポイント）の位置設定を行います。

[KNEE SW] が [On] のときに有効です。

工場出荷時の設定 : 0

KNEE SLOPE [-25.00% ~ 25.00% (0.25% ステップ)]

二ーの傾きを設定します。

[KNEE SW] が [On] のときに有効です。

工場出荷時の設定 : 0

SDR CONVERT

[SDR CONVERT MODE] で [FIX] を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

GAIN [0dB、-5dB、-6dB、-7dB、-8dB、-9dB、-10dB、-11dB、-12dB]

SDR 映像のゲインを設定します。

工場出荷時の設定 : -6

POINT [0 ~ 100]

SDR 映像に圧縮を開始する映像レベルを設定します。

工場出荷時の設定 : 0

SLOPE [0 ~ 127]

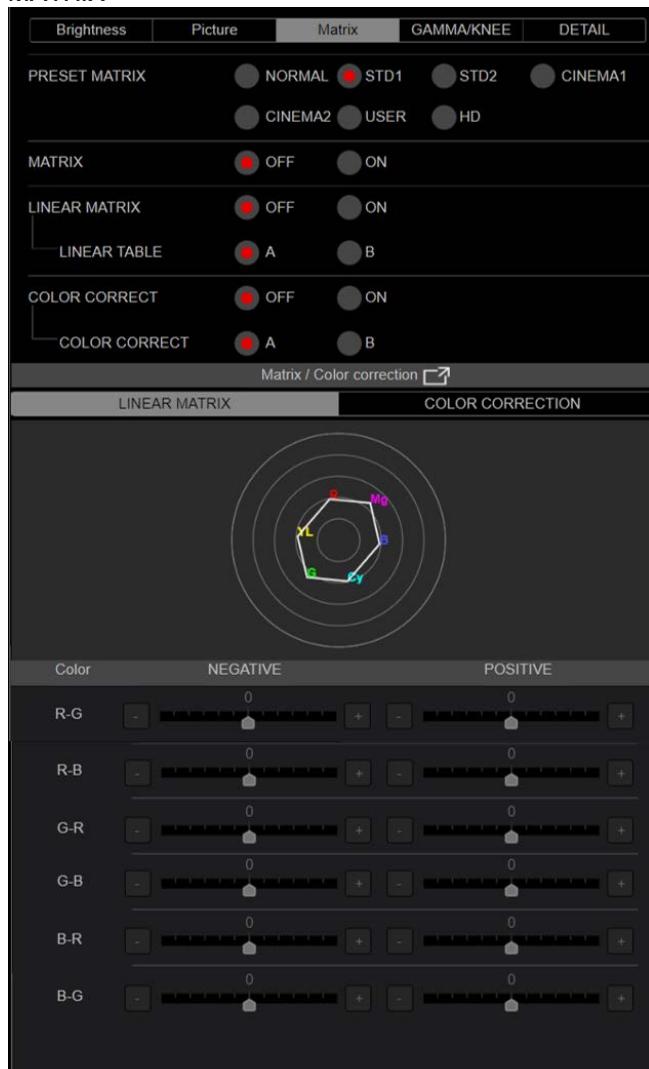
SDR 映像を圧縮する傾きを設定します。

工場出荷時の設定 : 0

BLACK OFFSET [-100 ~ +100]

SDR 映像の黒レベルオフセットを調整します。

工場出荷時の設定 : 0

MATRIX**NOTE**

- [Matrix / Color correction] 横のアイコンをクリックすると [LINEAR MATRIX]、[COLOR CORRECTION] の設定画面が別ウィンドウで表示されます。

PRESET MATRIX [NORMAL、STD1、STD2、CINEMA1、CINEMA2、USER、HD]

マトリクスのタイプを選択します。

NORMAL	屋外環境を重視したマトリクス設定です。 [GAMMA] を [NORMAL] に設定して使用してください。
STD1	当社製スタジオカメラ AK-UC4000 (NORM-NORMAL) に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。
STD2	当社製スタジオカメラ AK-UC4000 (NORM-OE.11) に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。
CINEMA1	コントラストが強めのマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA1] に設定して使用してください。
CINEMA2	落ち着いた調子のマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA2] に設定して使用してください。
USER	当社製リモートカメラ AW-UE150 に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。
HD	当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。

工場出荷時の設定 : HD

MATRIX [OFF, ON]

マトリクス（リニアマトリクス / カラーコレクション）の ON/OFF 設定をします。

工場出荷時の設定：OFF

LINEAR MATRIX [OFF, ON]

リニアマトリクス機能の ON/OFF を設定します。

工場出荷時の設定：OFF

LINEAR TABLE [A, B]

リニアマトリクスのテーブルを選択します。

工場出荷時の設定：A

COLOR CORRECT [OFF, ON]

カラーコレクション機能の ON/OFF を設定します。

工場出荷時の設定：OFF

COLOR CORRECT [A, B]

カラーコレクションのテーブルを選択します。

工場出荷時の設定：A

LINEAR MATRIX

リニアマトリクスの調整を行います。

 NOTE

- LINEAR MATRIX のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

COLOR R-G

NEGATIVE [-31 ~ +31]	R-G の N 方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	R-G の P 方向を設定します。

COLOR R-B

NEGATIVE [-31 ~ +31]	R-B の N 方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	R-B の P 方向を設定します。

COLOR G-R

NEGATIVE [-31 ~ +31]	G-R の N 方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	G-R の P 方向を設定します。

COLOR G-B

NEGATIVE [-31 ~ +31]	G-B の N 方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	G-B の P 方向を設定します。

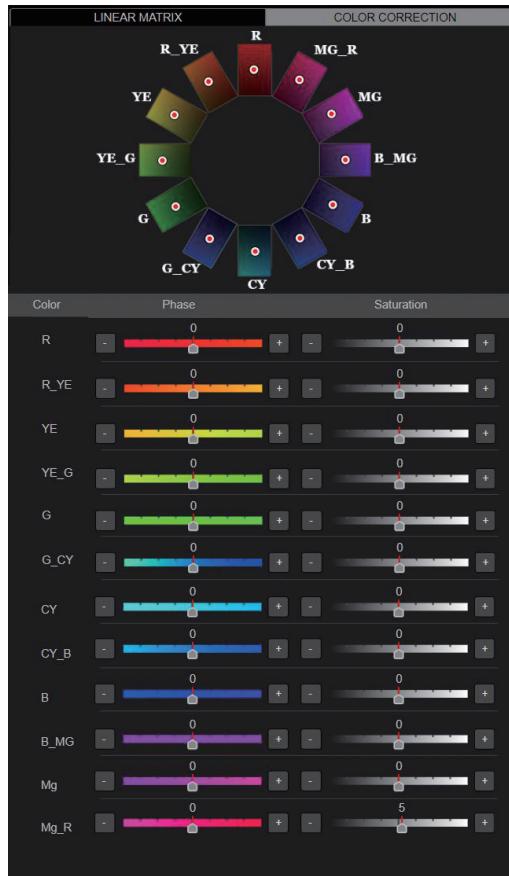
COLOR B-R

NEGATIVE [-31 ~ +31]	B-R の N 方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	B-R の P 方向を設定します。

COLOR B-G

NEGATIVE [-31 ~ +31]	B-G の N 方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	B-G の P 方向を設定します。

工場出荷時の設定：0

**COLOR CORRECTION**

色飽和度と色相の調整を行います。

 NOTE

- COLOR CORRECTION のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

COLOR R

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 赤の色相を調整します。

COLOR R_YE

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 赤と黄の間の色相を調整します。

COLOR YE

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 黄の色相を調整します。

COLOR YE_G

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 黄と緑の間の色相を調整します。

COLOR G

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 緑の色相を調整します。

COLOR G_CY

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 緑とシアンの間の色相を調整します。

COLOR CY

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] シアンの色相を調整します。

COLOR CY_B

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] シアンと青の間の色相を調整します。

COLOR B

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 青の色相を調整します。

COLOR B_MG

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] 青とマゼンタの間の色相を調整します。

COLOR MG

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] マゼンタの色相を調整します。

COLOR MG_R

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126] マゼンタと赤の間の色相を調整します。

工場出荷時の設定：0

GAMMA/KNEE



■GAMMA/BLACK GAMMA

NOTE

- GAMMA/BLACK GAMMA のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。
- GAMMA/BLACK GAMMA のすべての項目において、[HDR] が [On] のときは設定できません。

GAMMA [OFF, ON]

ガンマモードの ON/OFF を選択します。

工場出荷時の設定: OFF

GAMMA MODE SELECT

[HD, NORMAL, CINEMA1, CINEMA2]

ガンマカーブのタイプを選択します。

HD	当社製の放送機器に準じたビデオガンマ特性です。
NORMAL	フェイストーンを持ち上げるガンマ特性です。
CINEMA1	コントラストが強めのガンマ特性です。
CINEMA2	落ちていた調子のマトリクス設定です。

工場出荷時の設定: HD

MASTER GAMMA [0.15 ~ 0.75]

マスター ガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0.45

R GAMMA [-75 ~ +75]

Rch の ガンマを設定します。

工場出荷時の設定: 0

B GAMMA [-75 ~ +75]

Bch の ガンマを設定します。

工場出荷時の設定: 0

BLACK GAMMA [OFF, ON]

暗部の ガンマカーブの ON/OFF を選択します。

工場出荷時の設定: OFF

MASTER BLACK GAMMA [-48 ~ +48]

マスター ブラック ガンマ補正レベルの調整を行います。

-48 ~ -1	暗部を圧縮します。
+1 ~ +48	暗部を伸張します。

工場出荷時の設定: 0

R BLACK GAMMA [-20 ~ +20]

Rch の ブラック ガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

B BLACK GAMMA [-20 ~ +20]

Bch の ブラック ガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

BLACK GAMMA RANGE [1 ~ 3]

暗部の ガンマカーブの圧縮 / 伸張を行う上限レベルを設定します。

1	20% 程度
2	30% 程度
3	40% 程度

工場出荷時の設定: 3

INITIAL GAMMA [4.0, 4.5, 5.0]

ガンマカーブの立ち上がり傾きを設定します。

[GAMMA MODE SELECT] が [HD] の時のみ設定可能です。

工場出荷時の設定: 4.0

■KNEE **NOTE**

- KNEE のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。
- KNEE のすべての項目において、[HDR] が [On] のときは設定できません

KNEE [OFF, ON]

階調圧縮（二一）の動作モードの ON/OFF を設定します。

工場出荷時の設定: ON

KNEE MODE [AUTO, MANUAL]

階調圧縮（二一）の動作モードを設定します。

AUTO	ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
MANUAL	ニーポイントやニーの傾きを手動で設定します。

工場出荷時の設定: MANUAL

KNEE MASTER POINT

[80.00% ~ 110.00% (0.25% ステップ)]

高輝度映像信号の圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0.95

KNEE R POINT

[-25.00% ~ 25.00% (0.25% ステップ)]

[KNEE MASTER POINT] に対して Rch の圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。

[KNEE MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE B POINT

[-25.00% ~ 25.00% (0.25% ステップ)]

[KNEE MASTER POINT] に対して Bch の圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。

[KNEE MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE MASTER SLOPE [0 ~ 199]

ニーの傾きを設定します。

[KNEE MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 130

KNEE R SLOPE [-99 ~ +99]

[KNEE MASTER SLOPE] に対して Rch の傾きを設定します。

[KNEE MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE B SLOPE [-99 ~ +99]

[KNEE MASTER SLOPE] に対して Bch の傾きを設定します。

[KNEE MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

AUTO KNEE RESPONSE [1 ~ 8]

オートニーの応答速度を設定します。

設定値が小さいほど応答速度が速くなります。

工場出荷時の設定: 4

■WHITE CLIP **NOTE**

- WHITE CLIP のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。
- WHITE CLIP のすべての項目において、[HDR] が [On] のときは設定できません。

WHITE CLIP [OFF, ON]

ホワイトクリップ機能の OFF/ON を設定します。

工場出荷時の設定: OFF

MASTER WHITE CLIP LEVEL [80% ~ 109%]

マスター ホワイトクリップレベルを設定します。

工場出荷時の設定: 1.09

R WHITE CLIP LEVEL [-15% ~ +15%]

[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して Rch のホワイトクリップレベルを設定します。

[WHITE CLIP] が [ON] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

B WHITE CLIP LEVEL [-15% ~ +15%]

[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して Bch のホワイトクリップレベルを設定します。

[WHITE CLIP] が [ON] のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

HI COLOR [OFF, ON]

色のダイナミックレンジを拡大するモードの制御を設定します。

高輝度部分の色再現性を改善します。

工場出荷時の設定: OFF

HI COLOR LEVEL [1 ~ 32]

色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。

工場出荷時の設定: 32

■DRS **NOTE**

- DRS のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

DRS [OFF, ON]

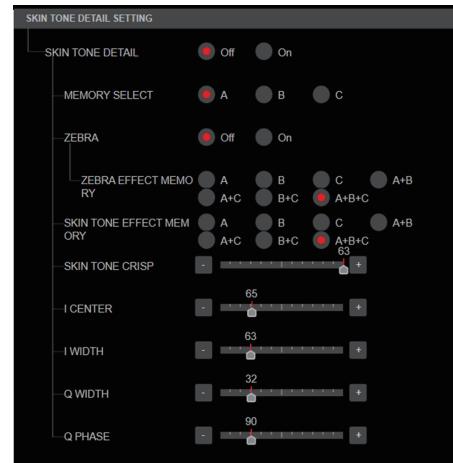
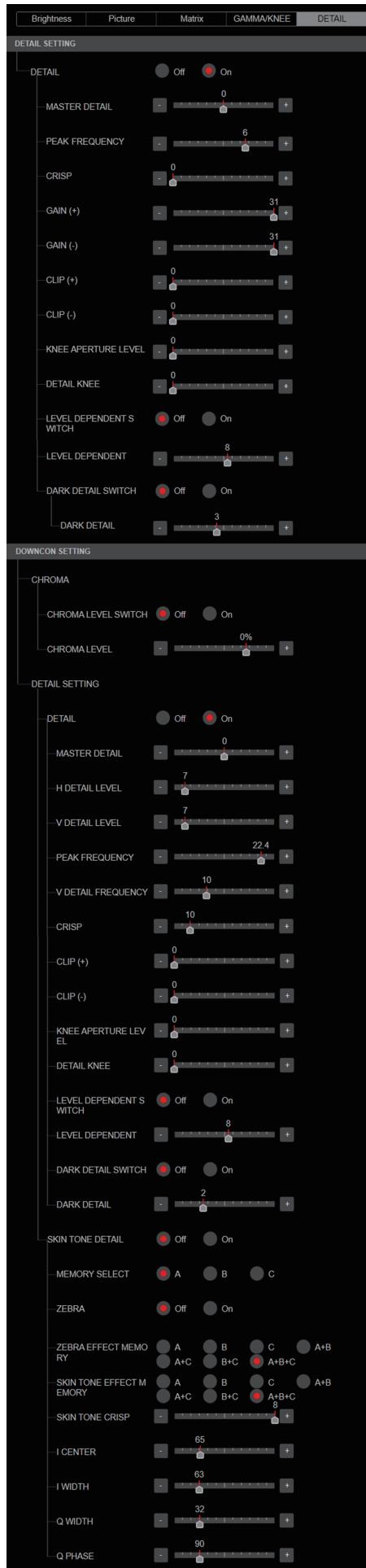
明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行う DRS 機能の ON/OFF を設定します。

工場出荷時の設定: OFF

EFFECT DEPTH [1 ~ 5]

DRS 機能の効果レベルを設定します。数値が大きいほど効果レベルが大きくなります。

工場出荷時の設定: 5

DETAIL**■ DETAIL SETTING** **NOTE**

- DETAIL SETTING のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

DETAIL [Off, On]

映像の輪郭（映像のシャープさ）の調整の On/Off を設定します。
工場出荷時の設定：On

MASTER DETAIL [-31 ~ +31]

輪郭補正レベル（マスター）の調整を行います。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：0

PEAK FREQUENCY [1 ~ 8]

ディテールのブースト周波数を設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：6

CRISP [0 ~ 63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：0

GAIN(+) [-31 ~ +31]

プラス方向（明るくする方向）のディテール信号レベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：0

GAIN(-) [-31 ~ +31]

マイナス方向（暗くする方向）のディテール信号レベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：0

CLIP(+)[0 ~ 63]

プラス方向（明るくする方向）のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：0

CLIP(-)[0 ~ 63]

マイナス方向（暗くする方向）のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定：0

KNEE APERTURE LEVEL [0 ~ 39]

高輝度部のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 0

DETAIL KNEE [0 ~ 15]

二のディテール成分を調整します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 0

LEVEL DEPENDENT SWITCH [Off, On]

暗部ディテールを除去するレベルの On/Off を設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : Off

LEVEL DEPENDENT [0 ~ 15]

暗部ディテールを除去するレベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 0

DARK DETAIL SWITCH [Off, On]

暗部ディテールを付加する制御の On/Off を設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : Off

DARK DETAIL [0 ~ 7]

暗部ディテールのレベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 3

■ DOWNSCALE SETTING

4K から HD へダウンコンバートした映像の輪郭や色を調整します。
[Format] が以下のときに有効です。
2160/59.94p, 2160/29.97p, 2160/23.98p,
2160/50p, 2160/25p

**NOTE**

- DOWNSCALE SETTING のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

CHROMA**CHROMA LEVEL SWITCH [Off, On]**

クロマレベル制御の On/Off を設定します。
工場出荷時の設定 : Off

CHROMA LEVEL [-100% ~ 80%]

映像の色の濃淡を設定します。
工場出荷時の設定 : 0

DETAIL SETTING**DETAIL [Off, On]**

映像の輪郭（映像のシャープさ）の調整の On/Off を設定します。
工場出荷時の設定 : On

MASTER DETAIL [-31 ~ +31]

輪郭補正レベル（マスター）の調整を行います。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 0

H DETAIL LEVEL [0 ~ 63]

水平方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 7

V DETAIL LEVEL [0 ~ 63]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 7

PEAK FREQUENCY [12.4MHz ~ 37.1MHz]

ディテールのブースト周波数を設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 22.4MHz

V DETAIL FREQUENCY [0 ~ 31]

垂直方向ディテールのブースト周波数を設定します。

0 : 低周波数



31 : 高周波数

高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果ができます。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 10

CRISP [0 ~ 63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
[DETAIL] が [On] のときに有効です。
工場出荷時の設定 : 10

CLIP(+) [0 ~ 63]

プラス方向(明るくする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

CLIP(-) [0 ~ 63]

マイナス方向(暗くする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

KNEE APERTURE LEVEL [0 ~ 39]

高輝度部のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

DETAIL KNEE [0 ~ 15]

二のディテール成分を調整します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

LEVEL DEPENDENT SWITCH [Off, On]

暗部ディテールを除去する制御の On/Off を設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: Off

LEVEL DEPENDENT [0 ~ 15]

暗部ディテールを除去するレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 8

DARK DETAIL SWITCH [Off, On]

暗部ディテールを付加する制御の On/Off を設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: Off

DARK DETAIL [0 ~ 7]

暗部ディテールのレベルを設定します。
工場出荷時の設定: 2

SKIN TONE DETAIL [Off, On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
スキントーンディテール機能の On/Off を設定します。
工場出荷時の設定: Off

MEMORY SELECT [A, B, C]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A

ZEBRA [Off, On]

スキントーンエリアのゼブラ表示の On/Off を設定します。
ゼブラパターンは、SDI OUT2 端子に接続した機器のみに表示されます。
工場出荷時の設定: Off

 **NOTE**

- [SKIN TONE DETAIL SETTING]の[ZEBRA]が[On]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY

[A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C]
ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE EFFECT MEMORY

[A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C]
スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE CRISP [0 ~ 8]

スキントーンディテールを調整します。
工場出荷時の設定: 8

I CENTER [0 ~ 255]

I 軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。
工場出荷時の設定: 65

I WIDTH [0 ~ 255]

[I CENTER]を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
工場出荷時の設定: 63

Q WIDTH [0 ~ 127]

[I CENTER]を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
工場出荷時の設定: 32

Q PHASE [0 ~ 359]

Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。
工場出荷時の設定: 90

■ SKIN TONE DETAIL SETTING

NOTE

- SKIN TONE DETAIL SETTING のすべての項目において、[V-LOG] が [On] で [V-LOG PAINT SW] が [Off] のときは設定できません。

SKIN TONE DETAIL [Off, On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。

スキントーンディテール機能の On/Off を設定します。

工場出荷時の設定：Off

MEMORY SELECT [A, B, C]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。

工場出荷時の設定：A

ZEBRA [Off, On]

スキントーンエリアのゼブラ表示の On/Off を設定します。

ゼブラパターンは、SDI OUT2 端子に接続した機器のみに表示されます。

工場出荷時の設定：Off

NOTE

- [DOWNCON SETTING] の [ZEBRA] が [On] のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY

[A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C]

ゼebra表示する肌色テーブルを選択します。

工場出荷時の設定：A+B+C

SKIN TONE EFFECT MEMORY

[A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C]

スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。

工場出荷時の設定：A+B+C

SKIN TONE CRISP [-63 ~ 0 ~ +63]

スキントーンディテールを調整します。

工場出荷時の設定：63

I CENTER [0 ~ 255]

I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。

工場出荷時の設定：65

I WIDTH [0 ~ 255]

[I CENTER]を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

工場出荷時の設定：63

Q WIDTH [0 ~ 255]

[I CENTER]を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

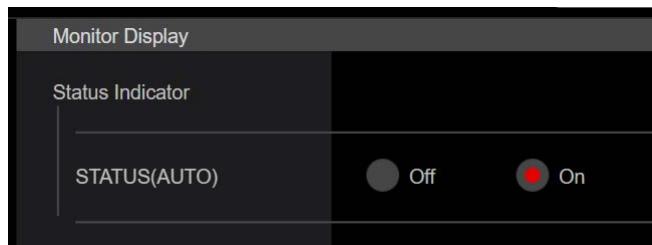
工場出荷時の設定：32

Q PHASE [0 ~ 359]

Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。

工場出荷時の設定：90

モニターディスプレイ設定画面 [Monitor Display]



Status Indicator

[On] に設定した項目に対して、所定のステータスになると、[CHAR] が [ON] かつ、[OUTPUT ITEM] が [STATUS] に設定されている端子映像に各ステータスが表示されます。

STATUS(AUTO) [Off, On]

[On] のとき、OSD にて以下のステータス表示を行います。

- オートホワイトバランスを実施した後の結果表示
- オートブラックバランスを実施した後の結果表示
- エラーが発生した時のエラー表示

工場出荷時の設定：Off

レンズ設定画面 [Lens]

設定は [Set] ボタンで確定します。

Lens			
Digital Extender	<input checked="" type="radio"/> Off	<input type="radio"/> x1.4	<input type="radio"/> x2.0
ND Filter	<input type="radio"/> THROUGH	<input checked="" type="radio"/> 1/4	<input type="radio"/> 1/16
Set			

Digital Extender [Off、×1.4、×2.0]

デジタルエクステンダー機能の設定を行います。

Off	デジタルエクステンダーの機能を Off にします。
×1.4	常にデジタルズームが 1.4 倍として動作します。
×2.0	常にデジタルズームが 2.0 倍として動作します。

工場出荷時の設定 : Off

ND Filter [THROUGH、1/4、1/16、1/64]

被写体の明るさに合わせてフィルターを選択します。

THROUGH	ND フィルターを使用しません。
1/4	MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。
1/16	MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。
1/64	MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

工場出荷時の設定 : THROUGH

連携機能 [Linkage]**トラッキングデータ出力設定画面
[Tracking Data Output]**

トラッキングデータ出力モードと、IP モード時の通信先を設定します。IP モード有効時の通知先は最大で 4 つまで設定できます。

■ Setting status

IP モード時の宛先を表示します。

Setting status		
Connection type	IP(UDP)	Off
IP out	IP address	Port
1.	192.168.0.111	1111
2.	192.168.0.112	1112
3.	192.168.0.113	1113
4.	192.168.0.114	1114

■ Connection type

Connection type		
Camera ID	255 (0-255)	Set
IP(UDP)	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off

Camera ID [0 ~ 255]

トラッキングデータの Camera ID を設定します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定 : 255

IP(UDP) [On, Off]

IP 出力から、Zoom 情報等のトラッキングデータを、Genlock 信号に同期して UDP で出力する機能の On/Off を設定します。(58 ページ)

[On] 設定時に警告メッセージが出ますので、設定を有効にする場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

工場出荷時の設定 : Off

NOTE

- [IP(UDP)] が [On] のとき、IP 配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。
IP 配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[IP(UDP)] を [Off] にすることを推奨します。
- 以下のとき、トラッキングデータの出力が遅延したり、値が更新されない場合があります。
 - IP 配信 (M-JPEG/NDI/SRT) を実施しているとき
 - Web 画面 (ライブ画面 [Live]/Web 設定画面 [Setup]) を開いているとき
 - OSD メニューの表示中
 - AWB/ABB を実行したとき
 - 赤タリーまたは緑タリー信号入力の Off/On が変わったとき
 - [SCENE] を切り替えたとき
 - [IRIS] を切り替えたとき
 - [WHITE BALANCE MODE] を切り替えたとき
 - [COLOR TEMP SETTING] の各項目を切り替えたとき
 - [Gamma] を切り替えたとき
 - [MATRIX] を切り替えたとき
 - [DIGITAL EXTENDER] を切り替えたとき
 - [FAN SETTING] を切り替えたとき
 - [Maintenance] の [Reset to the default (Except the network settings)] を行ったとき

■ IP out

IP out				
Output client select	<input checked="" type="checkbox"/> Client 1	<input type="checkbox"/> Client 2	<input type="checkbox"/> Client 3	<input type="checkbox"/> Client 4
Client 1				
IP address(IPv4)	192.168.0.111			
Port	1111	(1-65535)		
Client 2				
IP address(IPv4)	192.168.0.112			
Port	1112	(1-65535)		
Client 3				
IP address(IPv4)	192.168.0.113			
Port	1113	(1-65535)		
Client 4				
IP address(IPv4)	192.168.0.114			
Port	1114	(1-65535)		
Set				

Port

Zoom 情報等のトラッキングデータを UDP で通知する宛先のポート番号を設定します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、554、995、10669、10670、
59000～61000

工場出荷時の設定：

Client1: 1111

Client2: 1112

Client3: 1113

Client4: 1114

 **NOTE**

- IP Address とポートの組み合わせが 2 つ以上のクライアントで重複した場合は設定できません。

Output client select [Client 1 ~ 4]

[IP(UDP)] が [On] のときにトラッキングデータを通知する 4 つのクライアントの有効 / 無効を切り替えます。

ここで有効に設定したクライアントに対し、Zoom 情報等のトラッキングデータを UDP で通知します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：

Client1: 無効

Client2: 無効

Client3: 無効

Client4: 無効

 **NOTE**

- 有効なクライアントに対しシステム周波数の間隔で UDP パケットが送信されるため、通知が不要なクライアントは無効に設定してください。
- 複数のクライアントが有効になっている場合、2 つ目以降のクライアントへの UDP パケットの送信タイミングは、Genlock 信号に対して遅延が定的に発生します。
(1 クライアントごとに、約 200 ~ 300 μ sec の遅延が発生します。遅延量は本機のシステムの状態およびネットワーク環境によっては増加する場合があります。)

Client1 ~ 4**IP address (IPv4)**

Zoom 情報等のトラッキングデータを UDP で通知する宛先の IP アドレスを設定します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：

Client1: 192.168.0.111

Client2: 192.168.0.112

Client3: 192.168.0.113

Client4: 192.168.0.114

 **NOTE**

- トラッキングデータ通知先のアドレスは IPv4 のみ設定できます。
- 通知先にマルチキャストアドレスは指定できません。

ユーザー管理画面 [Access mng.]

ユーザー管理画面 [Access mng.] では、パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピューター（IP アドレス）を制限する認証登録を行います。ユーザー管理画面 [Access mng.] は、[User auth.]、[Host auth.]、[Rop] で構成されています。

ユーザー認証設定画面 [User auth.]

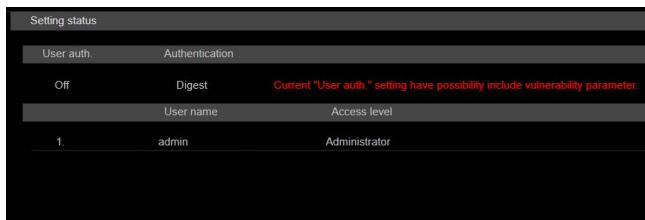
ユーザー管理画面 [Access mng.] の [User auth.] をクリックします。パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。最大 9 ユーザーまで登録できます。

NOTE

- 同じ IP アドレスのパーソナルコンピューターから 30 秒間に 8 回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

■ Setting status

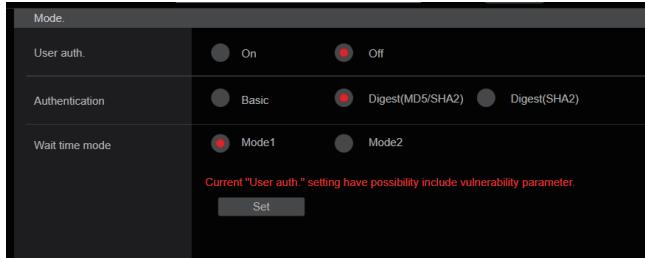
現状のユーザー認証の設定とユーザー認証方式の設定を表示します。また、現在登録されているアカウント情報を表示します。



Setting status		
User auth.	Authentication	
Off	Digest	Current "User auth." setting have possibility include vulnerability parameter.
	User name	Access level
1.	admin	Administrator

■ Mode

設定は [Set] ボタンで確定します。



Mode.		
User auth.	On	Off
Authentication	Basic	Digest(MD5/SHA2)
Wait time mode	Mode1	Mode2
Current "User auth." setting have possibility include vulnerability parameter.		
Set		

User auth. [On, Off]

ユーザー認証を行うかどうかを On/Off で設定します。

工場出荷時の設定 : Off

Authentication [Basic, Digest(MD5/SHA2), Digest(SHA2)]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Basic	ベーシック認証を使用します。
Digest(MD5/SHA2)	MD5/SHA2 どちらでも接続可能なダイジェスト認証を使用します。
Digest(SHA2)	SHA2 のみのダイジェスト認証を使用します。

工場出荷時の設定 : Digest(MD5/SHA2)

Wait time mode [Mode1, Mode2]

パーソナルコンピューターや当社製コントローラーから本機を制御する際に、ユーザー認証で認証に失敗した場合、再入力するまでの待ち時間のモードを設定します。

Mode1	[Mode2] に比べ再入力までの待ち時間が長くなります。セキュリティ面を優先される場合に推奨の設定です。
Mode2	再入力までの待ち時間が短くなります。操作性を優先される場合に推奨の設定です。

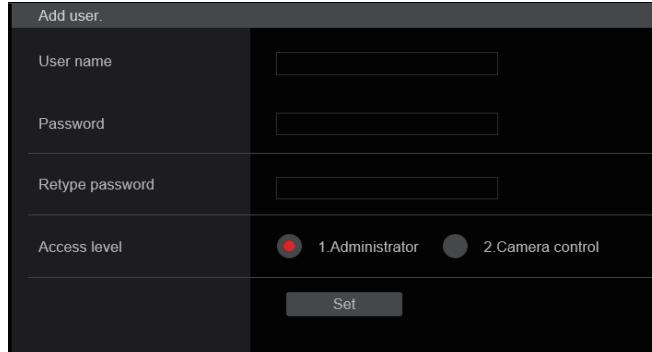
工場出荷時の設定 : Mode1

NOTE

- ROP を使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。[Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。
- ご使用の Web ブラウザによっては、ダイジェスト認証を使用して正しくアクセスできない場合があります。

■ Add user

設定は [Set] ボタンで確定します。



Add user.	
User name	<input type="text"/>
Password	<input type="password"/>
Retype password	<input type="password"/>
Access level	<input checked="" type="radio"/> 1.Administrator <input type="radio"/> 2.Camera control
Set	

User name

[半角 1 ~ 32 文字]

ユーザー名を入力します。

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字（大文字 / 小文字）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ~

Password

Retype password

[半角 4 ~ 32 文字]

パスワードを入力します。

Access level [1.Administrator, 2.Camera control]

ユーザーのアクセスレベルを設定します。

1.Administrator	本機のすべての操作を行うことができます。
2.Camera control	ライブ画面 [Live] での操作のみ行うことができます。

工場出荷時の設定 : 1.Administrator

■ Delete user

本機に登録されているユーザーアカウントを削除します。

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。



Delete user.		
User name	Access level	
1. admin	Administrator	Delete

ホスト認証設定画面 [Host auth.]

ユーザー管理画面 [Access mng.] の [Host auth.] をクリックします。
本機にアクセスできるパーソナルコンピューター（IP アドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

■ Setting status

Setting status	
Host auth.	Off
Host IP address	Access level

Host auth.

ホスト認証の設定を表示します。

Host IP address

ホストの IP アドレスを表示します。

Mode.	
Host auth.	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
<input type="button" value="Set"/>	

Host auth. [On, Off]

ホスト認証をするかどうかを On/Off で設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定 : Off

■ Add host

Add host.	
IP address	<input type="text"/>
Access level	<input checked="" type="radio"/> 1.Administrator <input type="radio"/> 2.Camera control
<input type="button" value="Set"/>	

IP address

本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピューターの IP アドレスを入力します。ホスト名を IP アドレスとして入力することはできません。

NOTE

- 「IP アドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピューターを制限できます。たとえば、「192.168.0.1/24」と入力し、[Access level] で [2.Camera control] を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のパーソナルコンピューターが [2.Camera control] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みの IP アドレスを入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

Access level [1.Administrator, 2.Camera control]

ホストのアクセスレベルを選択します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

1.Administrator	本機のすべての操作ができます。
2.Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。

工場出荷時の設定 : 2.Camera control

■ Delete host

本機に登録されているホスト情報を削除します。

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したホスト情報を削除できます。

Delete host			
	IP address	Access level	
1	192.168.0.20	Administrator	<input type="button" value="Delete"/>
2	192.168.0.30	Camera control	<input type="button" value="Delete"/>

ROP認証設定画面 [Rop]

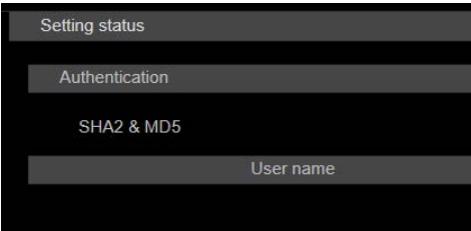
ユーザー管理画面 [Access mng.] の [Rop] をクリックします。
ROP から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大9ユーザーまで登録できます。

NOTE

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピューターから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

■Setting status

現状のユーザー認証の設定とユーザー認証方式の設定を表示します。また、現在登録されているアカウント情報を表示します。

**■Mode****Rop auth. [SHA2 & MD5、SHA2]**

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

SHA2 & MD5	SHA2/MD5どちらでもアクセス可能な設定です。
SHA2	SHA2のみアクセス可能な設定です。

工場出荷時の設定: SHA2 & MD5

■Add user

設定は [Set] ボタンで確定します。

User name**[半角1～8文字]**

ユーザー名を入力します。

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字（大文字 / 小文字）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	- _ #

Password**Retype password****[半角1～31文字]**

パスワードを入力します。

■Delete user

本機に登録されているユーザーアカウントを削除します。

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

■Common

ROPのアクセスを受け付けるポート番号を設定します。

Rop port [49152、49200～49299]

設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定: 49152

ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面 [Network] では、ネットワークに関する設定を行います。

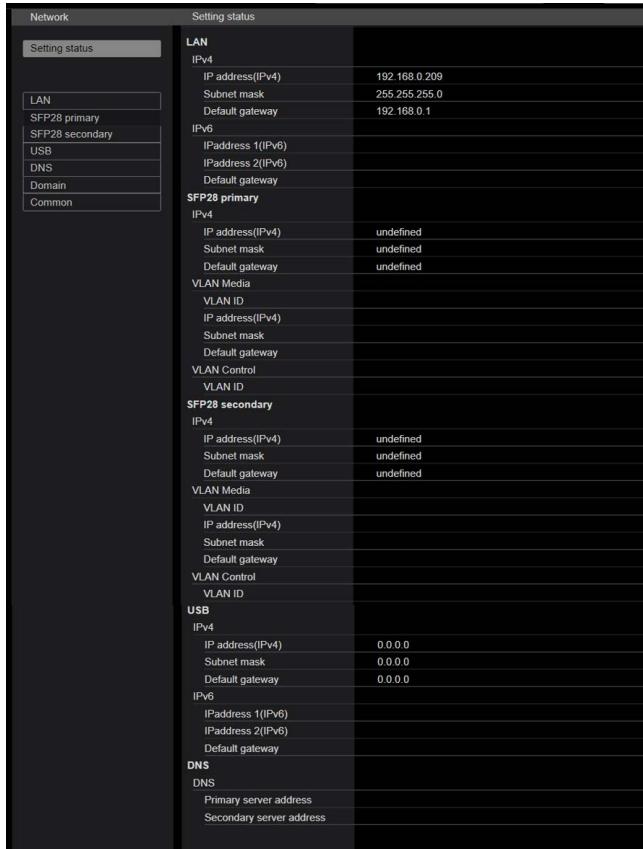
ネットワーク設定画面 [Network] は、[Network]、[Advanced] で構成されています。

ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] をクリックします。設定は各項目のページにて行います。

以降の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTP ポート
- DNS 用プライマリーサーバー アドレス、セカンダリーサーバー アドレス（DNS を使用する場合）、ドメイン



NOTE

- LAN/SFP Primary/SFP Secondary/USB で設定されている IP アドレスのサブネットが重複している場合、本機のネットワーク接続性の保証はできませんので、マニュアルで設定する IP アドレス、DHCP で割り当てられる IP アドレスに注意してください。
- サブネットが異なる IP アドレスへの接続を行う場合は、使用するインターフェースのメトリックが最小値となるように設定してください。
- 例) ドメイン名を名前解決したときの IP アドレスと接続する場合は、使用するインターフェースのメトリックを最小に設定してください。
- マルチキャスト通信を行う場合には、使用するインターフェースのメトリックを最小に設定してください。
- SFP Primary/SFP Secondary インターフェースを使用した Media over IP 機能以外のマルチキャスト通信は、行うことができません。
- 同一サブネットを設定してしまい本機へのアクセスができなくなった場合は、EasyIP Setup tool にて異なるサブネットの IP アドレスを設定し、再度 Web ページより設定の見直しをしてください。

• 各インターフェースのメトリック値を同じ値に設定している場合、本機のネットワーク接続性の保証はできませんので、マニュアルで設定する IP アドレス、DHCP で割り当てられる IP アドレスに注意してください。

■ LAN

LAN	
IPv4 network	
DHCP	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
IP address(IPv4)	192.168.0.209
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	192.168.0.1
IPv6 network	
Manual	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
IP address(IPv6)	
Default gateway	
DHCPv6	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
Metric	100 <small>(100~110)</small>
Set	

IPv4 network

DHCP [On、Off]

IP アドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定 : Off

NOTE

- [DHCP] を [On] に設定している場合、ROP からの IP アドレス自動設定 (AUTO IP) を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスを入力します。パソコンやソーナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定した IP アドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定 : 192.168.0.40

NOTE

- DHCP 機能を使用する場合でも、複数の IP アドレスは使用できません。DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP 機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定 : 255.255.255.0

Default gateway

DHCP 機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定 : 192.168.0.1

NOTE

- DHCP 機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数の IP アドレスは使用できません。
- DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPv6 network**Manual [On、Off]**

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを On / Off で設定します。

On	手動で IPv6 アドレスを入力します。
Off	IPv6 アドレスの手動入力ができません。

工場出荷時の設定 : Off

IP address(IPv6)

[Manual] を [On] に設定した場合、IPv6 アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

NOTE

- 手動設定した IP アドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6 互換のルーターを使用し、IPv6 アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6 互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含む IPv6 アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。
- リンクローカルアドレスは設定できません。

Default gateway

[IPv6 network] の [Manual] が [On] のとき、本機の IPv6 ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定 : 空欄

NOTE

- [DHCPv6] が [On] の場合はデフォルトゲートウェイの設定を行うことはできません。

DHCPv6 [On、Off]

IPv6 の DHCP 機能を使用するかどうかを On/Off で設定します。

DHCP 機能を使用しないパーソナルコンピューターと他のネットワークカメラが同じ IP アドレスにならないように、DHCP サーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

On	IPv6 の DHCP 機能を使用します。
Off	IPv6 の DHCP 機能を使用しません。

工場出荷時の設定 : Off

Metric [100 ~ 110]

本機の LAN インターフェースの優先度を設定します。

[SFP 1]/[SFP 2]/[USB] で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定 : 100

SFP Primary/SFP Secondary

設定は [Set] ボタンで確定します。

SFP Primary

IPv4 network	DHCP	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off
IP address(IPv4)	192.168.1.40		
Subnet mask	255.255.255.0		
Default gateway	192.168.1.1		
Metric	103		(100~110)
VLAN ID (Control)	10		(1~4094)
IPv4 network (VLAN Media)			
DHCP	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
IP address(IPv4)	192.168.100.30		
Subnet mask	255.255.255.0		
Default gateway	192.168.100.1		
Metric	107		(100~110)
VLAN ID (Media)	30		(1~4094)
VLAN Tag	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
Set			

SFP Secondary

IPv4 network	DHCP	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off
IP address(IPv4)	192.168.2.40		
Subnet mask	255.255.255.0		
Default gateway	192.168.2.1		
Metric	106		(100~110)
VLAN ID (Control)	20		(1~4094)
IPv4 network (VLAN Media)			
DHCP	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
IP address(IPv4)	192.168.101.30		
Subnet mask	255.255.255.0		
Default gateway	192.168.101.1		
Metric	108		(100~110)
VLAN ID (Media)	40		(1~4094)
VLAN Tag	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
Set			

IPv4 network

DHCP [On, Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

 **NOTE**

- [DHCP] を [On] に設定している場合、ROPからのIPアドレス自動設定 (AUTO IP) を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パソコン用コンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.40

 **NOTE**

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

 **NOTE**

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
- DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Metric [100 ~ 110]本機のSFP Primary用インターフェースの優先度を設定します。
[LAN]/[SFP Primary/Secondary]/[USB]で設定した値と比較し、
数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 103

VLAN ID (Control) [1 ~ 4094]

コントロール用のVLAN IDを設定します。

工場出荷時の設定: 10

IPv4 network (VLAN Media)

DHCP [On, Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

 **NOTE**

- [DHCP] を [On] に設定している場合、ROPからのIPアドレス自動設定 (AUTO IP) を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パソコン用コンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.40

 **NOTE**

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

 **NOTE**

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
- DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Metric [100 ~ 110]本機のSFPインターフェースの優先度を設定します。
[LAN]/[SFP Primary/Secondary]/[USB]で設定した値と比較し、
数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 103

VLAN ID (Media) [1 ~ 4094]

メディア配信用のVLAN IDを設定します。

工場出荷時の設定: 30

VLAN Tag [On, Off]

同インターフェース内でコントロール系/メディア系でVLANを設定する場合に[On]に設定してください。

工場出荷時の設定: Off

■ DNS

設定は [Set] ボタンで確定します。

DNS [Auto, Manual]

DNS サーバーの設定方法を選択します。

設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

工場出荷時の設定 : Manual

Primary server address

Secondary server address

DNS サーバーの IPv4/IPv6 アドレスを入力します。

DNS サーバーの IPv4/IPv6 アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

■ Domain

設定は [Set] ボタンで確定します。

Domain

本機が所属するドメインを設定します。

■ Common (IPv6/IPv4 共通)

設定は [Set] ボタンで確定します。

HTTP port [1 ~ 65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、
161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、
7960～8060、10669、10670、11900、59000～
61000

工場出荷時の設定 : 80

Max RTP packet size

[Unlimited-1500byte, Limited-1280byte]

RTP を使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する RTP パケットサイズを制限するかどうかを設定します。

Unlimited-1500byte	制限なし (1500 byte)
Limited-1280byte	制限あり (1280 byte)

工場出荷時の設定 : Unlimited-1500byte

通常は、[Unlimited-1500byte] のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited-1280byte] を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTP max segment size (MSS)

[Unlimited(1460byte), Limited(1280byte), Limited(1024byte)]

HTTP を使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ (MSS) を制限するかどうかを設定します。

Unlimited(1460byte)	制限なし (1460 byte)
Limited(1280byte)	制限あり (1280 byte)
Limited(1024byte)	制限あり (1024 byte)

工場出荷時の設定 : Unlimited(1460byte)

通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線の最大セグメントサイズ (MSS) が制限されている場合は、[Limited(1024byte)] / [Limited(1280byte)] を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Easy IP Setup accommodate period

[20min, Unlimited]

EasyIP Setup Tool Plus からネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから [20min] / [Unlimited] のどちらかに設定します。

20min	EasyIP Setup Tool Plus でのカメラ設定操作を、本機起動後 20 分間のみ有効にします。
Unlimited	EasyIP Setup Tool Plus でのカメラ設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定 : 20min

NOTE

- EasyIP Setup Tool Plus でのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバル IP アドレスをプライベート IP アドレスに変換するための機能で、「静的 IP マスカレード」や「ネットワークアドレス変換 (NAT)」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別の HTTP ポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]

ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] をクリックします。ここでは、NTP、HTTPS 機能について設定します。各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

■ NTP

ここでは、NTP サーバーのアドレスおよびポート番号など、NTP サーバーに関する設定を行います。
設定は [Set] ボタンで確定します。

NTP	
Synchronization with NTP	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
NTP server address setting	Manual
NTP server address	<input type="text"/>
NTP port	123 (1-65535)
Time adjustment interval	1h
Set	

Synchronization with NTP [On, Off]

On	NTP サーバーとの同期により自動的に調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
Off	時計設定画面 [Date&Time] で設定した時刻が、本機の標準時間として使用されます。

工場出荷時の設定 : Off

NTP server address setting [Auto, Manual]

NTP サーバーアドレスの取得方法を選択します。

Auto	DHCP サーバーから NTP サーバーアドレスを取得します。
Manual	NTP サーバーアドレスを [NTP server address] に入力して設定します。

工場出荷時の設定 : Manual

NOTE

- NTP サーバーアドレスを DHCP サーバーから取得する場合は、ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] で、[DHCP] または [DHCPv6] を [On] に設定する必要があります。(114 ページ)

NTP server address

[NTP server address setting] で [Manual] を選択した場合は、NTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数	1 ~ 128 文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号 : . _ -

工場出荷時の設定 : 空欄

NOTE

- [NTP server address] のホスト名を入力するには、ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] で [DNS] の設定を行う必要があります。(114 ページ)
- [NTP server address] にリンクローカルアドレスを設定した場合は動作しません。

NTP port [1 ~ 65535]

NTP サーバーのポート番号を入力します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定 : 123

Time adjustment interval [1h ~ 24h]

NTP サーバーから時刻を取得する間隔(1 ~ 24 時間で 1 時間単位)を選択します。

工場出荷時の設定 : 1h

■ HTTPS

HTTPS 機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

設定は [Set] ボタンで確定します。

HTTPS の設定方法については、123 ページを参照してください。

HTTPS	
CRT key generate	Execute
Self-signed Certificate Generate	Execute
Information	Confirm Delete Not generated
CA Certificate Generate Certificate Signing Request	Execute
CA Certificate install	<input type="text"/> Select Execute
Information	Confirm Delete Invalid
Connection	HTTP
HTTPS port	443 (1-65535)
HTTPS mode	TLS1.2 Set

CRT key generate

HTTPS で使用する CRT 鍵 (SSL 暗号化キー) を生成します。

CRT 鍵の生成は、[Execute] ボタンをクリックすると表示される「CRT key generate」ダイアログで行います。

詳細は「CRT 鍵 (SSL 暗号化キー) の生成」(124 ページ) を参照してください。

Self-signed Certificate - Generate

HTTPS で使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。(自己証明書)

自己証明書 (セキュリティ証明書) の生成は、[Execute] ボタンをクリックすると表示される、「Self-signed Certificate - Generate」ダイアログで行います。

詳細は「自己証明書 (セキュリティ証明書) の生成」(124 ページ) を参照してください。

Self-signed Certificate - Information

自己証明書 (セキュリティ証明書) の情報が表示されます。

[Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書 (セキュリティ証明書) の登録内容が、「Self-signed Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。

[Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書 (セキュリティ証明書) を削除します。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関(CA : Certificate Authority)によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト(CSR : Certificate Signing Request)を生成します。
署名リクエスト(CSR)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「CA Certificate - Generate Certificate Signing Request」ダイアログで行います。
詳細は「署名リクエスト(CSR)の生成」(125ページ)を参照してください。

CA Certificate - CA Certificate install

認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールおよびインストールされたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報表示を行います。
[Select]ボタンをクリックすると表示される「[ファイルを開く]」ダイアログで、認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のファイルを選択し、[Execute]ボタンをクリックするとサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールが実行されます。
サーバー証明書(セキュリティ証明書)がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。
詳細は「サーバー証明書のインストール」(126ページ)を参照してください。

CA Certificate - Information

サーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。
[Confirm]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「サーバー証明書確認」ダイアログに表示されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト(CSR)の内容が表示されます。
[Delete]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

 **NOTE**

- 有効なサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除する場合は、パソコンコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書(セキュリティ証明書)のバックアップがあることを確認してください。
再度インストールする場合に、サーバー証明書(セキュリティ証明書)が必要になります。

Connection [HTTP、HTTPS]

本機への接続方法を設定します。

HTTP	HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS	HTTPS接続のみ可能になります。

工場出荷時の設定: HTTP

詳細は「接続方法の設定」(126ページ)を参照してください。

 **NOTE**

- HTTPS接続の場合、ROPをネットワークで接続できません。

HTTPS port [1 ~ 65535]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 443 **NOTE**

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合:
HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書(セキュリティ証明書)をパソコンコンピューターにインストールしてください。(127ページ)
- サーバー証明書を使用する場合:
あらかじめご使用のWebブラウザに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。
ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

HTTPS mode [TLS1.0/1.1/1.2/1.3, TLS1.2, TLS1.3]

HTTPSでカメラにアクセスする際の暗号プロトコルを設定します。

TLS1.0/1.1/1.2/1.3	HTTPS有効時にTLS1.0/1.1/1.2/1.3での接続を許可します。
TLS1.2	HTTPS有効時にTLS1.2での接続を許可します。
TLS 1.3	HTTPS有効時にTLS1.3での接続を許可します。

工場出荷時の設定: TLS1.2

■SNMP

SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。
設定は [Set] ボタンで確定します。

SNMP	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
SNMP version	SNMPv3
User name	[Input field]
Authentication	<input type="radio"/> MD5 <input checked="" type="radio"/> SHA1 <input type="radio"/> SHA256 <input type="radio"/> SHA384 <input type="radio"/> SHA512
Encryption method	<input type="radio"/> DES <input checked="" type="radio"/> AES-128
Password	[Input field]
System name	[Input field]
Location	[Input field]
Contact	[Input field]
Set	

SNMP [On, Off]

SNMP機能を使用するか設定を行います。

工場出荷時の設定 : Off

User name

ユーザー認証用のユーザー名を設定します。

ここで設定したユーザー名と同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	0 ~ 32 文字
入力不可文字	全角

Authentication

ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。

MD5	ユーザー認証のアルゴリズムに MD5 を使用します。
SHA1	ユーザー認証のアルゴリズムに SHA1 を使用します。
SHA256	ユーザー認証のアルゴリズムに SHA256 を使用します。
SHA384	ユーザー認証のアルゴリズムに SHA384 を使用します。
SHA512	ユーザー認証のアルゴリズムに SHA512 を使用します。

工場出荷時の設定 : SHA1

Encryption method

通信で使用する暗号方式を設定します。

DES	SNMPv3の暗号通信方式に DES を使用します。
AES-128	SNMPv3の暗号通信方式に AES-128 を使用します。

工場出荷時の設定 : AES-128

Password

ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。

ここで指定したパスワードと同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	[Authentication] を [MD5] に設定した場合： 8 ~ 16 文字 [Authentication] を [SHA1] に設定した場合： 8 ~ 20 文字
入力不可文字	全角

System name

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数	0 ~ 32 文字
入力不可文字	全角

Location

本機を設置した場所を設定します。

入力可能文字数	0 ~ 32 文字
入力不可文字	全角

Contact

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

入力可能文字数	0 ~ 255 文字
入力不可文字	全角

■TSL5.0

TSLプロトコルバージョン5.0に関する設定を行います。TSL5.0機能ではTSL5.0プロトコルに対応した機器から本機のタリーを制御するため必要な情報を設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

Index number	[Input field] (1-65534)
TSL5.0 port	[Input field] (62000)
Set	

Index number [1 ~ 65534]

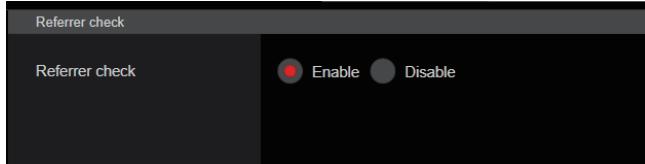
TSL5.0制御機器に設定されているINDEXと本機のIndex numberを合わせることで、個別に本機のタリーを制御することができます。
工場出荷時の設定 : 1

TSL5.0 port [1 ~ 65535]

TSL5.0プロトコルによる制御を受け付けるポート番号を設定します。
工場出荷時の設定 : 62000

■ Referrer check

Referrer check を有効にすることで、カメラに対するアクセス要求元が正当なものであるか確認することができます。
不正なアクセス元と判断された場合は、アクセスを拒否します。
ご使用していただく環境によっては Referrer check が有効な場合、本機にアクセスできない場合があります。
その場合は、Referrer check を無効にすることでアクセスが可能になりますが、不正なアクセス元か判断ができなくなります。

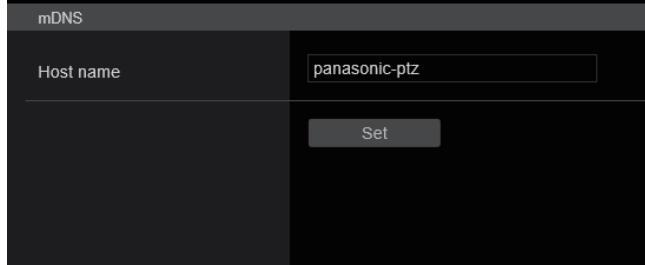


Enable	Referrer check 機能を使用します。
Disable	Referrer check 機能を使用しません。

工場出荷時の設定 : Enable

■ mDNS

[mDNS] の [Host name] を設定することで、本機に対して <http://Host name.local> でアクセスすることが可能になります。
設定は [Set] ボタンで確定します。



入力可能文字数	63 文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号 : -

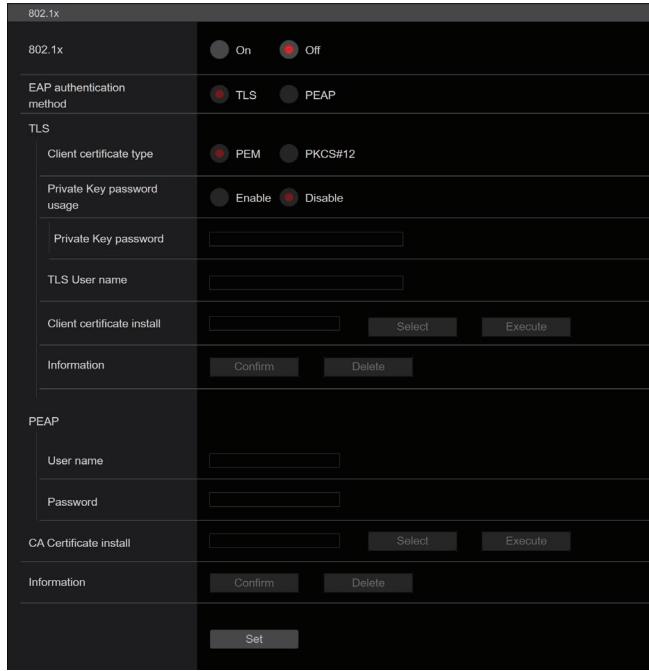
工場出荷時の設定 : panasonic-ptz

NOTE

- 同一ネットワーク内に同じ設定のカメラがあった場合の動作は、保証いたしません。

■ 802.1X

IEEE 802.1X クライアントの設定を行います。
設定は [Set] ボタンで確定します。



NOTE

- 設定には、802.1Xに関する知識が必要になります。
詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機能を用いたシステムを構成するには、認証サーバー、Authenticatorの設定が、別途必要です。
詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 802.1Xが有効になっているシステム構成では、ROPからカメラを制御することができません。
- 設定前に、[Date&Time] 設定画面または [NTP] 設定画面にて本機の時刻設定を行ってください。
本機の時刻設定が正しく行われていない場合、正しく動作しない場合があります。
- 設定前に、[Date&Time] 設定画面の [Memory] を [Enable] に設定してください。

802.1x [On, Off]

802.1X機能を使用するかどうかの設定を行います。

工場出荷時の設定 : Off

EAP authentication method [TLS、PEAP]

802.1X機能で用いる認証方式の設定を行います。

本機では、TLS または PEAP を用いた認証方式に対応しています。

工場出荷時の設定 : TLS

NOTE

- 認証サーバーで許可されている認証方式と一致しない場合、正しく動作しない場合があります。

TLS

TLS認証方式を用いた場合の設定を行います。

Client certificate type [PEM、PKCS#12]

TLS認証で用いるクライアント証明書の方式の設定を行います。本機では、PEM、PKCS#12方式に対応しています。

 NOTE

- ・秘密鍵を用いる場合は、クライアント証明書内に秘密鍵情報が含まれている必要があります。
[Private Key password usage] を [Enable] に設定し、正しいパスワードを設定してください。
- ・PKCS#12方式でクライアント証明書をインストールする場合、[Private Key password usage] を [Enable] に設定し、正しいパスワードを設定する必要があります。
- ・PKCS#12方式を選択した場合、PKCS#12のパスワードと[Private Key password] を一致させる必要があります。

Private Key password usage [Enable、Disable]

クライアント証明書に秘密鍵を使用するかどうかの設定を行います。

Enable	秘密鍵を使用するときに選択します。
Disable	秘密鍵を使用しないときに選択します。

 NOTE

- ・[Enable] を選択した場合、[Private Key password] で正しい値を設定する必要があります。

Private Key password

秘密鍵に設定したパスワードの設定を行います。

 NOTE

- ・PKCS#12方式のクライアント証明書をインストールする場合は、PKCS#12に設定したパスワードと同一のものを入力してください。

TLS User name

TLS認証で許可されるユーザー名を設定します。

 NOTE

- ・有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Client certificate install

クライアント証明書をインストールします。

 NOTE

- ・クライアント証明書は、認証局より発行された正しいものをインストールしてください。
- ・証明書をインストールする前に [Client certificate type]、[Private Key password usage]、[Private Key password] の設定が完了していることを確認してください。
- ・上記設定がされていない状態では、証明書が正しくインストールされない場合があります。

PEAP

PEAP認証方式を用いた場合の設定を行います。

User name

PEAP認証で許可されるユーザー名を設定します。

 NOTE

- ・有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Password

PEAP認証でUser nameにひもづくパスワードを設定します。

 NOTE

- ・有効なパスワードについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

CA Certificate install

IEEE 802.1X認証で用いるCA証明書をインストールします。

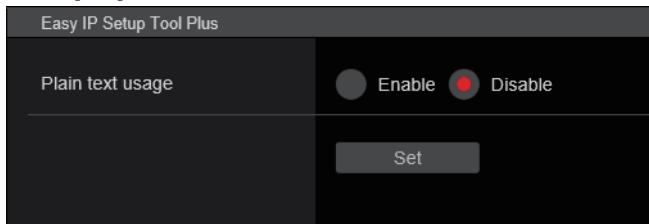
 NOTE

- ・CA証明書は、正しい認証局より発行されたものをインストールしてください。

■ Easy IP Setup Tool Plus

Easy IP Setup Tool Plus関連の設定を行います。

設定は [Set] ボタンで確定します。

**Plain text usage [Enable、Disable]**

Easy IP Setup Tool Plusとの通信を暗号化するかどうかの設定を行います。

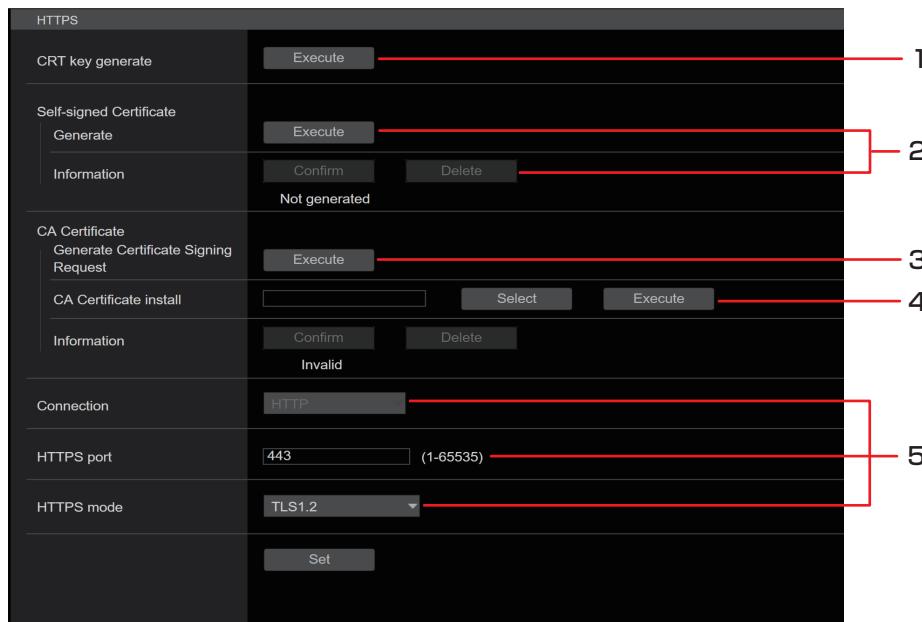
工場出荷時の設定：Disable

HTTPSの設定方法 [HTTPS]

カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるための HTTPS を設定します。

HTTPS の設定は次の手順で行います。

設定は [Set] ボタンで確定します。



1. CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成
(124ページ)

自己証明書を使用する場合

2. 自己証明書(セキュリティ証明書)
の生成(124ページ)

サーバー証明書を使用する場合

3. 署名リクエスト(CSR)
の生成(125ページ)

認証機関への申請～
サーバー証明書の発行

4. サーバー証明書のインストール
(126ページ)

5. 接続方法の設定(126ページ)

HTTPSでカメラにアクセスする

NOTE

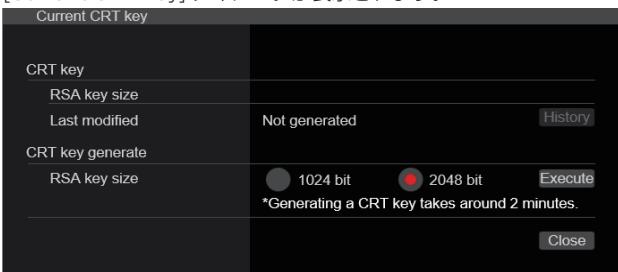
- ・サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- ・自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成 [CRT key generate]

NOTE

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合には2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、Webブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1.[CRT key generate] の [Execute] ボタンをクリックする [Current CRT key] ダイアログが表示されます。



2.[CRT key generate] - [RSA key size] で、生成する CRT鍵の長さを [1024bit] / [2048bit] から選択する

NOTE

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3.[Execute] ボタンをクリックする

CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[Current CRT key] に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

NOTE

- 生成したCRT鍵を変更(更新)したい場合は、手順1~3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらためて自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
 - CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1分履歴管理しています。[Current CRT key] ダイアログの [CRT key] で [History] ボタンをクリックすると、[Previous CRT key] ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。
- [Previous CRT key] で、[Apply] ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵に入れ替えることができます。



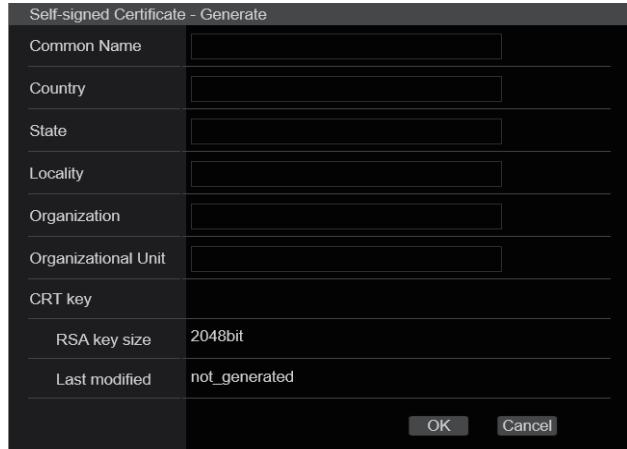
自己証明書(セキュリティ証明書)の生成 [Self-signed Certificate - Generate]

NOTE

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1.[Self-signed Certificate] - [Generate] の [Execute] ボタンをクリックする

[Self-signed Certificate - Generate] が表示されます。



2.生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64 文字
Country	国別記号を入力します。 (省略可能)	2 文字 : 国名コード (日本の場合 : JP)
State	都道府県名を入力します。 (省略可能)	128 文字
Locality	市区町村名を入力します。 (省略可能)	128 文字
Organization	組織名を入力します。 (省略可能)	64 文字
Organizational Unit	部署名を入力します。 (省略可能)	64 文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

NOTE

- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit] で入力可能な文字は、0 ~ 9 (半角)、A ~ Z (半角)、a ~ z (半角)、半角記号 - _ , + / () です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[Common Name] にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [Common Name] に IPv6 アドレスを入力する場合は、アドレスを [] で囲んでください。
例 : [2001:db8::10]

3. 入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックする

自己証明書が生成されます。



- 生成した自己証明書の情報は、[Self-signed Certificate] – [Information] に表示されます。自己証明書（セキュリティ証明書）の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Not generated	自己証明書が生成されていない場合
Invalid (Reason: CA Certificate installed)	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 ・この場合、サーバー証明書が有効になります。
自己証明書の [Common Name]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、[Self-signed Certificate – Confirm] ダイアログに表示されます。

Self-signed Certificate - Confirm	
Common Name	panasonic.com
Country	
State	
Locality	
Organization	
Organizational Unit	
CRT key	
RSA key size	2048bit
Last modified	2018/01/01 00:42:00

Close

- [Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、自己証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。

署名リクエスト (CSR) の生成 [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]



- CRT 鍵が生成されていない場合、署名リクエスト (CSR) の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト (CSR) を生成する場合、Web ブラウザのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの [ツール] – [インターネットオプション] – [セキュリティ] タブで、以下の設定を行ってください。
 - カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
 - [レベルのカスタマイズ] で [ダウンロード] – [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に設定する。
 - [レベルのカスタマイズ] で [ダウンロード] – [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示] を [有効にする] に設定する。

1. [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] の [Execute] ボタンをクリックする

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] ダイアログが表示されます。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request	
Common Name	
Country	
State	
Locality	
Organization	
Organizational Unit	
CRT key	
RSA key size	2048bit
Last modified	not_generated

OK Cancel

2. 生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64 文字
Country	国別記号を入力します。	2 文字：国名コード（日本の場合：JP）
State	都道府県名を入力します。	128 文字
Locality	市区町村名を入力します。	128 文字
Organization	組織名を入力します。	64 文字
Organizational Unit	部署名を入力します。	64 文字
CRT key	現在の CRT 鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	



- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit] で入力可能な文字は、0 ~ 9 (半角)、A ~ Z (半角)、a ~ z (半角)、半角記号 - _ + / () です。

3. 入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

4. [名前を付けて保存] ダイアログで、署名リクエスト (CSR) にファイル名を付け、パーソナルコンピューターに保存する

保存した署名リクエスト (CSR) を使用して認証機関に申請します。



- 生成した署名リクエスト (CSR) と CRT 鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT 鍵を生成／更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。
- 本機で生成する署名リクエスト (CSR) は、PEM 形式です。

サーバー証明書のインストール [CA Certificate - CA Certificate install]

NOTE

- 署名リクエスト (CSR) が生成されていない場合、サーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1. [CA Certificate - CA Certificate install] の [Select] ボタンをクリックする

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2. サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックする

サーバー証明書がインストールされます。

NOTE

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA Certificate] – [Information] に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Invalid	サーバー証明書がインストールされていない場合
サーバー証明書の [Common Name]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
Expired	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

• [Confirm] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の内容が、「CA Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。（[Organizational Unit] の欄のみアスタリスクが表示されます。）

- [Delete] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、サーバー証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、手順 1 ~ 手順 2 の操作を行います。
- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、パソコンコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS 機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法が HTTP に変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

接続方法の設定 [Connection]

1. [Connection] で、カメラへのアクセス方法を設定する

HTTP: HTTP 接続のみ可能になります。
HTTPS: HTTPS 接続のみ可能になります。

NOTE

- HTTPS 接続の場合、ROP をネットワークで接続できません。

2. [HTTPS port] に、HTTPS で使用するポート番号を設定する

設定可能なポート番号: 1 ~ 65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 443, 546, 547, 554, 995, 5960 ~ 5985, 7960 ~ 8060, 10669, 10670, 11900, 59000 ~ 61000

工場出荷時の設定: 443

3. [HTTPS mode] に、HTTPS で使用する暗号プロトコルを設定する

TLS1.0/1.1/1.2: TLS1.0/1.1/1.2 で接続可能になります。
TLS1.2: TLS1.2 で接続可能になります。

4. [Set] ボタンをクリックする

カメラが再起動し、HTTPS でのカメラへのアクセスが有効になります。

NOTE

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。

・自己証明書を使用する場合

HTTPS でカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をパソコンコンピューターにインストールしてください。（127 ページ）

・サーバー証明書を使用する場合

あらかじめご使用の Web ブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。

- HTTPS でカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

HTTPS でカメラにアクセスする

1. パソナルコンピューターで Web ブラウザーを起動する

2. カメラの IP アドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力する

入力例: https://192.168.0.40/

NOTE

- HTTPS ポートの番号が「443」から変更されている場合は、「https:// カメラの IP アドレス : ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。

例: https://192.168.0.11:61443

- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー（メニューバーの [ツール] – [インターネットオプション]）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3. [Enter] キーを押す

ライブ画面 [Live] が表示されます。

セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。（127 ページ）

[User auth.] を [On] に設定した場合、ライブ画面 [Live] が表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

NOTE

- HTTPS を使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も遅くなることがあります。

■セキュリティ証明書のインストール

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がパーソナルコンピューターにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。

NOTE

- [Common Name]に設定している内容でセキュリティ証明書がパーソナルコンピューターにインストールされます。そのため、「ホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス／ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス／ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、[Common Name]には、インターネットからアクセスするアドレス／ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたWebブラウザーのアドレスボックスに鍵のアイコンが表示されます。

1. HTTPSでカメラにアクセスする

2. セキュリティ警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)]をクリックする



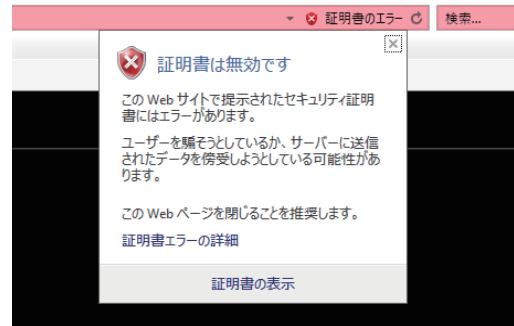
ライブ画面[Live]が表示されます。

なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

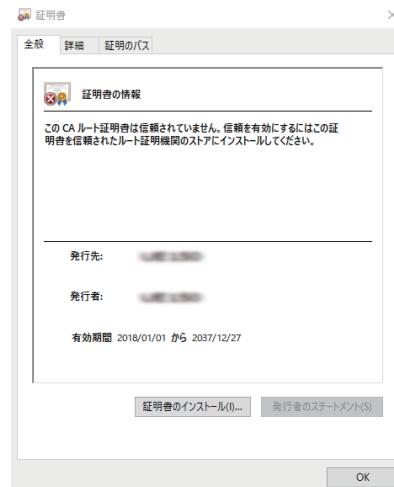
NOTE

- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3. URL上の[証明書のエラー]をクリックし、[証明書の表示]をクリックする



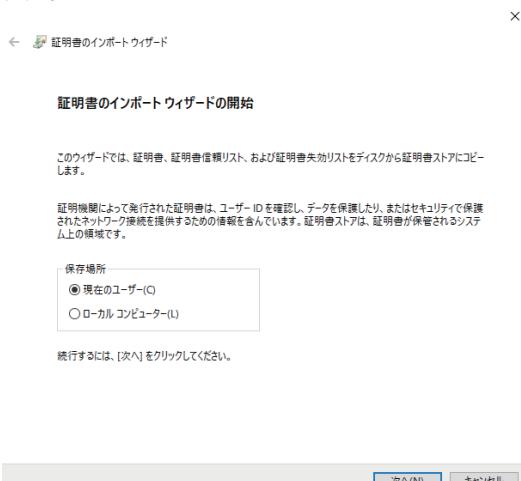
4. [証明書のインストール(I)...]をクリックする



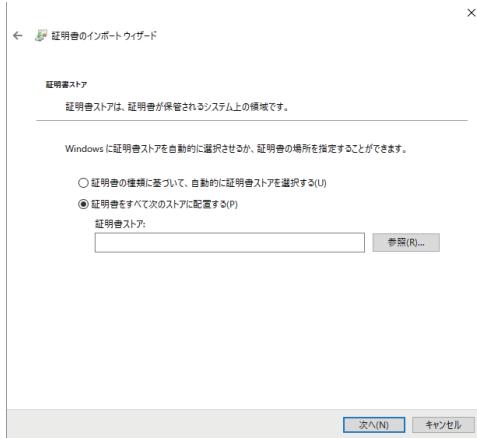
NOTE

- [証明書のインストール(I)...]が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、[管理者として実行(A)...]を選択し起動してください。
- [スタート] - [プログラム] - [Internet Explorer]を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。

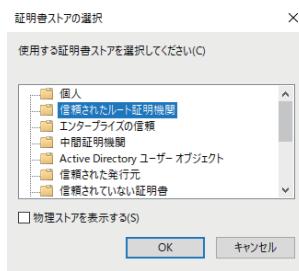
5. 証明書のインポートウィザードに表示される[次へ(N)]をクリックする



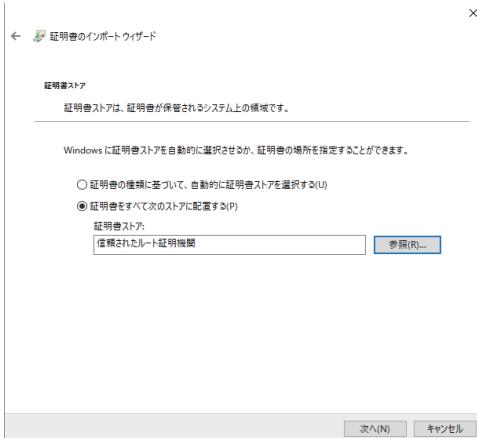
6. [証明書をすべて次のストアに配置する(P)] を選択し、[参照(R)...] をクリックする



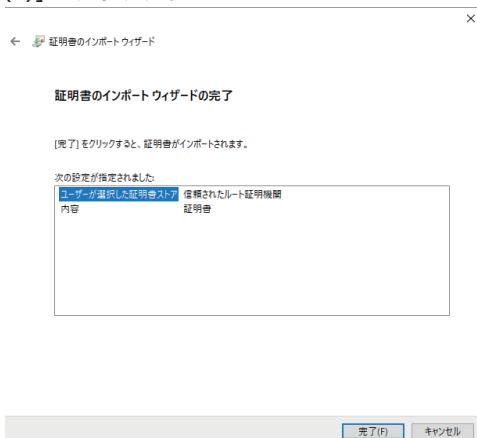
7. [信頼されたルート証明機関] を選択し、[OK] をクリックする



8. [次へ(N)] をクリックする



9. [完了(F)] をクリックする

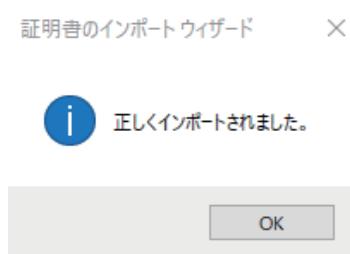


10. [はい(Y)] をクリックする



インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11. [OK] をクリックする



証明書をインポートしたあと Web ブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

メンテナンス画面 [Maintenance]

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。
[System log]、[Maintenance]、[Product info.]、[Backup] の4つの設定で構成されています。

システムログ画面 [System log]

本機の内部メモリーに最大1000件のイベントログと最大100件のエラーログを保存できます。
保存できるログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。本機の電源を切っても、ログは保存されます。

System log				
System log		Event log	Execute	
No.	Date & Time	Operation time	Event code	Description
1	JAN/02/2020 23:40	00000047	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 210 160 8.66
2	JAN/02/2020 23:40	00000047	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 210 160 8.66
3	JAN/02/2020 23:37	00000047	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 210 160 8.66
4	JAN/02/2020 23:37	00000047	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 210 160 8.66
5	JAN/02/2020 23:36	00000047	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 210 160 8.66
6	JAN/02/2020 23:36	00000047	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 210 160 8.66
7	JAN/02/2020 23:38	00000047	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 210 160 8.66
8	JAN/02/2020 23:27	00000047	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 210 160 8.66
9	JAN/02/2020 23:26	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210 160 8.66
10	JAN/02/2020 23:25	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210 160 8.66
11	JAN/02/2020 23:24	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210 160 8.66
12	JAN/02/2020 23:20	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210 160 8.66
13	JAN/02/2020 23:19	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210 160 8.66
14	JAN/02/2020 23:19	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210 160 8.66
15	JAN/02/2020 23:18	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210 160 8.66
16	JAN/02/2020 23:18	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210 160 8.66
17	JAN/01/2020 00:07	00000001	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 126 199 203 224
18	JAN/01/2020 00:04	00000001	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 126 199 203 224
19	JAN/01/2020 00:03	00000001	W0002	<Power> Power on.
20	JAN/01/2020 00:00	00000001	W0001	<Power> Power off.
21	JAN/01/2020 00:01	00000001	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 192 160 8.144
22	JAN/01/2020 00:01	00000001	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 192 160 8.144
23	JAN/01/2020 00:00	00000001	W0002	<Power> Power on.
24	JAN/01/2020 00:00	00000001	W0001	<Power> System start.
25	JAN/01/2020 01:16	00000001	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 192 160 8.144
26	JAN/01/2020 01:16	00000001	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 192 160 8.144
27	JAN/01/2020 00:03	00000000	W1314	<Stream> Mjpeg ch1 Stop. 192 160 8.144
28	JAN/01/2020 00:03	00000000	W1311	<Stream> Mjpeg ch1 Play. 192 160 8.144

NOTE

- システムログ画面を表示したときは、イベントログの表示になります。

System log [Event log, Error log1, Error log2]

イベントログとエラーログの表示を切り替えます。

[Execute] ボタンをクリックすると、イベントログの表示が更新されます。

Event log	イベントログを表示します。
Error log1	エラーログを表示します。
Error log2	エラーログを表示します。

[Event log]

No.

ログの通し番号が表示されます。

「1」が最新情報を示し、最大1000件までログを保存できます。

Date & Time

イベントの発生日時が表示されます。

イベントの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

イベントの発生日時が表示されます。

イベントの発生日時は、本機のアワーメーター(0h ~ 99999h)で表示されます。

Event code

イベントのコード番号が表示されます。

Description

イベントの内容が表示されます。

表示例 :

- <Power> Power on.
- <Stream> H.264 ch1 Play.
- <Stream> H.264 ch1 Stop.

[Error log1, Error log2]

No.

ログの通し番号が表示されます。

「1」が最新情報を示し、最大100件までログを保存できます。

Date & Time

エラーの発生日時が表示されます。

エラーの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

エラーの発生日時が表示されます。

エラーの発生日時は、本機のアワーメーター(0h ~ 99999h)で表示されます。

Error code

エラーのコード番号が表示されます。

Error description

エラーの内容が表示されます。

表示例 :

- Temp Sensor Error

メンテナンス画面 [Maintenance]

本機の設定データの初期化、本機の再起動などを行います。

Maintenance	
Fan	<input checked="" type="radio"/> Normal <input type="radio"/> Powerful
Reset to the default (Except the network settings)	<input type="button" value="Execute"/>
Reboot	<input type="button" value="Execute"/>

Fan [Normal、Powerful]

冷却ファンの動作を設定します。

Reset to the default (Except the network settings)

[Execute] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。

初期化動作を行うと、本機を再起動しますので、約2分間は操作できません。

NOTE

- 次の設定項目は初期化されません。
 - [Live page - Automatic installation of viewer software]
 - [Live page - Smoother live video display on the browser(buffering)]
 - [Access mng.] 以下のすべての項目
 - [Network - Network] 以下のすべての項目
 - [HTTPS - Connection]
 - [HTTPS - HTTPS port]
 - [HTTPS - HTTPS mode]
 - HTTPS : CRT 鍵、サーバー証明書
 - [UPnP] 以下のすべての項目
- [AWB] および [ABB] の調整値は、初期化されません。
- [Format] と [Frequency] の設定内容 (80ページ) は、初期化されません。

Reboot

[Execute] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
再起動後は、本機の電源をONしたときと同様、約2分間操作できません。

製品情報確認画面 [Product info.]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。
[Model no.]、[MAC address(LAN)]、[MAC address(SFP PRI)]、
[Serial no.]、[Firmware version] など本機の各情報が表示されます。

Product info.	
Model no.	[Redacted]
MAC address(LAN)	00-80-45-2F-3B-82
MAC address(SFP PRI)	00-80-45-2F-3B-83
MAC address(SFP SEC)	00-80-45-2F-3B-84
Serial no.	UBXES1-07
Firmware version	V00.19-000-00.00 NDI * This product is compatible with NDI technology of Vizrt NDI AB. MoIP Activated
Activation	
Operation time	273h
Viewer software installation counter	0
OSS license display	<input type="button" value="View"/>
Firmware file	<input type="button" value="Select"/>
<input type="button" value="Execute"/>	

Model no.

本機の品番が表示されます。

MAC address(LAN)

本機の LAN の MAC アドレスが表示されます。

MAC address(SFP PRI)

本機の SFP1 の MAC アドレスが表示されます。

MAC address(SFP SEC)

本機の SFP2 の MAC アドレスが表示されます。

Serial no.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Operation time

本機が動作した時間を表示します。

Viewer software installation counter

本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

OSS license display

[View] ボタンを押すと、OSS ライセンスを表示します。
OSS ライセンスの表示画面を閉じる時は [Close] ボタンを押してください。

Firmware file

ファームウェアのバージョンアップを行います。
バージョンアップの方法については、「ファームウェア (Firmware file) のバージョンアップ」(131ページ) をご参照ください。

■ファームウェア (Firmware file) のバージョンアップ

1.最新のソフトウェアをパーソナルコンピューターにダウンロードする

NOTE

- 保存ディレクトリ名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。

2.[Select] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する

3.[Execute] ボタンをクリックする

バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。

バージョンアップを行った後は、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

NOTE

- [Execute] ボタンをクリックした後、バージョンアップ処理中を示すプログレスバーが表示されるまで、1分程度かかることがあります。
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるパーソナルコンピューターで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定の下記ファイルを使用してください。

UPDATE.bin

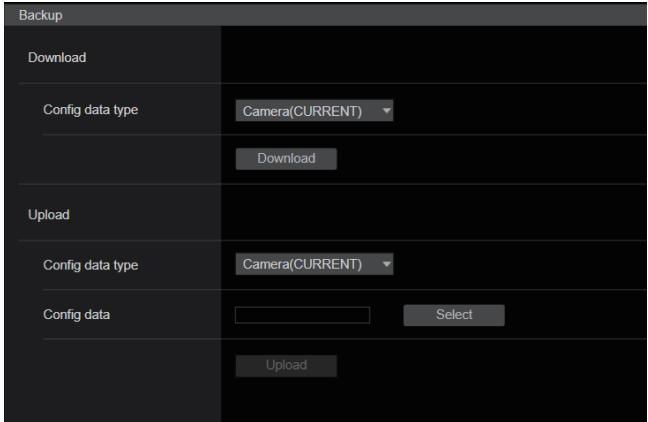
- バージョンアップ中は、本機の状態表示ランプが以下の状態になります。

- 橙色点滅：ファイル転送中
- 赤色点滅：データ書込中

- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。(完了したことを示すポップアップ画面が表示されるまで)
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでは一切の操作を行わないでください。
- バージョンアップを行った後は、Web ブラウザーを一度閉じてください。
- 本機のバージョンアップには、最大1時間程度を要する場合があります。
- [DHCP] が [On] になっている状態でバージョンアップを行うと、バージョンアップ後の再起動時に本機の IP アドレスが変更される場合があります。その場合、Web ブラウザーにてバージョンアップ完了を示すポップアップ画面が表示されずに、タイムアウトが発生する場合があります。本機の状態表示ランプにてバージョンアップ完了を確認してください。

バックアップ画面 [Backup]

本機の設定をパーソナルコンピューターに保存したり、パーソナルコンピューターに保存してある設定を本機に適用することができます。



Download

Config data type
[Camera(CURRENT)、
Camera(SCENE1)～Camera(SCENE8)、
Camera(USER1)～Camera(USER3)、
Camera(LENS1)～Camera(LENS32)、
Camera(OPTIONAL)、Network、Camera(All)、
Camera(All Scene)、Camera(All User)、Camera(All Lens)]
本機の設定をパーソナルコンピューターに保存する際の設定データの種別を指定します。

設定値	保存される内容	保存ファイル拡張子
Camera(CURRENT)	現在の設定内容	.cs
Camera(SCENE1)	Scene1 の設定内容	.cs
:	:	:
Camera(SCENE8)	Scene8 の設定内容	.cs
Camera(USER1)	User1 の設定内容	.us
Camera(USER2)	User2 の設定内容	.us
Camera(USER3)	User3 の設定内容	.us
Camera(LENS1)	LENS1 の設定内容	.lns
:	:	:
Camera(LENS32)	LENS32 の設定内容	.lns
Camera(OPTIONAL)	Operation の設定内容	.ope
Network	Web 画面での設定内容 ネットワークの設定内容	.nal
Camera(All)	すべての Scene、User、 LENS の設定内容	.cs .us .lns
Camera(All Scene)	Scene1 ～ 8 の設定内容	.cs
Camera(All User)	User1 ～ 3 の設定内容	.us
Camera(All Lens)	LENS1 ～ 32 の設定内容	.lns

Download

本機の設定をパーソナルコンピューターに保存します。
[Download] ボタンで保存先ダイアログ画面を表示したら、保存先のフォルダーを指定します。

NOTE

- [Download] ボタンをクリックしてから保存先ダイアログ画面が表示されるまで、カメラの設定ファイルの場合で約50秒、ネットワークの設定ファイルの場合で約10秒かかります。
- 本機の状態によっては、設定ファイルをダウンロードできないことがあります。この場合、本機は自動的に再起動します。

Upload

Config data type
 [Camera(CURRENT)、
 Camera(SCENE1)～Camera(SCENE8)、
 Camera(USER1)～Camera(USER3)、
 Camera(LENS1)～Camera(LENS32)、
 Camera(OPTION)、Network、Camera(All)、
 Camera(All Scene)、Camera(All User)、Camera(All Lens)]
 パーソナルコンピューターに保存した設定データを本機に反映する
 ときの、設定データの種別を指定します。

設定値	アップロード可能なファイル拡張子
Camera(CURRENT)	.cs
Camera(SCENE1)	.cs
⋮	⋮
Camera(SCENE8)	.cs
Camera(USER1)	.us
Camera(USER2)	.us
Camera(USER3)	.us
Camera(LENS1)	.lns
⋮	⋮
Camera(LENS32)	.lns
Camera(OPTION)	.ope
Network	.nal
Camera(All)	.cs .us .lns
Camera(All Scene)	.cs
Camera(All User)	.us
Camera(All Lens)	.lns

Upload

ダウンロード機能でパーソナルコンピューターに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[Select] ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Upload] ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。アップロード完了後にメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、本機は自動的に再起動します。

 **NOTE**

- ・アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
- ・ダウンロード／アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ・ダウンロード／アップロード中は、ダウンロード／アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- ・カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約3分かかります。

第7章 メンテナンス

本機のワーニング表示やアフターサービスについて説明します。

故障かな？と思ったら

操作関係

症状	原因・対策
電源が入らない	電源コードがコンセントに確実に接続されていますか？
IP 接続した ROP から操作できない	<p>電源は入っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源ランプが消灯の場合は、本機の電源が入っていません。 <p>本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？</p> <p>操作したい本機を正しく選んでいますか？</p> <p>ROP と正しく接続されていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ROP の取扱説明書も参照してください。 <p>本機のダイジェスト認証が ON ([User auth.] が [On] で [Authentication] が [Digest]) で、[Wait time mode] が [Mode1] の設定になってしまですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ROP を使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。 <p>[Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。</p> <p>本機に対応するための ROP のバージョンアップが必要なことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売店にご相談ください。
Web ブラウザーからアクセスできない	<p>〈LAN〉端子にカテゴリー 5e 以上の LAN ケーブルを使って接続していますか？</p> <p>〈LAN〉端子のランプは点灯していますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 消灯している場合は、LAN に正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 <p>LAN ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。</p> <p>電源は入っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機の〈POWER〉ランプが消灯している場合は、本機の電源が入っていません。 <p>本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？</p> <p>間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？(Windows)</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows のコマンドプロンプトで >ping [本機に設定した IP アドレス] を実行し、本機から応答が返ってくると、正常に動作しています。 <p>応答が返ってこない場合は、本機を再起動し、20 分以内に EasyIP Setup Tool Plus を使って、IP アドレスを変更してください。</p> <p>間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？(Mac)</p> <ul style="list-style-type: none"> OS X のターミナルで >ping -c 10 [本機に設定した IP アドレス] を実行し、本機から応答が返ってくると、正常に動作しています。 <p>応答が返ってこない場合は、本機を再起動し、20 分以内に EasyIP Setup Tool Plus を使って、IP アドレスを変更してください。</p> <p>HTTPS 機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> HTTPS をご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 <p>ポート番号に 554 を設定していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> HTTP ポート番号は、本機で使用する次のポート番号以外を使用してください。 [20], [21], [23], [25], [42], [53], [67], [68], [69], [110], [123], [161], [162], [554], [995], [10669], [10670], [49152], [59000]…[59999], [60000]…[61000] <p>設定した IP アドレスが他の機器と重複していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機およびアクセス機器（パーソナルコンピューター、コントローラーなど）、他のカメラの IP アドレスを確認してください。 <p>設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 <p>Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」の設定になっていませんか？(本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> Web ブラウザーの「プロキシ設定」でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機の IP アドレスをプロキシから外すアドレスに設定することをお勧めします。 <p>本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていませんか？(本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
Web 設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	<p>パーソナルコンピューターのキーボードの F5 キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Windows)</p> <p>パーソナルコンピューターのキーボードの Command+R キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Mac)</p> <p>以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。(Windows)</p> <ol style="list-style-type: none"> Microsoft Edge で [...] - [履歴] を選択する [...] - [閲覧データをクリア] を選択する [閲覧の履歴][ダウンロードの履歴][Cookie およびその他のサイトデータ][キャッシュされた画像とファイル] のチェックボックスをオンにして [今すぐクリア] をクリックする <p>次の手順でインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。(Mac)</p> <ol style="list-style-type: none"> Safari で [Safari] - [キャッシュを空にする] を選択する。 [閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。

症状	原因・対策
	<p>ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。
設定ファイルのダウンロードができない	<p>ポップアップがブロックされていませんか？(Windows) 以下の手順をおこなってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Microsoft Edgeで[...] - [設定]を選択する [Cookieとサイトのアクセス許可]を選択する [ポップアップとリダイレクト]を選択する [ブロック(推奨)]をオフにする
認証画面が連続して表示される	<p>ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機にアクセス中に、異なるWebブラウザーでログイン中のユーザーに対するユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたるたびに、認証画面が表示されます。 <p>Webブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。</p>
	<p>ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> [User auth.] - [Authentication]の設定を変更した場合は、Webブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。
画面表示に時間がかかる	<p>同じローカルネットワークの本機をプロキシー経由でアクセスしていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> プロキシーを経由しないようにWebブラウザーの設定をしてください。 <p>HTTPSモードでアクセスしていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。 <p>複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP映像の更新速度が遅くなったりすることがあります。

IP映像関係

症状	原因・対策
画像がぼやける	<p>フォーカスは正しく調整されていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカス調整を確認してください。
画像が更新されない	<p>ご使用のWebブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生することがあります。</p> <p>ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まることがあります。本機のIP映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機へのアクセス状況を確認し、中断できるアクセスを停止してください。その後、パーソナルコンピューターのキーボードのF5キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Windows) 本機へのアクセス状況を確認し、中断できるアクセスを停止してください。その後、パーソナルコンピューターのキーボードのCommand+Rキーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Mac)
画像がうまく更新されない、表示されない	<p>以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。(Windows)</p> <ol style="list-style-type: none"> Microsoft Edgeで[...] - [履歴]を選択する [...] - [閲覧データをクリア]を選択する [閲覧の履歴][ダウンロードの履歴][Cookieおよびその他のサイトデータ][キャッシュされた画像とファイル]のチェックボックスをオンにして[今すぐクリア]をクリックする <p>次の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。(Mac)</p> <ol style="list-style-type: none"> Safariで[Safari] - [キャッシュを空にする]を選択する。 [キャッシュを空にしてもよろしいですか？]ポップアップの[空にする]ボタンをクリックする。 <p>ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。
画像が乱れる	<p>伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク管理者にお問い合わせください。 <p>伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピューター側で同一のものにすると回避することができます。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
NDI High Bandwidth対応アプリケーションで映像が停止する	<p>パーソナルコンピューターと本機を市販のUSB LAN変換アダプターを使用して接続している場合、パーソナルコンピューター側のネットワーク不具合によって映像が停止する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> この現象が発生した場合は、最初にパーソナルコンピューターの本機と接続しているネットワークアダプターを無効化し、[Video over IP]の[Streaming mode]を[H.264]に切り替えてください。その後、無効化したネットワークアダプターを再度有効化し、[Streaming mode]を[NDI High Bandwidth]に変更すると映像が出力されます。

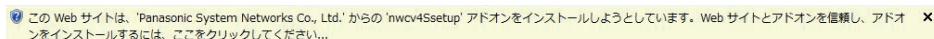
Web画面

お使いのパーソナルコンピューターのOSによっては、次の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。

なお、これらの対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

ここでの説明で使用している「情報バー」とは、Microsoft Edgeに表示されるメッセージバーのことです。(Windows)

■ Microsoft Edge



この Web サイトは、「Panasonic System Networks Co., Ltd.」からの 'nwcv4Ssetup' アドオンをインストールしようとしています。Web サイトとアドオンを信頼し、アドオンをインストールするには、ここをクリックしてください... ×

「情報バー」は、Microsoft Edge のアドレスバーの下に表示されます。

症状	原因・対策
画像がコマ落ちして見える [この Web サイトは、「Panasonic System Networks Co.,Ltd.」からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。]	パーソナルコンピューターの性能が不足している可能性があります。 • 必要なパーソナルコンピューターの環境を確認してください。 リアルタイム更新切替ボタンで、Web ブラウザーのリアルタイム更新機能を無効化することで現象が改善される場合があります。
下記メッセージの情報バーが表示される [この Web サイトは、「Panasonic System Networks Co.,Ltd.」からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。]	次の手順で許可してください。 1) [許可 (A)] を選択する。
下記メッセージの情報バーが表示される [この Web サイトは、「Panasonic System Networks Co.,Ltd.」からの 'nwcv4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。]	次の手順で許可してください。 1) [インストール (I)] を選択する。 セキュリティーの警告画面が表示されます。 2) [インストールする (I)] ボタンをクリックする。
IP 映像が表示用の枠と一致していない	画像の DPI 設定が 120DPI 以上に設定されている場合は、正しく表示されないことがあります。 次のように設定してください。 1) パーソナルコンピューター画面上で右クリックし、[ディスプレイの設定] - [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] をクリックする。 2) [100% (推奨)] に設定する。
	Microsoft Edge のズーム機能における拡大レベルが 100% 以外に設定されている場合は、正しく表示されないことがあります。 次のように設定してください。 1) Microsoft Edge で [...] - [ズーム] の [-][+] をクリックし、[100%] に設定してください。

ご使用時間の確認

[ALL MENU] → [MAINTENANCE] → [HOUR METER] で確認できます。

ワーニング表示について

動作中に異常が検出されると、〈HD SDI OUT〉端子からの出力にワーニング内容を表示します。

■ AWB（オートホワイトバランス）実行時

[AWB BREAK]	オートホワイトバランスが中断しました。
[AWB HIGH LIGHT NG]	光量が大きくてオートホワイトバランスを実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
[AWB LOW LIGHT NG]	光量不足でオートホワイトバランスを実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
[AWB NG]	オートホワイトバランスが失敗しました。 再度やり直してください。
[AWB NG CHECK FILTER]	フィルター位置の異常のためオートホワイトバランスを実行できません。
[AWB RCH OUT RANGE]	赤のホワイトバランス収束ができません。 画面いっぱいに白を書いて実行してください。
[AWB BCH OUT RANGE]	青のホワイトバランス収束ができません。 画面いっぱいに白を書いて実行してください。
[ATW NG]	オートトラッキングホワイトバランスの動作中はオートホワイトバランスを実行できません。

■ ABB（オートブラックバランス）実行時

[ABB BREAK]	オートブラックバランスが中断しました。
[ABB RCH OUT RANGE]	赤のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB BCH OUT RANGE]	青のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB GCH OUT RANGE]	緑のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB NG]	レンズアイリスがクローズになっていない可能性があります。

■ その他のワーニング表示

[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:01]	バージョンアップファイルが存在しないか、壊れている可能性があります。 正しいバージョンアップファイルで再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:02]	バージョンアップファイル書き換え時にエラーが発生しました。 正しいバージョンアップファイルで再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:03]	その他のシステムエラーです。(通信異常など) 本機、外部 DC 電源を確認した上で再起動後に、再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:04]	FAN エラーが発生しています。 FAN が停止していないか確認してください。問題なければ、再起動後に、再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:05]	電源エラーが発生しています。 本機、外部 DC 電源を確認した上で再起動後に、再度実施してください。
[FAN ROTATION STOP]	FAN が停止しています。
[TEMP WARNING : HIGH/***)	内部温度が高温になっています。
[TEMP WARNING : OVER/***)	内部温度が高温になっています。 表示後に強制的に電源を落とします。
[VOLTAGE OUT OF RANGE/***)	外部 DC 電源の電圧が範囲外です。
[DATE/TIME HAS BEEN RESET]	時計用内蔵電池が一時的に LOW BATTERY になったため、時計機能がリセットされました。[DATE/TIME] を再設定してください。(61 ページ、84 ページ) 定期的にカメラに電源供給することをお勧めします。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアアップデートの有無および操作説明は次のWebサイトをご参照ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明な場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口を紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間**8年**

当社は、この4Kマルチバーパスカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。

- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除してご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は…

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は…

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	4Kマルチバーパスカメラ
品番	AK-UBX100G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

第8章 仕様

本製品の定格について説明します。

定格

総合

電源	DC --- 12 V (DC 11 V - 17 V)
消費電力	40 W (本体のみ、12G SDI 出力時) 60 W (全てのアクセサリーを接続し、各出力端子の最大供給時の最大電力)

■は安全項目です。

動作周囲温度	-10 °C - 45 °C (0 °C以下では余熱が必要)
保存温度	-20 °C - 60 °C
動作周囲湿度	85% 以下 (相対湿度)
質量	約 1.9 kg (本体のみ)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	本体のみ 118 mm×140 mm×175 mm (突起部分を除く)

カメラ部

撮像素子	1929万画素、MOS×1
レンズマウント	2/3型パヨネット式
ND フィルター	THROUGH、1/4、1/16、1/64
ゲイン	-6、-3、0、3、6、9、12、15、18 dB
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • [59.94i]/[59.94p] モード： 1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [29.97p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [23.98p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [50i]/[50p] モード： 1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [25p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒
シンクロスキャンシャッター	[60.0Hz] ~ [7200Hz] ([59.94i]/[59.94p] モード) [50.0Hz] ~ [7200Hz] ([50i]/[50p] モード) [30.0Hz] ~ [7200Hz] ([29.97p] モード) [25.0Hz] ~ [7200Hz] ([25p] モード) [24.0Hz] ~ [7200Hz] ([23.98p] モード)
感度	2撮影モード [LOW LIGHT] : F10 (59.94 Hz) /F11 (50 Hz) [NORMAL] : F6 (59.94 Hz) /F7 (50 Hz) 2000 lx、3200 K、白反射率 89.9% 時
映像 S/N	62 dB (標準) ([DNR] = [ON])
水平解像度	HD : 1000TV 本以上 (中心) UHD : 2000TV 本以上 (中心)
システムフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> • UHD 3840×2160/59.94p 3840×2160/29.97p 3840×2160/23.98p 3840×2160/50p 3840×2160/25p • HD 1080/59.94p、1080/29.97p、1080/23.98p、1080/50p、1080/25p

ビデオ入出力部

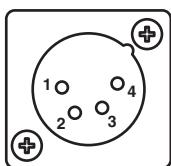
〈HD SDI OUT〉 端子	BNC×1 3G/1.5G SDI : 0.8 V[p-p]、75 Ω
〈12G SDI OUT 1〉 端子	BNC×1 12G/6G/3G/1.5G SDI : 0.8 V[p-p]、75 Ω
〈12G SDI OUT 2〉 端子	BNC×1 12G/6G/3G/1.5G SDI : 0.8 V[p-p]、75 Ω

その他入出力部

〈G/L IN〉 端子	BNC×1、1.0 V [p-p]、75 Ω
〈REMOTE〉 端子	10ピン×1
〈TALLY OUT〉 端子	4ピン×1、DC12 V (DC IN 端子の入力電圧に連動)、0.5 A
〈LENS〉 端子	12ピン×1
〈LAN〉 端子	RJ45×1
〈DC IN〉 端子	XLR×1、4ピン、DC12 V (DC11 V - 17 V)
〈SFP+/28 1〉 スロット	SFP+/28
〈SFP+/28 2〉 スロット	SFP+/28

コネクター信号の内容

DC IN



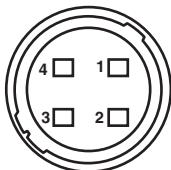
1	GND
2	未使用
3	未使用
4	+12 V

XLR-4-32-F512 (アイティティキヤノン)

NOTE

- 外部からの供給電源は、正しい極性で使用してください。

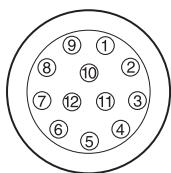
TALLY OUT



1	GND
2	R TALLY (オープンコレクター)
3	G TALLY (オープンコレクター)
4	+12 V (最大 0.5 A)

HR10A-7R-4SC (73) (ヒロセ電機)

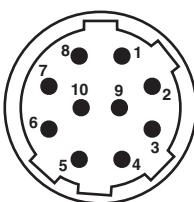
LENS



1	リターンコントロール
2	REC-START/STOP
3	GND
4	アイリスマニュアル切り替え
5	アイリスコントロール
6	+12 V (最大 0.75 A)
7	IRIS-POSI
8	IRIS-G-MAX
9	EXT-POSI
10	ズーム位置情報
11	LENS-RXD
12	LENS-TXD

HR10A-10R-12SC (71) (ヒロセ電機)

REMOTE



1	CAM DATA (H)
2	CAM DATA (C)
3	CAM CONT (H)
4	CAM CONT (C)
5	未使用
6	未使用
7	未使用
8	未使用
9	+12 V
10	GND

HR10A-10R-10SC (ヒロセ電機)

さくいん

B	
[BASIC CONFIG]	31
D	
[DISPLAY SETUP]	55
F	
[FILES]	59
I	
[IP SIGNAL]	37
L	
[LENS]	54
M	
[MAINTENANCE]	60
N	
[NETWORK]	34
O	
[OUTPUT]	36
P	
[PAINT]	42
T	
[TRACKING DATA OUTPUT]	58
W	
Web 設定画面 [Setup]	78
カメラ画面 [Image]	86
システム画面 [System]	80
信号設定画面 [Signals]	85
設定状態画面 [Setting status]	80
ネットワーク設定画面 [Network]	114
メンテナンス画面 [Maintenance]	129
ユーザー管理画面 [Access mng.]	111
連携機能 [Linkage]	109
お	
オンスクリーン表示	21
く	
駆動時間	137
け	
ゲンロック調整	25
こ	
コネクター信号	144
し	
出力フォーマット	26, 27
て	
定格	142
ね	
ネットワーク設定	69
設定用ソフトウェア	69
は	
パソコン用コンピューターの環境	9
め	
メニュー	
構成	30
操作	29
ゆ	
ユーザーファイル	24
ら	
ライブ画面 [Live]	74
わ	
ワーニング表示	138

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233
© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025